

こまきのけんこう

令和 7 年
(令和 6 年度実績)

小 牧 市



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki



市 章

左よりかたかなで「コマキ」を表し、市章全体は、空港都市小牧の象徴である航空機の機関部正面を表し、将来への飛躍を物語っています。

(昭和30年4月1日制定)

小牧市民憲章 市政施行30周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 1.健康で生きがいのある明るいまちにしましょう。
- 1.感謝と思いやりのあるあたたかいまちにしましょう。
- 1.緑とやすらぎのある美しいまちにしましょう。
- 1.高い文化と教養のある豊かなまちにしましょう。
- 1.希望と働く喜びのある活気あふれるまちにしましょう。

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言（要約）市政施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を超えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一.こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一.世代を超えて市民のつながりが生まれるまち
- 一.支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を超えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。

目 次

第1	小 牧 市 の 概 要	1
第2	保健センターの機構及び事務分掌	2
第3	保 健 事 業 の 変 遷	3
第4	衛 生 統 計	19
第5	成 人 保 健 事 業	20
1	成人保健事業一覧	22
2	健 康 手 帳 交 付	23
3	人 間 ド ッ ク	23
4	健 康 診 査	23
5	肝炎ウイルス検診	24
6	が ん 検 診	25
7	骨粗しょう症検診	35
8	健 康 教 育 事 業	36
(1)	乳がん検診時健康教育	36
(2)	地区健康教育	36
(3)	職域健康教育	38
(4)	出前講座（国保協力事業）	38
(5)	自分・家族の健康を考える食生活講座（ヘルスマイト養成講座）	41
9	健 康 相 談 事 業	43
(1)	医師健康相談	43
(2)	保健師等健康相談	43
(3)	保健師・管理栄養士による生活習慣病予防相談	44
(4)	精神保健福祉士による心の健康相談	45
10	訪 問 指 導	45
11	ヤ ン グ 健 診	50
12	地域支援事業 一般介護予防事業	55
13	小牧市健康づくり推進プランの推進	65
14	こまき健康いきいきポイント事業	69
15	ウォーキングアプリ「alko」	71
16	国民健康保険加入者における糖尿病性腎症重症化予防事業	73
第6	予防接種事業及び結核予防事業	74
1	予防接種事業一覧	74
2	結核予防事業	75
3	愛知県広域予防接種	76
4	指定医療機関外定期予防接種	76

5	定期外予防接種	77
6	おたふくかぜワクチン予防接種費用助成事業	77
7	風しんワクチン予防接種費用助成事業	77
8	予防接種特別再接種費用助成事業	78
9	風しん対策事業	78
10	子宮頸がんワクチン任意接種補助金交付事業	78
11	小牧市带状疱疹予防接種費用の助成事業	79
第7	母子保健事業	80
1	母子保健事業一覧	81
2	親子健康手帳（母子健康手帳）交付	82
3	妊婦・産婦・乳児個別健康診査	84
4	健康診査事業	86
(1)	4か月児健康診査	86
(2)	1歳6か月児健康診査	90
(3)	3歳児健康診査	93
(4)	乳幼児健診未受診者支援事業	96
5	健康教育事業	100
(1)	離乳食教室（初期：ごっくん教室、後期：かみかみ教室）	100
(2)	健康教育	101
(3)	生と性に関するカリキュラムの推進への取り組み	103
(4)	小牧市協働提案事業「摂食障害予防啓発協働事業」	104
6	相談事業	105
(1)	母乳相談	105
(2)	市内児童館巡回育児相談、妊産婦健康相談	106
(3)	2歳3か月児歯科健康診査時育児相談	109
(4)	栄養相談	110
(5)	母子電話相談	110
(6)	臨床心理士による相談	112
(7)	運動発達相談	114
(8)	なかよし教室	117
(9)	おひさまサロン	119
(10)	すくすく広場	120
7	訪問事業	122
(1)	保健センター保健師による妊婦・産婦・乳幼児訪問	122
(2)	助産師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問	123
(3)	管理栄養士による訪問	125
8	小牧市中学生ピロリ菌検査事業	126
9	外国人通訳の配置	127
10	産後ケア事業	128
11	1stアニバーサリー事業	130
12	利用者支援事業	131
13	小牧市すくすく子育て応援事業	132
14	こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパス配布事業	133

15	小牧市初回産科受診料助成支援事業	134
第8	歯科保健事業	135
1	歯科保健事業一覧	135
2	各事業の内容	136
(1)	妊婦個別歯科健診	136
(2)	4か月児歯科指導及び母親歯科健診	137
(3)	1歳6か月児歯科健康診査	138
(4)	2歳3か月児歯科健康診査	139
(5)	3歳児歯科健康診査	141
(6)	離乳食教室：後期かみかみ教室	142
(7)	にこにこむし歯予防教室	143
(8)	保育園歯みがき教室	144
(9)	8020歯っぴースマイル！歯みがき教室	145
(10)	学校歯科健診	147
(11)	歯周病予防個別健診	147
(12)	いきいき世代個別歯科健診	149
(13)	ヤング健診及び結果説明会	152
(14)	知って得するフレイル予防講座～おくち編～	153
(15)	健康づくり応援隊☆認定講座	155
(16)	防ごう誤嚥性肺炎！これであなたも歯(し)あわせ講座	156
(17)	フレイル改善個別相談	156
(18)	歯の健康相談	158
(19)	歯科電話相談	158
(20)	歯科健康教育	159
(21)	訪問口腔衛生指導	161
(22)	8020表彰	162
(23)	口腔がん検診	162
第9	地区組織活動	164
1	保健連絡員活動	164
(1)	保健連絡員設置数	164
(2)	保健連絡員会議	164
(3)	個人活動	164
(4)	地区活動	167
(5)	グループ活動	171
(6)	保健連絡員・保健連絡員0Bによる赤ちゃん訪問	178
(7)	赤ちゃん訪問説明会	182
(8)	地区懇談会	182
(9)	1年目・終了者交流会	183
(10)	保健連絡員学習会	183
(11)	保健連絡員養成講座	184
(12)	保健連絡員役員会	185
2	小牧市食生活改善協議会	186

3	牧連体操クラブ	189
4	楽育相談	190
第10	救急医療活動	191
1	救急医療活動	191
(1)	救急医療情報システム	191
(2)	救急医療情報センター利用状況	191
(3)	小牧市休日急病診療所	191
第11	その他の	193
1	各種協議会等開催状況	193
2	不妊治療等助成事業	195
3	不育症治療等助成事業	196
4	小牧市自殺対策計画の推進	197
5	骨髄提供者等助成事業	198
6	小牧市がん患者医療用補整具購入費助成金	199
7	小牧市若年がん患者在宅療養助成金	200

編集・発行

令和 7 年 11 月

小牧市常普請一丁目318番地

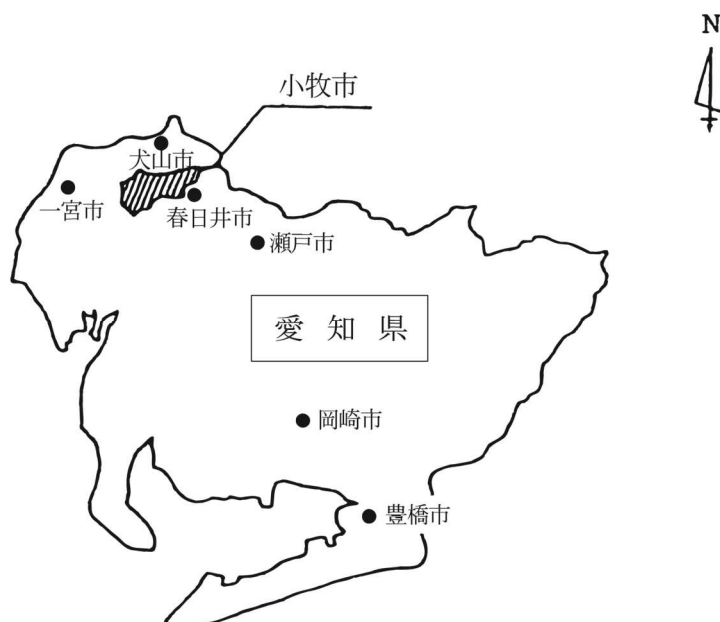
小牧市保健センター

☎ (0568) 7 5 - 6 4 7 1

第1 小牧市の概要

第1 小牧市の概要

- (1) 市制施行 昭和30年1月1日
- (2) 市役所所在地 小牧市堀の内三丁目1番地
東経 136度54分
北緯 35度17分
- (3) 面積 62.81平方キロメートル
東西 14.82キロメートル
南北 9.22キロメートル



昭和30年1月、小牧町・味岡村・篠岡村の1町2村の合併により県下21番目の市として市制を施行し、その後昭和38年9月には北里村を編入して現在の市域となる小牧市は、愛知県の北西部、名古屋市の北約15kmに位置している。

市制施行後、東名・名神高速道路及び中央自動車道の結節点という陸上交通の要衝と空の玄関口である県営名古屋空港を併せ持つ地の利に恵まれ、田園都市から内陸工業都市・尾張北部の中核都市へと飛躍的な発展を続けている。

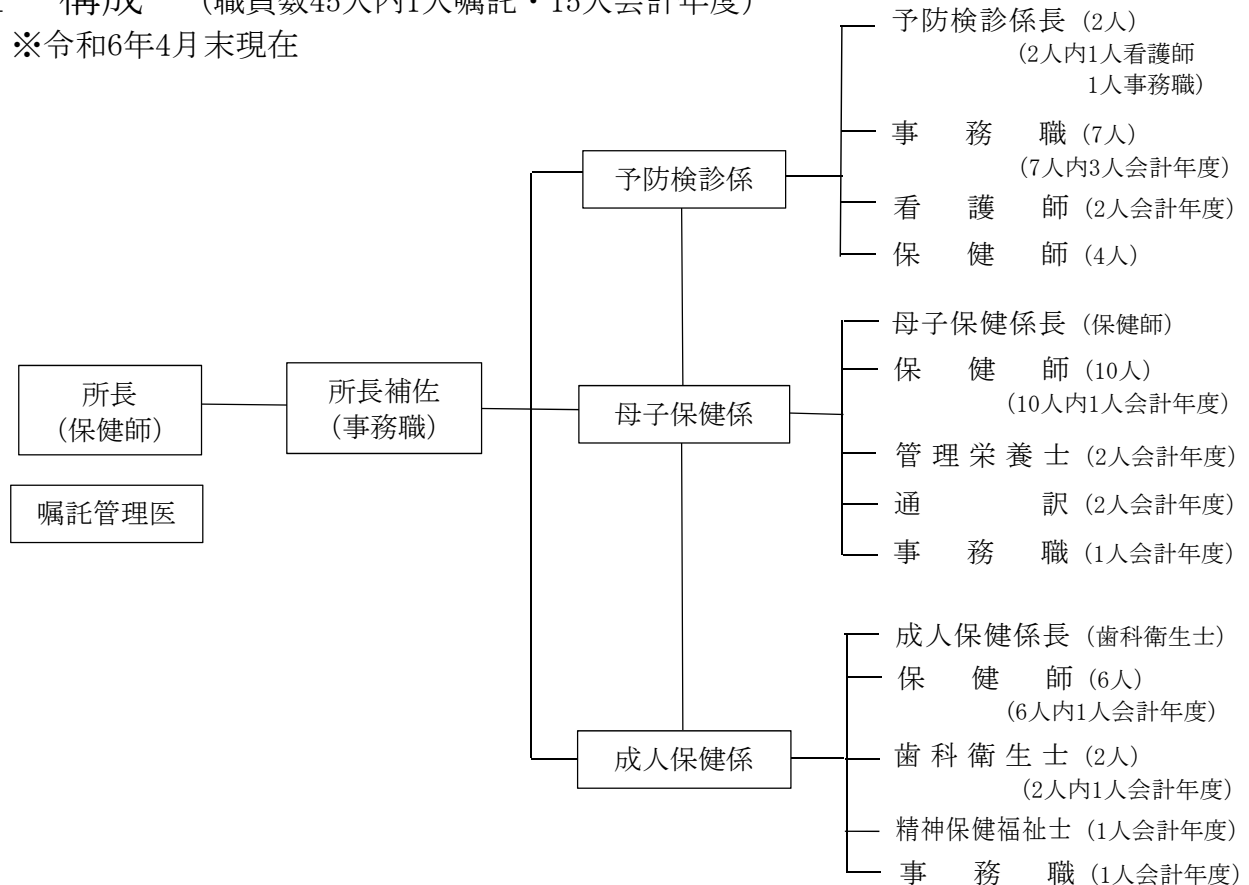
現在、小牧市は、「こども夢・チャレンジNo.1都市」「健康・支え合い循環都市」「魅力・活力創造都市」をまちづくりの機軸として掲げ、更に“誰一人取り残さない”持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すSDGsや、ダイバーシティの考えも取り入れて、まちづくりを進めている。

第2 保健センターの機構及び事務分掌

第2 保健センターの機構及び事務分掌

1 構成 (職員数45人内1人嘱託・15人会計年度)

※令和6年4月末現在



2 事務分掌

	予防検診係	母子保健係	成人保健係
成人保健	1 健康手帳交付 2 健康診査 3 がん検診 4 肝炎ウイルス検診 5 骨粗しょう症検診 6 結核検診 7 予防接種 8 休日急病診療所		1 健康教育 2 健康相談 3 訪問指導 4 ヤング健診 5 歯周病予防個別健診 6 いきいき世代個別歯科健診 7 口腔がん検診
母子保健	1 予防接種 2 小牧市中学生ピロリ菌検査事業	1 乳幼児健康診査 2 健康教育 3 保育・教育現場との連携事業 ① 歯みがき教室 (保育園・幼稚園・こども園) ② 園児対象う蝕対策普及啓発活動 ③ 8020歯っぴースマイル！歯みがき教室 (小学校) ④ フッ化物洗口 (保育園、市立幼稚園、小学校) ⑤ 生と性に関するカリキュラム 4 相談事業 ① 育児相談 ② 母乳相談 ③ 電話相談 ④ 発達相談 ⑤ 運動発達相談 5 訪問事業 6 妊婦個別歯科健診	
地域保健 組織育成		1 保健連絡員活動「赤ちゃん訪問」	1 保健連絡員養成 2 保健連絡員教育・学習 3 保健連絡員・OB活動 4 食生活改善推進員育成
その他	1 感染症予防 2 介護保険地域支援事業 (介護予防事業) 3 自殺対策事業 4 不妊不育治療等助成事業 5 小牧市健康づくり推進プラン (各種専門部会を含む) 6 骨髄提供者等助成事業 7 小牧市がん患者医療用補整具購入費助成事業 8 若年がん患者在宅療養助成事業		

第 3 保健事業の変遷

第 3 保健事業の変遷

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
昭和40年	・農夫症対策開始	・新生児全戸訪問 (国保対策)		・保健婦3人	63,365
41年	・そさいグループ健診 開始 ・老人クラブ保健指 導開始 ・高血圧料理講習 会開始 ・健康相談室開催				64,091
42年			・腸・パラチフス廃止 ・百日咳・ジフテリア に破傷風が入り2 種混合から3種混 合に変わる		67,052
43年	・胃がん検診開始		・種痘切皮法から多 圧法に変わる ・BCG切皮法から管 針法に変わる	・看護婦1人	71,900
44年	・そさいグループ健診 終了 ・子宮がん検診開始		・ハイジエッタ使用開 始(61年まで)		75,962
45年	・農夫症対策終了	・赤ちゃん教室開始 ・乳児健診開始(1 回)	・問診票使用開始 ・予防接種事故救 済制度始まる	・看護婦2人体制 ・保健婦4人体制	79,842
46年	・糖尿病料理講習 会開始	・乳児健診(2回) ・2歳児講習会開始	・日本脳炎1歳から3 歳、日本脳炎小2、 中1、55～64歳に 改正	・消毒室開設	85,006
47年					88,537
48年	・成人病健康診査 開始				92,697
49年		・1歳児健診開始	・ツベ・BCG 0～4 歳、小1、中1、中2 に改正 小2、中2は前年B CGのみ		95,884
50年	・保健衛生推進協 議会設置	・乳児健診(4回)	・百日咳中止 ・種痘廃止	・	98,528
51年	・住民健診に血圧、 検尿を導入	・2歳児講習会終了	・2種混合3期入学 前廃止		99,566
52年		・1歳児健診終了 ・1歳6か月児健診 10回	・風しん開始(中学3 年女子)		100,236
53年	・小牧市民健康づく り推進協議会設置	・1歳6か月児健診 24回	・風しん中学1・2年 女子に改正 ・日本脳炎55歳～ 64歳中止 ・予防接種事故調 査委員会発足	・保健婦国保から市 町村に移管 ・休日急病診療所 開設	100,837
54年	・住民健診ポスター 作成	・1歳6か月児健診 36回 ・事後検診開始 3回	・麻しん個別接種開 始	・保健婦3人体制	102,160
55年	・保健健康づくりモ デル地区活動開始 ・コミュニティースポ ーツ振興会におけ る健康づくり開始 ・糖尿病予防教室 開始	・1歳6か月児健診に 歯科健診を導入 ・なかよし教室(6回) ・幼児教室開始 (6回)	・百日咳復活(3種 混合) ・風しん中学1年女 子に改正 ・ポリオ投与法スプ ーンからピペットに 改正	・救急医療情報シス テムスタート ・保健婦4人体制	103,985

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
55年	・肥満教室開始 ・高血圧教室開始				
56年	・コンピュータードック開始 ・肥満教室、高血圧教室等シリーズ開始				106,630
57年	・保健衛生推進協議会廃止 ・乳がん自己検診法開始	・妊婦貧血教室開始(2回)	・一般会場一針一筒となる		108,885
58年	・健康手帳交付開始 ・北里支所健康相談中止 ・一般健診開始 ・小牧市健康まつり開始	・妊婦貧血教室(3回)		・保健婦3人体制	110,281
59年	・成人病教室の充実 ・コンピュータードック終了 ・大腸がん検診開始 ・子宮がん施設検診開始 ・保健連絡員養成講座開始	・妊婦貧血教室(4回) ・小冊子の作成 ・なかよし教室(12回)	・予防接種事故調査委員会廃止		112,097
60年	・肺がん検診開始 ・保健連絡員活動開始 ・一般健診ポスター作成開始	・妊婦貧血教室を妊婦栄養教室に改正(5回)			113,670
61年	・一般健診対象者へ個人通知 ・乳がん検診開始	・妊婦栄養教室(6回) 人形劇開始、尿中塩分量測定、みそ汁塩分測定 ・2語文アンケート		・保健婦4人体制	115,211
62年	・肺がんX線開始		・ハイジェット使用全面廃止 ・麻しん無料化 ・インフルエンザ任意、保護者同意となる	・保健婦1人増員 保健婦5人 看護婦2人	117,198
63年	・基本健診の開始 ・リハビリ教室開始 ・人間ドックの開始	・1歳6か月児健診に精密検査を導入 ・2語文アンケートを2歳児アンケートに改正	・予防接種電算調査	・保健センター開設 ・栄養士1人配置 ・看護婦1人増員(職員13人)	119,935
平成元年		・妊婦栄養教室を妊婦教室に変更 歯の健診を導入(12回) ・1歳6か月児健診に心理相談を導入	・MMR開始	・看護婦3人体制 ・補佐職配置 ・保健指導係長兼務(職員14人)	122,913
2年	・訪問生活リハビリ開始 ・40歳無料大腸がん検診開始 ・食生活相談紹介状の導入により医師会との食事指導の連携ができる ・「生きがいの会」発足		・予防接種協議会の設置	・保健婦1人増員 ・保健婦6人体制(職員15人)	125,261

年度	成人・老人保健	母子保健	予防接種	その他	人口(人)
3年	・乳がん検診にDMRを導入 基本健診に尿酸、総蛋白を加える		・MMR凍結		129,267
4年	・成人歯科健診 ・がん死亡撲滅地区事業開始 モデル地区 ＝岩崎原区、市之久田区 ・歯科衛生士による訪問指導開始				131,024
5年	・成人健康管理システム稼働 基本健診にHDL・中性脂肪・クレアチニン追加 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝三ツ瀨区、野口区 ・成人歯科健診を3回から6回に拡大 ・ボランティア健康劇団「ほたる」発足 ・地域ケアボランティア「ともしび」発足			・補佐職兼務を解く ・歯科衛生士1人配置 ・看護婦1人退職 (職員数16人) 保健婦6人 看護婦2人 栄養士1人 歯科衛生士1人	133,723
6年	・人間ドック300人増加 (総数1,800人) ・人間ドック受診料 5,660円→6,000円 ・人間ドック検便を2日法に変更 ・骨粗しょう症検診健康教育 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧原区、北外山県住区 ・ボランティア「つつじ」 (1人ぐらし老人食生活の工夫)発足 ・小牧市老人保健福祉計画作成	・乳幼児管理システム稼働 ・母子保健法一部改正	・インフルエンザ取りやめる ・予防接種法一部改正により、予診医師1人1時間あたり100名→20名	・保健婦1人増員 保健婦7人体制 (職員数17人)	135,632
7年	・人間ドック300人増加 (総数2,100人) ・骨粗しょう症予防教室 ・地域リハビリの集い「たんぼぼの会」開始(南岩崎台) ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝本庄区、藤島団地区 ・保健連絡員活動10周年記念事業 ・健康まつりで骨粗しょう症検診(国保会計)		・風しん個別接種 予防接種法一部改正により、名称及び対象年齢の変更 個別接種化に伴い、会場数を変更 10→6会場	・保健婦1人増員 保健婦8人体制 (職員数18人)	137,226

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
8年	・骨粗しょう症検診(新規) 年6回 130人×6回=780人 ・基本健診 HbA1cの項目追加 (ヘモグロビンA1c) ・地域リハビリ「ももの会」開始(東部) ・がん死亡撲滅モデル地区 =村中区、大草西・東区 ・いきいきウォーキング推進事業 =北里中学校区 応時中学校区 ・リフレッシュウォーク 四季の森～四季の道 (389人参加) ・ボランティア「つつじ」が料理する一人ぐらし簡単料理を広報こまきに掲載開始	・9年移譲にむけて、保健センターを会場として4か月児健診の実施(実施主体保健所) ・乳幼児管理システム第2次開発 ・母子保健計画の作成	・日本脳炎個別接種 個別接種化に伴い、会場数を変更 6→5会場	・保健婦2人増員 看護婦1人増員 保健婦10人 看護婦3人 栄養士1人 歯科衛生士1人退職 (職員数21人)	138,795
9年	・骨粗しょう症検診 年6回150人×6回=900人 ・人間ドック300人増加 (総数2,400人) ・がん死亡撲滅モデル地区 =桜井区、大輪区 ・地域リハビリ「わかばの会」開始(藤島団地) ・いきいきウォーキング推進事業 =光ヶ丘中学校区 味岡中学校区 ・ボランティア「つつじ」が愛知県健康づくり振興事業団の助成により1人ぐらし簡単料理広報掲載の効果判定	・県より事務移譲 1 妊婦及び乳幼児健診事業 2 4か月児・3歳児健診事業 3 乳幼児歯科健診予防処置事業 4 食生活改善推進員養成・育成事業 5 妊婦及び乳児健診受診券交付 ・母子保健推進協議会設置 ・2歳3か月児歯科健診開始	・2種・3種混合個別接種 ツベルクリン・BCGを4か月児健診にあわせて実施	・平成9年4月1日から統廃合により小牧保健所が春日井保健所小牧支所となる ・健康まつりにポルトガル語、スペイン語の通訳、手話通訳を配置 ・保健婦2人増員 事務員1人増員 保健婦2人退職 保健婦12人体制 歯科衛生士1人配置 (職員数24人)	140,819
10年	・がん死亡撲滅モデル地区 =間々区、岩崎区 ・いきいきウォーキング推進事業 =篠岡・桃陵中学校区、岩崎中学校区 ・食生活改善推進員養成講座開始 ・小牧市食生活推進協議会設立	・離乳食教室導入(年6回) ・母乳相談の導入(月4回) ・妊婦教室をパパママ教室に変更 ・こども事故予防コーナーの設置	・市外中学校通学者対象の接種を夏休みにあわせ実施 ・ポリオ投与回数変更 年2回→3回	・4か月児・1歳6か月児・3歳児健診にポルトガル語、スペイン語の通訳配置 ・保健婦2人増員 ・保健婦1人10月より介護保険課へ ・保健婦1人退職 看護婦1人退職 事務職1人退職 保健婦14人体制10月より13人体制 (職員数26人)	141,911
11年	・がん死亡撲滅モデル地区	・助産婦による妊産婦、新生児、乳児		・保健指導係が母子保健係と成人保健	143,050

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
11 年	＝池之内区、小木区 ・いきいきウォーキング推進事業 ＝小牧中学校区 - 小牧西中学校区 ・水中ウォーキング教室温水プール（延233人参加）	- 訪問導入（100件） ・育児専用電話「こまねっと」設置 ・育児相談を市内6か所の児童館で開設 ・園児と親を対象に親子歯みがき教室開設 ・小牧市独自の母子手帳の作成・交付（6月）		- 係に分かれる保健婦1人退職 - 保健婦1人減員 - 事務職1人減員 - 保健婦13人体制（職員数24人） ・保健センター改築（1階事務所改築により、消毒室を3階へ、玄関前スロープ及び障害者用トイレを改築）	
12年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧区、米野区 ・人間ドック200人増加（総数2,600人） ・人間ドック受診料6,000円→7,050円 ・人間ドックの名称を「すこやかドック」、基本健診を「さわやか健診」と変更 ・地域リハビリ「こめこめ12」開始（小牧南） ・寝たきり予防講座（参加401人） ・地区巡回介護講座（8回193人参加） ・健康ウォーキングマップこまき「いい汗かいていいもの発見」（1,500部発行）	・4か月児健診に合わせた母親歯科健診導入 ・助産婦による妊産婦、新生児、乳児訪問（100件→150件） ・2歳3か月児育児相談（7月） ・育児支援を中心にした乳幼児健診体制を実施 ・日曜パパママ教室開始（年3回）	・個別接種化に伴い、会場数を変更5→4会場	・2歳3か月児歯科健診 - ポルトガル語、スペイン語の通訳配置（職員数24人）	144,382
13年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝舟津区、久保一色区 ・人間ドック100人増加（総数2,700人）	・母子健康手帳交付時相談を開始 ・助産婦による妊産婦、新生児、乳児訪問（150件→200件） ・にこにこむし歯予防教室（6回） ・親子で楽しむ料理教室、保健連絡員、母子に対する取組み開始 ・4か月児健診1日目に保育ボランティア「バオバブの木」参加 ・保健連絡員「親子料理研究会」発足	・65歳以上を対象としたインフルエンザ予防接種が始まる	・パソコンによる保健総合システムを導入（職員数24人）	146,225
14 年	・人間ドック150人増加（総数2,850人） ・すこやかドック・さわやか健診に併せて肝炎検診 ・がん死亡撲滅モデル地区	・保健連絡員とOBによる赤ちゃんの全戸訪問開始（10月） ・一般公募による保育ボランティア活動開始		・保健師1人退職（職員数23人）	147,055

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
14年	ル地区 ＝池之内・林・大 山野口区、下小 針区	・第2次母子保健計 画作成(11月から 推進) ・市内モデル校によ るフッ化物洗口開 始 (小牧原小学校・ 北里小学校)			
15年	・人間ドック550人 増加 (総数3,400人) ・人間ドック受診料 7,050円→9,00 0円 ・がん死亡撲滅モデ ル地区 ＝北外山県住区、 小牧原区 ・地域リハビリ「健康 の集い」(野口第5) 「ピーチの会」(桃ヶ 丘)開始 ・転ばぬ先の転倒予 防教室開始 ・家族の健康を考え る食生活講座開始 ・介護者を支える会 「ささの会」発足	・母子健康手帳を親 子健康手帳として 交付 ・外国人向け母子健 康手帳の交付 ・パパママ教室3回コ ースの2・3回目を 日曜日開催 ・4か月児健診(2日 目)に図書館主催 によるブックスタート 事業が8月より開 始	・小・中学校でのツ ベルクリン・BCG接 種の中止 ・H15年9月風しん 予防接種経過措 置終了	・保健師3名3月退 職 (職員数23人)	148,387
16年	・がん死亡撲滅モデ ル地区 ＝入鹿出新田区、 南岩崎台区 ・保健師市民健康 相談 9時～16時→9時 ～12時 ・脳いきいき教室開 始 ・生活習慣病予防 教室「運動はじめて 体験教室」参加者 106人 ・健康こまきいきき プラン作成 ・ウォーキングマップ 改訂	・パパママ教室を3回 コースから1回に変 更 ・日曜パパママ教室 を年3回開催 ・運動発達相談開 始 ・おひさま教室開始 ・生と性に関するカリ キュラム「親・地域 版」完成		・休日急病診療所 移転 診療科目に外科・ 歯科を増設 ・事務職1人12月退 職 ・事務職1人3月退 職 (職員数22人)	149,208
17年	・がん死亡撲滅モデ ル地区 ＝上末・下末・高 根区、多気上・ 多気下区 ・住民健康診断が9 日間から2日間へ ・胸部レントゲン撮影 が65歳以上の方が 対象となる(結核 検診) ・人間ドック400人 増加 (総数3,800人) ・さわやか健診オプシ ョンとして胸部X線 検診開始 ・さわやか健診・すこ やかドックのオプシ	・前期離乳食教室・ ごっくん教室開始 ・育児相談月4回か ら月2回へ ・4か月児健診を2 日コース→1日コ ースへ変更 ・4か月児健診未受 診児への対応を個 人通知から電話・ 訪問へ変更	・ツベルクリン反応検 査の中止 ・ダイレクトにBCG接 種対象が生後6か 月未満に変更 ・H17年5月30日よ り日本脳炎の接種 勧奨の見合わせ ・H17年7月29日よ り日本脳炎第3期 廃止 幼児期2種混合が 定期外となる ・麻しん予防接種と 風しん予防接種の 単独ワクチンが3月 末日で終了となる 為接種勧奨	・栄養士1人3月退 職 (職員数24人)	150,569

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
17年	・ ヨンとして前立腺がん検診開始(対象50歳以上) ・ 体しなやか膝腰スッキリ教室開始 ・ 健康日本21こまき計画「健康 こまきいきいきプラン」策定 ・ 保健連絡員活動20周年記念事業 ・ 05健康・福祉フェスティバル in こまき(健康まつり、福祉展、介護展、歯ピカピック4催事の合同展としてパークアリーナにて開催)				
18年	・ 平成18年度より、がん死亡撲滅モデル地区は小学校区で実施 ＝小牧南小学校 小牧小学校 ・ 住民健康診断2日間実施 ・ 乳がん、子宮がん検診受診が2年に1回に変更 ・ 介護保険・地域支援事業(介護予防事業)担当 ・ 06健康・福祉フェスティバル in こまき(健康まつり、福祉展、介護展、歯ピカピック4催事合同展) ・ 傾聴ボランティア「そよかぜ」発足 ・ 「牧連体操クラブ」発足	・ 生と性に関するカリキュラム「小学校・中学校版」完成 ・ 親子健康手帳改正(生と性に関する項目、特に自己肯定感の大切さを意識して加筆) ・ マタニティキーホルダー配布(1月) ・ 第2次母子保健計画中間見直し	・ 麻しん風しん混合予防接種開始対象が第1期1歳～2歳未満第2期小学校入学前の1年間(年長児)に変更 ・ 児童の集団接種が中止となり個別接種へ変更(2種混合、日本脳炎)	・ 事務職1人3月退職(職員数23人)	151,288
19年	・ がん死亡撲滅モデル地区 ＝三ツ瀨小学校 一色小学校 ・ 保健連絡員設置要綱改正(対象が「市内在住の主婦の方」から「20歳以上の市内在住の方」へ変更) ・ 「血液さらさら」をモデル地区及び6地区で実施 ・ おくち元気はつらつ教室開始 ・ メンタルヘルスセミナー「山口律子講演会」H20年2月29日(202名)	・ 自分を大切にすることができる「自己肯定感獲得DVD-みんなちがってみんないい」を制作し、H20年1月より、乳幼児健診や希望者に配布、あわせて健康教育を行う ・ 発達障害をもつ親子を支援する「成長記録」の試作 ・ 不妊検査及び治療費助成開始 ・ 妊婦健康診査公費負担 2回→5回 ・ 8020歯っぴースマイル! 歯みがき教室開始	・ 結核予防法から感染症予防法に改正される	・ 栄養士1人増員 看護師1人減員 事務職1人増員 事務職1人3月退職(職員数24人)	152,445
20年	・ がん死亡撲滅モデル地区 ＝大城小学校 小木小学校	・ 妊婦健診公費負担 5回→14回(H21.1.27以降)	・ 麻しん風しん混合予防接種 第3期・第4期が5年間の経過措置	・ 事務職1人減員(職員数23人)	153,495

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
20年	・ヤング健診の開始 ・地域リハビリ「西コミふれあいの会」開始(西部地区) ・老人保健法から健康増進法に改正される ・さわやか健診・すこやかドック廃止 - 健康診査(生活保護受給者)開始 ・がん個別健診開始 ・肝炎ウイルス検診の対象者を節目検診から40歳の方に変更 ・ウォーキングマップの改訂 ・低栄養予防に関するリーフレット配布開始	・外国人ボランティアによる赤ちゃん訪問を試験的に開始 ・生と性に関するカリキュラム小学生中学生版を全校で開始 ・安心相談カードを中学2年生全員に配布 ・市立中学2年生全員に「生と性に関するアンケート」を実施 ・市内保育園における年長児を対象としたフッ化物洗口事業を開始	・で開始 - 対象 - 第3期：中学1年生に相当する年齢の間の1年間 - 第4期：高校3年生に相当する年齢の間の1年間		
21年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝米野小学校 小牧原小学校 ・地域リハビリ「なんなん21」開始(南部地区) ・女性特有のがん検診推進事業開始 対象： 子宮がん (20、25、30、35、40歳) 乳がん (40、45、50、55、60歳) 一定の年齢に達した女性に無料クーポン券と検診手帳配布 ・歯周病予防個別健診開始 (対象：35歳) ・健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプラン」中間見直し ・健康福祉フェスティバル in こまき4催事→3催事(健康まつり、福祉展、介護展) 会場：パークアリーナから市民会館、公民館に変更	・4か月児健診と1歳6か月児健診にて子育て支援センターと連携 ・市立中学2年生とその保護者に「生と性に関するアンケート」を実施し、思春期の諸問題に対する方策を検討 ・親子健康手帳改正(朝食の大切さに関する内容を充実)	・肺炎球菌ワクチン予防接種費用一部助成開始 対象：75歳以上 ・新型インフルエンザワクチンの接種開始 ・新型インフルエンザワクチン接種に係る費用軽減事業開始	・(職員数23人)	153,581
22年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝村中小学校 味岡小学校 ・向井亜紀がん講演会 H23年1月9日(568名) ・地域自殺対象緊急強化事業「水谷	・市ホームページと携帯サイトに「思春期によくある質問 Q&A」と「小学生と中学生のための相談窓口」を掲載 ・妊婦健診公費負担内容(子宮がん検診、初回血液検	・日本脳炎予防接種 3歳になる子に接種勧奨開始(H22.4.1～) ・インフルエンザ3価ワクチン接種(H22年10月1日～H23年3月31日)	・所長補佐職母子保健係長兼務保健師1人増員(職員数23人)	153,371

年度	成人・老人保健	母子保健	予防接種	その他	人口(人)
22年	・修講演会」H23年3月19日(783名) ・健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプランコーナー」として小牧産業フェスタに参加	・査等)の充実 ・妊婦健診受診票に妊婦(成人)歯科健診受診票を挿入	・任意予防接種無料接種開始(H23.1.1～) ・子宮頸がん予防ワクチン ・ヒブワクチン ・小児用肺炎球菌ワクチン		
23年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝光ヶ丘小学校 北里小学校 ・地域リハビリ終了 こめこめ12(米野小) ・健康の集い(野口第5) ・働く世代への大腸がん検診推進事業(集団)開始 対象:40、45、50、55、60歳の男女 ・健康日本21こまき計画関連事業 ・「いきいきおせつ会」発足 ・いきいき世代個別歯科健診事業開始 対象:40、50、60、70歳	・妊婦健診公費負担内容(成人T細胞白血病ウイルス検査、性器クラミジア検査)を追加 ・子育て支援機関連携会議を開催(ハローファミリーカードの導入) ・妊娠届出時アンケートの充実 ・小学1・2年生を対象に「いのちの学習」を実施(15校) ・市ホームページと携帯サイトに掲載中の「思春期によくある質問Q&A」の内容を充実	・ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン一時見合わせ(H23年3月5日～H23年3月31日) ・水痘(水ぼうそう)ワクチン予防接種、おたふくかぜワクチン予防接種費用助成開始(H23.10.1～) ・日本脳炎特例措置開始(H23.5.20～) ・(H7.6.1～H19.4.1生まれの者が20歳になるまで)	・所長補佐職母子保健係長兼務保健師1人増員(職員数23人)	153,507
24年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝本庄小学校 篠岡小学校 ・働く世代への大腸がん検診推進事業(個別)開始 対象:40、45、50、55、60歳の男女 ・ウォーキングマップの改訂 ・知立市健康推進員視察と健康連絡員との交流会 ・第30回健康まつり(フェスティバル)をもって終了 ・各地区健康展で開催 ・職域対象歯周疾患対策普及啓発事業開始(商工会議所連携事業)	・妊娠期からの育児支援を目的に愛知県統一様式の妊娠届出書を採用 ・それに伴い、市独自の妊娠届出時アンケートを変更 ・平日パパママ教室(栄養・歯について)、日曜パパママ教室(育児について)で開催された内容を見直し、パパママ教室(育児・栄養・歯について)として、平日や日曜日に開催 ・親子で楽しむ料理を考える会活動終了 ・市立中学2年生に「生と性に関するアンケート」を毎年実施してきたが、今後5年毎の実施とする予定(H29年度実施予定) ・市ホームページと連携サイトに掲載中の「思春期によくある質問Q&A」に「いじめ」についての内容を追加	・生ポリオワクチンから不活化ポリオワクチンへ(H24.9.1～) ・4種混合ワクチン開始(H24.11.1～) ・尾張北部医療圏広域予防接種開始(H24.6.1～)	・所長補佐職成人係長兼務保健師1人増員(職員数23人)	153,344

年度	成人・老人保健	母子保健	予防接種	その他	人口(人)
25年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧南地区、桃ケ丘小学校 ・地域リハビリ終了ピーチの会(桃ケ丘地域) ・健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプラン」最終評価 ・「こころの相談窓口」パンフレット改訂 ・乳がん(超音波)検診の開始 対象:30～39歳 ・介護予防事業「筋力アップのためのトレーニングマシン講習会」「サヨナラ膝腰痛教室」「男性のための膝腰痛予防プログラム」開始 ・地域主体の健康まつり(展)の拡充 ・「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防事業開始	・低体重児の届出及び未熟児訪問が愛知県から権限移譲 ・健診の事後教室として、親子のかかわりを学ぶ「あそびの教室」を開始 ・小学2年生とその保護者を対象に「いのちの学習」を実施(16校) ・中学3年生に対し「素敵な大人になろう～性感染症の予防～」を実施(7校) ・園児対象う蝕対策普及啓発事業開始(学官連携事業) ・学童期歯科疾患対策モデル事業開始 ・楽育相談をH26年3月より、試験的に実施し、2名参加	・ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン定期接種化 (H25.4.1～) ・BCG接種対象者生後1年に至るまでに変更(標準:生後5～8か月) (H25.4.1～) ・子宮頸がん予防ワクチン H25.6.14より積極的な勧奨の差し控え ・風しんワクチン予防接種費用助成事業開始 (H25.7.1～) 日本脳炎特例措置生年月日の拡大 (H7.6.1生→H7.4.2生)	・保健師1人増員 事務職1人減員	153,170
26年	・女性特有のがん検診推進事業(乳・子宮がん検診) ①「乳・子宮がんコールリコール」 H26年度検診申込者で、H21～H24年度に無料クーポンを配布し、年度内の未使用者に対し本人の申し出により、再度無料クーポンを配布 ②「無料クーポン券の配布年齢を変更」 乳がん検診:40歳のみ 子宮がん検診:20歳のみ ・胃がん・大腸がん検診対象年齢を40歳以上から30歳以上に拡大 ・人間ドック事業を開始 対象:40歳以上の国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者、協会けんぽ被扶養者の方限定(年度内に40歳を迎える	・乳児健診受診票の金額変更 (1回目・2回目 5,350円から、1回目 5,180円、2回目 5,990円へ) ・乳幼児健診(集団)の間診票を保護者が外国人の場合、あらかじめ母国語の間診票を郵送 ・にこにこむし歯予防教室をH25年度より、にこにこむし歯予防相談とし、児童館にて実施 ・安心相談カードを教育委員会の相談カードと一体化、市内中学1年生と高校1年生に配布 ・学校保健課題解決事業において小牧市生と性のカリキュラムの公開授業研究に取り組む	・水痘ワクチン定期接種化 (H26.10.1～) 経過措置(H26年度のみ)生後36月～60月に至るまでの間の児を対象 ・成人用肺炎球菌ワクチン予防接種費用一部助成の対象者変更 75歳以上→70歳以上 ・成人用肺炎球菌ワクチン定期接種化 (H26.10.1～) 経過措置(H26～30年度) 当該年度65、70、75、80、85、90、95、100歳の者 H26年度はH25年度末に100歳以上の者 ・愛知県広域予防接種開始 (H26.4.1～) (A類疾病のみ) ・日本脳炎(第2期)高校3年生に相当する学年の方で未接種に対し個別通		153,303

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
26年	方も対象) ・がん検診自己負担額見直し 70歳以上0円→500円／各検診 69歳以下軽減 ・非課税世帯者に対し、「がん検診・人間ドック費用免除券」を保健センター窓口にて発行 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧地区 陶小学校区 ・保健連絡員OB「つつじ会」(一人暮らし高齢者の食生活の研究と工夫)活動終了 ・壮年期対象の機能訓練教室終了 ・第2次健康日本21こまき計画「健康こまき いきいきプラン」策定		知開始		
27年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝巾下地区、味岡地区 ・こまき健康マイレージ事業開始 ・保健連絡員活動30周年記念事業 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(乳・子宮がん検診) «乳・子宮がんコールリコール» H25年度に無料クーポンを配布した方で年度内に未使用かつ過去5年間(H22～H26年度)に一度も保健センターの検診を受けたことがない方に、無料クーポン券を個別通知	・H27年8月中旬より自己肯定感獲得動画を市のホームページでネット配信 DVDは乳幼児健診等で希望者に配布 ・高校にてモデル事業として生と性のカリキュラムを推進 ・「健康寿命をのばそうアワード」母子保健分野(自治体部門)において優良賞受賞 「母子保健推進協議会から発信する親子の自己肯定感の醸成＝『心豊かにいきいきと生きる力』を持つ子どもの成長につなげていくために＝」 ・H28年3月7日より、市ホームページ上に「お子さんの発育や発達に不安を感じたら・・・」を掲載 その中で自閉症スペクトラム評価尺度「エムチャット」について、活用したい人が活用できるよう、情報提供(外部リンク)を開始	・日本脳炎(第1期)未接種(H13.4.2生～H19.4.1生)に対し個別通知 ・2種混合(第2期)発送時期変更 12歳誕生月→11歳の誕生日の翌月 ・尾張北部医療圏の広域接種(B類)H28.3.31で終了 ・インフルエンザワクチン3価→4価に自己負担1,000円→1,200円に変更		153,680
28年	・こまき健康マイレージ事業からこまき健康いきいきポイント	・市内の高校(3校)にて、生と性のカリキュラムを推進	・愛知県の広域予防接種B類疾病開始(H28.4.1～)	・初動時における災害時保健活動実践マニュアル(保健	153,526

年度	成人・老人保健	母子保健	予防接種	その他	人口(人)
28年	・名称変更 ・ウォーキングアプリ「alko」を10月から配信 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝東部地区、北里地区 ・介護予防事業一次予防事業「男性のための膝腰痛予防プログラム」終了 ・胃がん(内視鏡検査)検診を50歳以上の方に対し2年に1回、和暦の偶数・奇数で区別し、偶数生まれの方から検診を開始 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 「乳・子宮がんコールリコール」 ・H26年度に無料クーポンを配布した方で年度内に未使用かつ過去5年間(H23～H27年度)に一度も保健センターの検診を受けたことがない方に、無料クーポン券を個別通知 ・人間ドック受診期間を6月～翌年2月14日まで延長 ・こまきヘルシーメニュー事業をH29年2月から開始 ・5大がん検診の要精検者に再通知を開始	・赤ちゃん訪問において、外国人家庭へ積極的に訪問実施 ・親子健康手帳の表紙デザインを従来の卵のデザインから市ブランドロゴマークをアレンジしたデザインへ変更 ・それに伴い、卵や鳥をたとえにした文章表現を変更 ・第1回母子手帳フォーラム(東京)に参加し、「親子健康手帳における小牧市の思い」を報告 ・愛知県公衆衛生研究会にて、「1歳6か月児健診後の言語発達における伸びを予測する因子－遊びの場を活用した健診にて－」について研究発表	・3種混合ワクチン販売中止 最終有効期限 H28.7.15 で終了 ・B型肝炎定期接種化(H28.10.1～) ・日本脳炎第2期 H19.4.2 生～の勧奨再開	・班活動マニュアルの作成	
29年	・こまき健康いきいきポイント事業のポイント有効期限を2カ年に変更 ・壮年期保健事業出前講座に「正しいラジオ体操教室」を追加 ・介護予防事業一次予防事業に「いきいき元気塾」運動編を味岡市民センターでも実施 ・「カラダによく効くラジオ体操講習会」を追加 ・乳がん(マンモグラフィ)個別検診開始 ・がん撲滅モデル地区 ＝小牧南地区、	・親子健康手帳について、愛知県医師会から愛知県保健医療局長あてに、母子健康手帳の県内統一に関する要望書が提出されたことを受けて、母子保健推進協議会で協議した結果、①B6サイズへの変更、②省令様式の遵守、③予防接種記録等に関するページの振り分けについて、H29年度印刷分の親子健康手帳について変更 ・国から、乳児ボツリヌス症の予防対策について、任意記載事項様式「乳幼	・特別な理由による定期予防接種の再接種費用の助成開始	・初動時における災害時保健活動実践マニュアル(保健班活動マニュアル)の改正 (妊娠婦、乳幼児のいる家庭の平常時の備えについて啓発を追加) ・新型インフルエンザ特定接種について市民病院と協定を結ぶ	153,335

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
29 年	小 牧 地 区	児 期 の 栄 養」につい ての掲 載 を 前 提 と した上での再周知 の 通 知 を 受 け て、 小 牧 市 独 自 の 内 容 か ら 任 意 記 載 事 項 様 式 に 変 更 ・ 不 育 治 療 等 助 成 事 業 の 開 始 従 来 の 一 般 不 妊 治 療 等 助 成 事 業 に 加 え、不 育 治 療 等 助 成 事 業 を 開 始 - 不 育 症 につい ての 検 査 及 び 治 療 を 受 け ら れ た ご 夫 婦 に 対 し、保 険 適 用 外 の 医 療 費 を 助 成 ・ 妊 婦 個 別 歯 科 健 診 の 実 施 ・ 妊 産 婦、新 生 児、 乳 児 訪 問 の 予 算 を 380 件 か ら 530 件 へ 増 加 ・ 小 牧 高 等 学 校 (全 日 制)に お い て、生 と 性 の カ リ キ ュ ラ ム ＝ 小 学 校 ・ 中 学 校 版 の 推 進 ＝ に つ い て、今 後、市 内 の 全 高 等 学 校 を 対 象 と し た カ リ キ ュ ラ ム の 推 進 を 目 的 と し て、 市 内 の 全 高 等 学 校 と 共 に 公 開 授 業 研 究 を 実 施 ・ 第 2 回 母 子 手 帳 フ ォ ー ラ ム を 小 牧 市 で 開 催 (H29 年 7 月 1 日) (国 際 母 子 手 帳 委 員 会 主 催、小 牧 市 後 援) ・ 小 牧 市 立 中 学 2 年 生 を 対 象 に 生 と 性 に 関 す る アン ケ ー ト を 実 施			
30 年	・ 青 年 期 出 前 講 座 に 「女 性 ホ ル モ ン と カ ラ ダ の ト リ セ ツ 講 座」を 追 加 ・ 健 康 日 本 21 重 点 施 策 の 取 り 組 み と し て、「市 民 健 康 講 座」を 開 催 ・ 小 牧 市 自 殺 対 策 計 画 策 定 ・ 骨 粗 しょう 症 検 診 受 診 料 見 直 し ・ 老 人 福 祉 セ ン タ ー で 実 施 し て い る 老 人 健 康 相 談 を 4 8 回 か ら 24 回 へ 変 更	・ そ れ ぞ れ に 事 例 検 討 会 や 研 修 会 が 開 催 さ れ て い る た め、 知 恵 の 輪 会 を 終 了 ・ H30 年 4 月 1 日 出 産 以 降 の 産 婦 及 び 新 生 児 を 対 象 に、 産 婦 健 診 2 回 / 人 (5,000 円 / 回)、 新 生 児 聴 覚 検 査 1 回 / 人 (5,000 円 / 回) の 受 診 票 を 交 付 ・ 9 月 ～ 子 育 て 世 代 包 括 支 援 セ ン タ ー に て、産 後 ケ ア 事 業 実 施	・ 成 人 用 肺 炎 球 菌 ワ ク チ ン 助 成 事 業 終 了 終 了 に 伴 い 未 接 種 者 に 対 し 接 種 勧 奨 を 個 別 に 通 知	・ 助 産 師 1 名 増 員 ・ 9 月 子 育 て 世 代 包 括 支 援 セ ン タ ー 開 設 (母 子 保 健 係 長、 保 健 師 1 名、助 産 師 1 名 異 動) ・ 所 長 補 佐 職、母 子 保 健 係 長 兼 務 ・ 9 月、子 育 て 世 代 包 括 支 援 セ ン タ ー 開 設 (ラ ビ オ ビ ル 内) 母 子 保 健 型 利 用 者 支 援 事 業 の 実 施 に 伴 い、親 子 健 康 手 帳 の 交 付、妊 婦 ・ 産 婦 ・ 乳 児 個	152,944

年度	成 人 ・ 老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
30 年	・10月～「筋力アップのためのトレーニングマシン講習会」を第1老人福祉センターで実施 ・フレイル予防のための教室「～笑いの泉～わっはっは講座」を老人福祉センターにて実施 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝巾下地区、味岡地区 ・乳がん(マンモグラフィ)検診 ①受診者への「乳房の構成」通知開始 ②無料クーポン未受診者に再通知を実施 ・協会けんぽ被扶養者向け集団特定検診と市の胃・大腸がん検診の同日開催	・子育て応援アプリ「すくすくこまキッズ」配信開始 ・妊娠期サポートプランを作成・配布 ・12月～子育て世代包括支援センターにて、「利用者支援事業会議」を月1回開催		別健診事業、妊婦個別歯科健診事業、低体重児の届出、妊産婦、新生児、乳児訪問、育児相談(市内児童館巡回育児相談、母乳相談含)を保健センター母子保健係より子育て世代包括支援センターへ移管	
令和元年	・いきいき世代個別歯科健診事業の対象者拡充(5歳刻みにし、75歳を追加) ・ウォーキングアプリalkoが8月に秘書政策課から移管され3月まで所管 ・乳がん、子宮がん検診無料クーポンの未受診者の再通知を開始 ・第2次健康こまきいきいきプランの中間評価及び後期計画の策定 ・ウォーキングマップ改訂 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝東部地区、北里地区	・歯っぴー子育て講座を開始 ・事後検診終了 ・股関節脱臼チェックリストを4か月児健診及び産婦、新生児、乳児訪問で導入 ・子育て世代包括支援センターにて「アニバーサリー事業」を開始 ・1歳サポートプランを作成・配布	・4月1日からロタウイルスワクチン予防接種費用助成事業を開始(市独自) ・成人用肺炎球菌ワクチンの経過措置の延長:R元年～5年度(国の施策) 当該年度65、70、75、80、85、90、95、100歳の者 ・大人の男性風しん対策事業(国の施策)対象者に抗体検査及び接種の無料クーポンを送付	・所長補佐職成人保健係長兼務 ・4月1日から骨髄提供者等助成事業を開始 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、成人保健事業及び母子保健事業の一部事業を中止(3月) ・愛知県災害時保健活動体制整備強化事業により「災害時地域まるわかりシート」を春日井保健所と共に作成 ・統括保健師の開始	152,816
2年	・小牧市歯と口腔の健康づくり推進条例の公布 ・成人歯科健診終了 ・健康ポイント事業(ウォーキングアプリalko含む)小牧市健康づくり推進協議会を健康生きがい推進課へ事務移管する	・妊娠期支援プランを作成・配布 ・多胎妊婦向けサポートプラン作成・配布 ・4か月児、1歳6か月児、3歳児健診でサポートプランを作成・配布 ・歯っぴー子育て講座終了 ・8月～子育て世代包括支援センターにて「オンライン育児相談」を開始	・ロタウイルスワクチン予防接種費用助成事業を終了 ・ロタウイルスワクチン定期接種化(R2.10.1～)	・4月1日健康生きがい推進課が本庁に新設 ・健康生きがい推進課に保健師1名配置 ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のため一部事業を中止(4月・5月) ・1月18日新型コロナウイルスワクチン接種推進室が本庁舎に新設	152,842

年度	成人・老人保健	母子保健	予防接種	その他	人口(人)
2年				・新型コロナウイルスワクチン接種推進室に、看護師1名配置 所長、所長補佐、予防検診係に兼務発令	
3年	・いきいき世代個別歯科健診事業の対象者の拡充（40歳から75歳の5歳刻みにし、80歳を追加） ・歯周病予防個別健診の対象者の拡充（20歳、25歳、30歳を追加し、20歳から35歳の5歳刻みで実施） ・まちかど運動教室開始 ・住友理工(株)フレイルチェック測定会を東部地区限定で開始 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧南地区、小牧地区	・7月～3歳児健診の視力検査でスポーツビジョンスクリーナーを導入 ・多胎妊婦に妊婦健診受診票を5回分追加交付 ・「健康寿命をのばそうアワード」母子保健分野（自治体部門）において優良賞受賞 ・「子育て世代包括支援センターと児童館が連携した切れ目ない支援体制づくり～1st アニバーサリー事業をとおして～」 ・9月～流産・死産の相談窓口開設（子育て世代包括支援センター内）	・BCGの集団接種をR3年度末で終了 ・R元年度送付の大人の男性の風しん対策事業（国の施策）対象者のうち、未受診者等に抗体検査及び接種の無料クーポンを再送付 ・新型コロナウイルスワクチン予防接種の開始：接種の期間、R4年2月28日まで以降、接種期間、対象年齢が順次拡大 12歳以上、初回接種、第1期追加接種実施 - 小児（5～11歳）初回接種実施	・子育て世代包括支援センターに保健師1名、保健センターに保健師3名増員	151,920
4年	・働く世代への大腸がん検診推進事業の対象者を40歳のみに変更 ・まちかど運動教室を「健康づくり編」「フレイル予防編」に分けて実施開始 ・住友理工(株)フレイルチェック測定会を全域で開始 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝巾下地区、味噌地区 ・口腔がん検診実施（歯科医師会補助事業、2回/年）	・中学2年生を対象にピロリ菌検査事業を開始（市独自事業） ・こまき妊娠SOSの開設（子育て世代包括支援センター内） ・産後ケア事業のメニュー（アウトリーチ）追加 ・産後ケア事業で償還払いを実施 ・こまき祖父母手帳を作成・配布 ・6月～こまき巡回バス「こまくる」のマタニティフリーパスを配布 ・R5年2月～小牧市すくすく子育て応援事業/小牧市出産・子育て応援ギフト支給事業（国の出産子育て応援給付金）並びに伴走型相談支援を開始 ・市民活動団体「摂食障害よりみち」との協働事業で摂食障害予防啓発協働事業を実施 ・保健センターでのパママ教室を子育て世代包括支援セ	・HPV（子宮頸がん予防）ワクチンの接種勧奨の再開 ・R4年4月～R7年3月の3年間、H25年度からR3年度の間、HPVワクチン定期接種の対象であった方へのキャッチアップ接種を開始 ・小牧市子宮頸がんワクチン任意接種補助金の開始（～R6年度末まで） ・小牧市内の医療機関でBCGの個別接種を開始 ・大人の男性の風しん対策事業（国の施策）がR6年度末まで延長 - 対象者に抗体検査及び接種の無料クーポンを送付 ・新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施：12歳以上、第2期追加接種、R4年秋開始接種の実施 - 小児（5～11歳）追加接種実施 - 乳幼児（6か月～4歳）初回接種実施	・7月1日よりがん患者医療用補整具（ウィッグ・乳房補整具等）購入費助成事業を開始：実施要領施行は4月1日～ ・小牧市役所が健康経営優良法人2023に認定 ・新型コロナウイルスワクチン接種推進室に保健師1名配置 ・新型コロナウイルスワクチン接種会場として保健センターで小児接種を実施 ・保健センターに保健師2名、介護保険課に1名増員	150,684

年度	成人・老人保健	母子保健	予防接種	その他	人口(人)
4年		ンターの「集まれ たまごファミリー」に統合し、子育て世代包括支援センターで実施			
5年	・小牧市健康づくり推進プラン策定(第3次計画) ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝東部地区、北里地区 ・知って得するフレイル予防講座を「知って得する若返り講座」「アクティブシニア応援セミナー」「健康づくり応援隊★認定講座」に変更 ・口腔がん検診拡充(歯科医師会補助事業、実施回数を1回拡充し、年3回実施) ・協会けんぽ被扶養者向け集団特定健診と市の胃・大腸がん検診、子宮・乳がん検診の同日開催	・親子健康手帳について任意様式を18歳まで拡大し内容を改訂 ・幼年期・学童期(中学年)性教育を中央図書館で夏休みに実施 ・5月から伴走型支援として妊娠8か月時アンケートを開始 ・7月から低所得の妊婦に対する初回産科受診料の助成を開始 ・乳幼児身体発育調査を実施	・4種混合ワクチンの定期接種対象月齢が生後3月から2月へ変更 ・HPVワクチン定期接種の対象ワクチンに9価ワクチンが追加 ・50歳以上の小牧市民に対し带状疱疹ワクチンの予防接種費用助成開始 ・新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種を年度末で終了	・6月1日より若年がん患者在宅療養助成事業を開始：実施要領施行は4月1日～ ・骨髄提供者等助成事業を拡充 市の独自の助成金として20万円の助成拡充 ・歯科衛生士を1名増員 ・精神保健福祉士1名配置 ・子育て世代包括支援センター、保健センター、健康生きがい推進課に保健師を各1名増員 ・乳幼児健診にベトナム語通訳を配置 ・医療救護所に関する医師会との協定内容を変更 ・1月に災害時看護職ボランティア登録制度を制定	150,188
6年	・集団乳がん・子宮がん検診に託児付きの日を設定開始(半日2回) ・いきいき世代個別歯科健診の健診項目を拡充し、オーラルフレイルに係る項目を追加して実施 ・がん対策(がん検診・助成金・がん患者支援センター)チラシを作成 保健連絡員や民生委員へ向けてがん教育(情報発信)を実施 ・第2次小牧市自殺対策計画を策定	・中学生等に向けたがん教育の出前講座を実施 ・2月から親子健康手帳交付のWeb予約を開始 ・市内の幼稚園・保育園にて生と性のカリキュラム(幼年期)を実施 ・すくすく広場3月末に終了 ・助産師による新生児・乳児訪問と統合し、保健連絡員・保健連絡員OBによる赤ちゃん訪問3月末終了 ・「発達障がいをもつ子どもとその親への支援のあり方」部会を終了 ・育児専門電話「こまねっと」終了 ・楽育相談終了 ・成長記録の様式検討 ・にこにこむし歯予防相談から予防教室へ	・5種混合ワクチン定期接種化(R6.4.1～) ・新型コロナウイルスワクチンがB類の定期接種として開始(R6.10.1～) ・小児用肺炎球菌ワクチンの変更(R6.4.1よりPCV15の使用開始、R6.10.1よりPCV20の使用開始、PCV13が定期予防接種から外れる) ・小牧市子宮頸がんワクチン任意接種補助を年度末で終了 ・大人の男性の風しん対策事業をR7.2.28で終了	・新型コロナウイルスワクチン接種推進室が廃止され、統合3名増員 ・予防検診係長2名配置 ・子育て世代包括支援センター、保健センターに保健師を各2名増員 ・子育て世代包括支援センターに助産師1名増員 ・事務所狭隘解消のため、栄養実習室を事務所へ改修	149,206

※人口は各年度4月1日現在の人数

第4 衛 生 統 計

第4 衛 生 統 計

1 人口動態統計年次推移

年次	人口	出生				死亡				自然増減		乳児死亡（再掲）				新生児死亡（再掲）		死産				周産期死亡（再掲）				婚姻		離婚	
		総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	総数	男	女	率	総数	率	総数	自然	人工	率	総数	妊産婦の死亡 後の死産	早期新生 児死亡	率	実数	率	実数	率
令和元年	152,816	1,059	525	534	6.9	1,305	717	588	8.5	△ 246	△ 1.6	4	1	3	3.8	2	1.9	22	16	6	20.4	5	5	0	4.7	749	4.9	271	1.8
令和2年	148,831	901	487	414	6.1	1,267	700	567	8.5	△ 366	△ 2.5	2	1	1	2.2	1	1.1	19	12	7	20.7	4	3	1	4.4	627	4.2	228	1.5
令和3年	147,713	898	430	468	6.1	1,415	781	634	9.6	△ 517	△ 3.5	1	1	0	1.1	0	0.0	19	10	9	20.7	1	1	0	1.1	599	4.1	233	1.6
令和4年	147,174	878	467	411	6.0	1,491	836	655	10.1	△ 613	△ 4.2	2	2	0	2.3	2	2.3	15	10	5	16.8	2	2	0	2.3	564	3.8	207	1.4
令和5年	146,352	798	415	383	5.5	1,531	848	683	10.5	△ 733	△ 5.0	0	0	0	0.0	0	0.0	10	4	6	12.4	2	2	0	2.5	553	3.8	207	1.4
愛知県 (令和5年)	7,195,000	48,402	24,674	23,728	6.7	80,557	42,676	37,881	11.2	△ 32,155	△ 4.5	90	42	48	1.9	41	0.8	924	475	449	18.7	152	120	32	3.1	31,759	4.4	10,928	1.5
全国 (令和5年)	121,193,394	727,288	372,603	354,685	6.0	1,576,016	802,536	773,480	13.0	△ 848,728	△ 7.0	1,326	696	630	1.8	600	0.8	15,534	7,152	8,382	20.9	2,404	1,943	461	3.3	474,741	3.9	183,814	1.5

資料：愛知県保健医療局健康医療部医療計画課「令和5(2023)年愛知県衛生年報」

資料：厚生労働省「令和5年(2023)人口動態統計」

(注1) 数値は確定数である。

(注2) 人口は、小牧市が愛知県県民文化局県民生活部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計局推計の日本人人口で各年10月1日現在である。

(注3) 率算出の計算式

出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率＝ $\frac{\text{出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚数}}{\text{人 口}} \times 1,000$ 乳児死亡・新生児死亡率＝ $\frac{\text{乳児死亡・新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$

死産率＝ $\frac{\text{死産数}}{\text{出産(出生＋死産)数}} \times 1,000$

周産期死亡率＝ $\frac{\text{周産期死亡数}}{\text{出生数＋妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$

2 主要死因別死亡数・率年次推移

年次	総数	結核		悪性新生物		高血圧性疾患		心疾患		脳血管疾患		肺炎		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
令和元年	1,293	0	0.0	379	29.3	3	0.2	100	7.7	87	6.7	88	6.8	19	1.5	27	2.1	121	9.4	34	2.6	26	2.0	409	31.6
令和2年	1,267	1	0.1	365	28.8	2	0.2	107	8.4	101	8.0	66	5.2	12	0.9	24	1.9	145	11.4	40	3.2	16	1.3	388	30.6
令和3年	1,415	0	0.0	385	27.2	5	0.4	150	10.6	97	6.9	68	4.8	14	1.0	20	1.4	176	12.4	39	2.8	24	1.7	437	30.9
令和4年	1,491	2	0.1	380	25.5	0	0.0	146	9.8	106	7.1	59	4.0	10	0.7	20	1.3	201	13.5	37	2.5	24	1.6	506	33.9
令和5年	1,531	2	0.1	415	27.1	6	0.4	125	8.2	113	7.4	71	4.6	19	1.2	30	2.0	234	15.3	33	2.2	18	1.2	465	30.3
愛知県 (令和5年)	80,557	103	0.1	20,427	25.4	246	0.3	9,414	11.7	4,980	6.2	3,346	4.2	802	1.0	1,386	1.7	11,184	13.9	2,187	2.7	1,149	1.4	25,333	31.4
全国 (令和5年)	1,576,016	1,587	0.1	382,504	24.3	11,396	0.7	231,148	14.7	104,533	6.6	75,753	4.8	18,638	1.2	30,208	1.9	189,919	12.1	44,440	2.8	21,037	1.3	464,853	29.5

資料：令和5(2023)年愛知県衛生年報

資料：令和5(2023)年人口動態統計

(注1) 数値は確定数である。

第5 成人保健事業

第5 成人保健事業

高齢化率の上昇とともに、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加し、認知症や要介護状態となる人々の増加は、深刻な問題になっている。

小牧市では生活習慣病予防や介護予防のために各種保健事業を進める中で、必要な方へ効果的に事業の利用促進を図ることを目的として、保健センターと地域の方々とのパイプ役として保健連絡員制度を設けている。

また、すべての市民が健康で長生きできる小牧市を目指して、市民や関係機関等が健康づくりに取り組めるよう、平成26年度に「第2次健康こまきいきいきプラン」を策定。

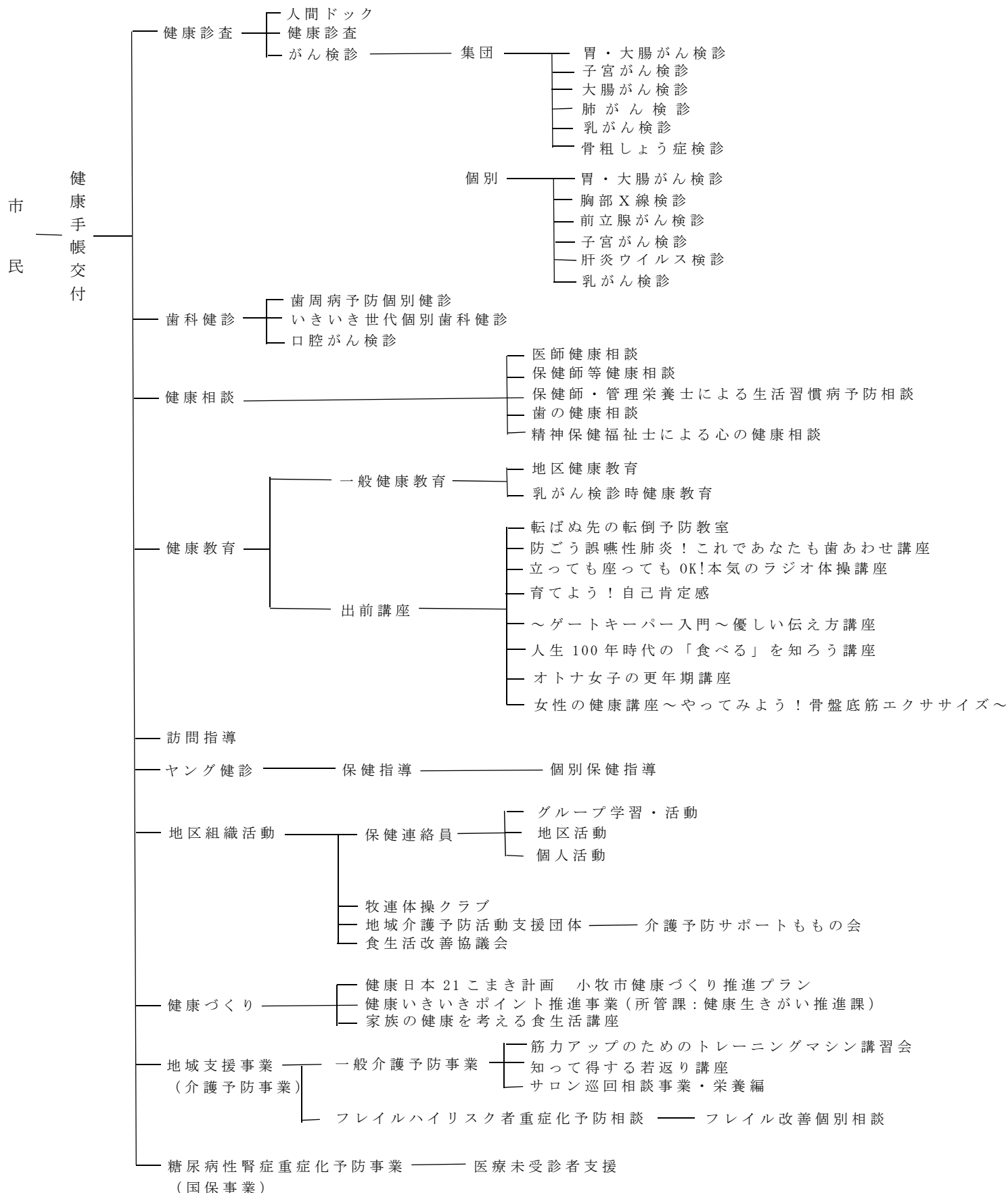
歯科保健に関しては、歯と口腔の健康が全身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、健康寿命の延伸に欠かせないことから、「小牧市歯と口腔の健康づくり推進条例」を令和3年4月1日に施行し、歯・口腔の健康づくりに関する市民の取組みを支援している。

- (1) 各種がん検診、健康診査、骨粗しょう症検診、各種歯科健診、ヤング健診等により市民の健康上の問題把握を行っている。
- (2) 把握された健康上の問題を受診者に連絡、指導するとともに生活習慣病予防相談においてコントロールされた日常生活を身につけ、症状の改善を図るよう支援している。
- (3) 健康上の悩みに対応するため、定例健康相談日を設け、医師・保健師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士が相談に応じている。
- (4) 一人で外出しづらくなり、閉じこもりがちな人達が集まれる場を地域の人達と共に作り、閉じこもりを防ぎ、介護予防に努めている。
- (5) 小牧市健康づくり推進プランにおいて、市民一人ひとりが健康づくりに取り組むことができるよう支援するとともに、社会で支える健康づくりに取り組み、計画の推進を図る。
- (6) 仕事や子育てに忙しい市民をターゲットにし、健康づくりへの関心

を高め、取り組める環境をつくることで、健康な市民を増やすことを目的に健康いきいきポイント事業を平成 27 年度から始めている。

- (7) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を関係部署、関係機関と連携し、実施している。

1 成人保健事業一覧



2 健康手帳交付

(1) 目 的

健康診査、各種がん検診、口腔内の状況に関する健康観察などを記録し健康管理に役立てるもの。

(2) 交付数（再交付及び更新を含む）

保健センター（40歳以上）16冊

3 人間ドック（国民健康保険被保険者、後期高齢者医療制度加入者、協会けんぽ被扶養者）

人間ドックは、年度内に40歳以上になる上記のいずれかに該当する方を対象にして市内の医療機関で実施。

(1) 検査項目

問診、理学的所見、身体計測、血圧、血液一般、血中脂質、腎・肝機能、代謝系、電解質、がん（胃・大腸・肺）検診。

心電図、眼底検査については、医師の判断に基づいて実施する。

(2) 結 果

対象者	受診者数(人)
国民健康保険被保険者 後期高齢者医療制度加入者	5,629
生活保護受給者	31
協会けんぽ被扶養者	186

4 健康診査（生活保護受給者）

健康診査は、40歳以上の生活保護受給者を対象にして、市内の医療機関で実施。

(1) 検査項目

問診、理学的所見、身体計測、血圧、血中脂質検査、肝機能検査

心電図、眼底検査については、医師の判断に基づいて実施する。

(2) 結 果 対象者 962 人 受診率 12.4%

検査結果	人数(人)	割合 (%)
異常なし	6	5.0
要観察	9	7.6
要指導	11	9.2
要医療	16	13.5
治療中	77	64.7
計	119	100.0

5 肝炎ウイルス検診

C 型肝炎緊急総合対策の一環として、市内指定医療機関で実施。

(1) 対 象

昭和 59 年 4 月 1 日～昭和 60 年 3 月 31 日生まれの方

(2) 検診結果

C 型 (人)

	男	女	計
感染している可能性が高い	0	0	0
感染していない可能性が高い	6	11	17

B 型 (人)

	男	女	計
陽性	0	0	0
陰性	6	11	17

6 がん検診

平成 20 年度から特定健康診査の開始に伴い、個別の胃がん・大腸がん検診を開始。

※精密検査受診結果に関しては令和 7 年 7 月 31 日までに保健センターへ精密検査結果報告書の提出があったものを集計

がん（個別）検診

（人）

検診名	受診者数	初回受診者数	一次検診結果					要精検率	精密検査結果		
			異常なし	要観察	要精密検査	その他の疾患	判定不能		異常なし	がん	その他
胃がん検診（X 線）	4,590	855	3,284	1,084	220	－	2	4.8%	32	2	97
大腸がん検診	9,654	1,614	8,639	－	969	－	46	10.0%	163	23	343
子宮頸がん検診	1,865	1,012	1,792	－	72	1	0	3.9%	29	1	28
乳がん検診（マンモグラフィ）	1,117	559	1039	24	54	－	－	4.8%	27	1	18
胸部 X 線検診	11,226	1,949	7,809	2,918	331	168	－	2.9%	124	4	90
前立腺がん検診	4,278	728	3,770	232	276	－	－	6.5%	45	17	65

検診名	受診者数	初回受診者数	一次検診結果				
			胃がんなし	胃がん疑い	胃がん	胃がん以外の悪性病変	判定不能
胃がん検診（内視鏡）	1,747	415	1,732	9	6	0	－

要精検率	要精検者数		精密検査結果		
	生検数	要再検査数	異常なし	胃がん	その他
9.6	160	8	29	7	126

人間ドックとして実施したがん検診（胃がん・大腸がん・肺がん検診）の実績もそれぞれの検診（個別）に加算して計上

※肺がん検診＝胸部 X 線検診

※－：該当なし

がん（集団）検診

(人)

検診名	回数	受診者数	初回受診者数	一次検診結果				要精検率	精密検査結果		
				異常なし	要観察	要精密検査	その他の疾患		異常なし	がん	その他
胃がん検診（X線）	11	363	158	231	118	14	－	4.5%	3	1	5
大腸がん検診	15	653	244	620	－	33	－	5.1%	8	1	4
乳がん検診（マンモグラフィ）	12	854	409	818	－	36	－	4.2%	11	5	16
乳がん検診（超音波）	4	164	97	120	39	5	－	3.0%	0	0	5
子宮頸がん検診	6	355	189	352	－	3	0	0.8%	3	0	0
胸部X線検診	4	114	12	84	25	1	4	0.9%	0	0	0
肺がん検診（喀痰）	－	4	7	4	－	0	－	0.0%	－	－	－

- ※－：該当なし
- ※胸部X線検診は結核検診を兼ねる
- ※令和5年度より、同日開催でも会場が異なる場合は回数を数えることとする

女性特有のがん検診推進事業（平成21年度から実施）

- 無料クーポン券を配布（乳がん検診（40歳）、子宮頸がん検診（20歳））
 特定の年齢に達した女性に対し、無料クーポン券とリーフレット（令和元年度より検診手帳をリーフレットに変更）を配布。女性特有のがん検診を無料で受診できる機会を設け、受診促進と早期発見、正しい健康知識の普及を目的とする。

検診名	対象者数（人）	検診手段	クーポン利用者数（人）	利用率	がん（人）
乳がん検診	857	集団	62	22.8%	0
		個別	133		0
子宮頸がん検診	807	集団	0	9.3%	0
		個別	75		0

(2) 乳がん・子宮頸がん検診コールリコール

令和４年度に無料クーポン券を配布した方で、当該年度内に未使用かつ過去５年間（平成３１年～令和５年度）に一度も市が実施する検診を受診していない方に無料クーポン券を再度発行し無料で検診を受診できるコールリコール事業を実施。

検診名	対象者数 (人)	検診手段	クーポン利用 者数 (人)	利用率	がん (人)
乳がん検診	575	集団	10	8.0%	0
		個別	36		0
子宮頸がん検診	739	集団	0	7.2%	0
		個別	53		0

働く世代への大腸がん検診推進事業（４０歳）（令和４年度より対象を４０歳のみへと変更）

特定の年齢に達した男女に対し、がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及、啓発を進め、市民の健康の保持増進を目的とする。

検診名	対象者数 (人)	検診手段	クーポン利用 者数 (人)	利用率	がん (人)
大腸がん検診	1,811	集団	42	6.8%	0
		個別	82		0

がん検診受診者の年齢構成

がん検診（乳がん・子宮がん検診を除く）実施期間：６月１日～２月１４日

乳がん・子宮がん検診実施期間：６月１日～３月３１日

個別（男）

（人）

検診名	受診者数	～２９歳	３０～３９歳	４０～４９歳	５０～５９歳	６０～６９歳	７０歳以上
胃がん検診（Ｘ線）	2,382	－	3	100	135	359	1,785
胃がん検診（内視鏡）	819	－	－	－	48	127	644
大腸がん検診	4,549	－	4	145	247	677	3,476
胸部Ｘ線検診	5,137	－	2	139	263	725	4,008
前立腺がん検診	4,278	－	－	2	248	650	3,378

個別（女）

（人）

検診名	受診者数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
胃がん検診（X線）	2,208	－	7	179	186	400	1,436
胃がん検診（内視鏡）	928	－	－	－	96	168	664
大腸がん検診	5,105	－	15	287	427	890	3,486
子宮頸がん検診	1,865	320	204	473	395	236	237
乳がん検診（マンモグラフィ）	1,117	－	－	435	308	175	199
胸部 X 線検診	6,089	－	6	254	421	947	4,461

集団（男）

（人）

検診名	受診者数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
胃がん検診（X線）	90	－	16	6	10	19	39
大腸がん検診	141	－	12	18	24	28	59
胸部 X 線検診	49	－	－	－	－	4	45
肺がん検診（喀痰）	3	－	－	－	1	0	2

集団（女）

（人）

検診名	受診者数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
胃がん検診（X線）	273	－	33	56	71	62	51
大腸がん検診	512	－	49	116	133	122	92
子宮頸がん検診	355	3	41	63	81	90	77
乳がん検診（マンモグラフィ）	854	－	－	191	199	238	226
乳がん検診（超音波）	164	－	153	11	－	－	－
胸部 X 線検診	65	－	－	－	－	16	49
肺がん検診（喀痰）	1	－	－	－	1	0	0

がん要精密検査者の年齢・性別構成

胃がん検診（X線）

（人）

区分		要精密検査者数	精密検査受診者数	精密検査未受診者数	精密検査未把握者数	精密検査受診率	精密検査結果								
							異常なし	胃がん（転移性含まない）	胃・十二指腸潰瘍	胃ポリープ	粘膜下腫瘍	胃・十二指腸潰瘍癒痕	胃炎	がんの疑い又は未確定	その他（転移性胃がんを含む）
40歳未満	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～44歳	男	1	0	1	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	3	0	0	100.0%	3	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49歳	男	4	0	0	4	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	2	0	1	66.7%	0	0	0	0	0	0	1	0	1
50～54歳	男	3	0	0	3	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	3	0	1	75.0%	0	0	0	0	0	0	3	0	0
55～59歳	男	5	3	0	2	60.0%	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	女	8	2	0	6	25.0%	0	0	0	0	1	0	0	0	1
60～64歳	男	4	3	1	0	75.0%	1	0	0	0	0	0	2	0	0
	女	7	4	0	3	57.1%	1	0	0	1	0	0	2	0	0
65～69歳	男	12	8	3	1	66.7%	2	0	0	4	0	0	2	0	0
	女	12	10	0	2	83.3%	4	0	1	2	0	0	2	0	1
70～74歳	男	36	19	1	16	52.8%	5	0	1	2	2	3	6	0	0
	女	27	16	0	11	59.3%	3	0	1	5	2	1	3	1	0
75歳以上	男	64	40	3	21	62.5%	8	3	4	10	1	2	8	1	3
	女	41	27	0	14	65.9%	7	0	1	9	2	1	5	0	2
合計 （40歳未満を含む）	男	129	73	9	47	56.6%	17	3	5	17	3	5	19	1	3
	女	105	67	0	38	63.8%	18	0	3	17	5	2	16	1	5
	計	234	140	9	85	59.8%	35	3	8	34	8	7	35	2	8
合計 （40歳未満を除く）	男	129	73	9	47	56.6%	17	3	5	17	3	5	19	1	3
	女	105	67	0	38	63.8%	18	0	3	17	5	2	16	1	5
	計	234	140	9	85	59.8%	35	3	8	34	8	7	35	2	8

がん要精密検査者の年齢・性別構成

胃がん検診（内視鏡）

（人）

区分		要精密検査者数			精密検査受診者数	精密検査未把握者数	精密検査受診率	精密検査結果									
		検診時受診者数	検診時未受診のうち要検査数	計				異常なし	胃がん（転移を含まない）	食道がん	胃・十二指腸潰瘍	胃ポリープ	粘膜下腫瘍	胃・十二指腸潰瘍瘢痕	胃炎	がんの疑いは未確定	その他（転移性胃がんを含む）
50～54 歳	男	1	0	1	1	0	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	2	0	2	2	0	100.0%	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
55～59 歳	男	2	0	2	2	0	100.0%	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	女	1	0	1	1	0	100.0%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
60～64 歳	男	5	0	5	5	0	100.0%	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2
	女	3	0	3	3	0	100.0%	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
65～69 歳	男	10	0	10	10	0	100.0%	2	1	0	0	3	0	0	3	0	1
	女	6	0	6	6	0	100.0%	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0
70～74 歳	男	19	4	23	20	3	87.0%	5	1	0	0	5	0	0	7	0	2
	女	22	0	22	22	0	100.0%	0	0	0	1	5	0	1	10	0	5
75 歳以上	男	56	2	58	56	2	96.6%	7	4	0	0	8	0	2	22	5	8
	女	33	2	35	34	1	97.1%	9	1	0	2	5	0	1	11	0	5
合計	男	93	6	99	94	5	94.9%	15	6	0	0	16	0	4	34	5	14
	女	67	2	69	68	1	98.6%	14	1	0	3	14	0	2	22	0	12
	計	160	8	168	162	6	96.4%	29	7	0	3	30	0	6	56	5	26

がん要精密検査者の年齢・性別構成

大腸がん検診

(人)

区分		要精密検査者数	精密検査受診者数	精密検査未受診者数	精密検査未把握者数	精密検査受診率	精密検査結果							
							異常なし	大腸がん(転移性含まない)	ポリープ	憩室	痔疾患	潰瘍性大腸炎	がんの疑いは未確定	その他(転移性大腸がんを含む)
40歳未満	男	1	0	0	1	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	5	2	1	2	40.0%	2	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	男	4	2	0	2	50.0%	1	0	0	1	0	0	0	0
	女	18	10	0	8	55.6%	6	0	2	0	2	0	0	0
45～49歳	男	4	2	0	2	50.0%	1	0	1	0	0	0	0	0
	女	9	3	0	6	33.3%	0	0	3	0	0	0	0	0
50～54歳	男	7	5	1	1	71.4%	2	0	3	0	0	0	0	0
	女	11	7	0	4	63.6%	4	0	3	0	0	0	0	0
55～59歳	男	10	9	0	1	90.0%	6	0	3	0	0	0	0	0
	女	13	11	0	2	84.6%	5	0	4	1	0	0	0	1
60～64歳	男	21	11	1	9	52.4%	5	0	6	0	0	0	0	0
	女	27	14	1	12	51.9%	2	1	6	1	2	0	0	2
65～69歳	男	44	27	2	15	61.4%	5	3	15	3	0	0	0	1
	女	35	23	0	12	65.7%	10	0	11	2	0	0	0	0
70～74歳	男	94	43	7	44	45.7%	8	2	22	7	2	0	0	2
	女	88	51	4	33	58.0%	18	3	16	11	1	0	0	2
75歳以上	男	373	190	42	141	50.9%	50	11	86	37	2	0	1	3
	女	238	135	15	88	56.7%	48	4	58	23	1	0	0	1
合計 (40歳未満を含む)	男	558	289	53	216	51.8%	78	16	136	48	4	0	1	6
	女	444	256	21	167	57.7%	95	8	103	38	6	0	0	6
	計	1002	545	74	383	54.4%	173	24	239	86	10	0	1	12
合計 (40歳未満を除く)	男	557	289	53	215	51.9%	78	16	136	48	4	0	1	6
	女	439	254	20	165	57.9%	93	8	103	38	6	0	0	6
	計	996	543	73	380	54.5%	171	24	239	86	10	0	1	12

がん要精密検査者の年齢・性別構成

胸部 X 線検診

(人)

区分		要精密検査者数	精密検査受診者数	精密検査未受診者数	精密検査未把握者数	精密検査受診率	精密検査結果				
							異常なし	肺がん	良性肺腫瘍	がんの疑い又は未確定	その他(転移性肺がんを含む)
40～44 歳	男	2	1	0	1	50.0%	1	0	0	0	0
	女	2	2	0	0	100.0%	1	0	0	0	1
45～49 歳	男	2	1	0	1	50.0%	1	0	0	0	0
	女	2	1	0	1	50.0%	1	0	0	0	0
50～54 歳	男	4	3	0	1	75.0%	3	0	0	0	0
	女	6	5	0	1	83.3%	4	0	0	0	1
55～59 歳	男	7	6	0	1	85.7%	4	0	0	0	2
	女	2	1	0	1	50.0%	1	0	0	0	0
60～64 歳	男	8	6	0	2	75.0%	6	0	0	0	0
	女	7	6	0	1	85.7%	5	0	0	0	1
65～69 歳	男	12	9	0	3	75.0%	4	0	0	1	4
	女	13	7	0	6	53.8%	2	0	0	0	5
70～74 歳	男	36	26	0	10	72.2%	13	0	0	2	11
	女	37	23	1	13	62.2%	15	1	0	1	6
75 歳以上	男	99	59	2	38	59.6%	26	2	0	5	26
	女	93	62	0	31	66.7%	37	1	0	2	22
合計	男	170	111	2	57	65.3%	58	2	0	8	43
	女	162	107	1	54	66.0%	66	2	0	3	36
	計	332	218	3	111	65.7%	124	4	0	11	79

がん要精密検査者の年齢・性別構成

子宮頸がん検診

(人)

区分	要精密検査者数	精密検査受診者数	精密検査未受診者数	精密検査未把握者数	精密検査受診率	精密検査結果							
						異常なし	LSIL/CIN1	HSIL/CIN2	HSIL/CIN2～3	HSIL/CIN3	AIS	子宮頸がん	その他の疾患(腺異形成含む)
20～24歳	15	13	0	2	86.7%	5	4	2	0	0	0	0	2
25～29歳	8	6	0	2	75.0%	5	1	0	0	0	0	0	0
30～34歳	5	5	0	0	100.0%	0	3	2	0	0	0	0	0
35～39歳	4	1	0	3	25.0%	1	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	8	7	1	0	87.5%	4	1	1	0	1	0	0	0
45～49歳	16	11	0	5	68.8%	7	3	1	0	0	0	0	0
50～54歳	12	12	0	0	100.0%	6	3	2	0	0	0	1	0
55～59歳	4	3	0	1	75.0%	2	0	0	0	1	0	0	0
60～64歳	1	1	0	0	100.0%	0	0	0	0	1	0	0	0
65～69歳	1	1	0	0	100.0%	1	0	0	0	0	0	0	0
70～74歳	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
75歳以上	1	1	0	0	100.0%	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	75	61	1	13	81.3%	32	15	8	0	3	0	1	2

がん要精密検査者の年齢・性別構成

乳がん検診（マンモグラフィ）

(人)

区分	要精密検査者数	精密検査受診者数	精密検査未受診者数	精密検査未把握者数	精密検査受診率	精密検査結果		
						異常なし	乳がん(転移性を含まない)	その他(転移性乳がん含む)
40～44歳	16	14	0	2	87.5%	6	0	8
45～49歳	16	15	0	1	93.8%	6	1	8
50～54歳	16	15	0	1	93.8%	6	2	7
55～59歳	10	8	0	2	80.0%	5	1	2
60～64歳	8	8	0	0	100.0%	5	0	3
65～69歳	9	8	0	1	88.9%	4	1	3
70～74歳	11	9	0	2	81.8%	4	2	3
75歳以上	4	4	0	0	100.0%	2	1	1
合計	90	81	0	9	90.0%	38	8	35

乳がん検診（超音波）

（人）

区分	要精検 者数	精検受診 者数	精検未受 診者数	精検未把 握者数	精検受診 率	精密検査結果		
						異常なし	乳がん（転 移性を含 まない）	その他（転 移性乳が ん含む）
30～34 歳	1	1	0	0	100.0%	0	0	1
35～39 歳	3	3	0	0	100.0%	0	0	3
40～44 歳	1	1	0	0	100.0%	0	0	1
合計	5	5	0	0	100.0%	0	0	5

がん要精密検査者の年齢・性別構成

前立腺がん検診

（人）

区分	要精検 者数	精検 受診者数	精検未受 診者数	精検未把 握者数	精検 受診率	精密検査結果		
						異常なし	前立腺 がん	その他
50～54 歳	2	1	0	1	50.0%	1	0	0
55～59 歳	3	3	0	0	100.0%	3	0	0
60～64 歳	11	4	1	6	36.4%	1	0	3
65～69 歳	24	12	3	9	50.0%	6	3	3
70～74 歳	55	21	4	30	38.2%	7	5	9
75 歳以上	181	66	16	99	36.5%	15	13	38
合計	276	107	24	145	38.8%	33	21	53

7 骨粗しょう症検診

寝たきりの原因となる骨粗しょう症予防のため、30歳以上の市民を対象に実施。

※平成28年度から足部位での超音波診断

受診者の年齢・性別構成

(男)

(人)

年齢	異常認めず	要指導	要精検	合計
30～39歳	0	0	0	0
40～49歳	1	0	0	1
50～59歳	2	0	0	2
60～69歳	2	1	0	3
70歳以上	26	13	7	46
合計	31	14	7	52

(女)

(人)

年齢	異常認めず	要指導	要精検	合計
30～39歳	3	3	0	6
40～49歳	11	5	0	16
50～59歳	26	16	5	47
60～69歳	13	20	8	41
70歳以上	20	50	18	88
合計	73	94	31	198

8 健康教育事業

(1) 乳がん検診時健康教育

ア 目的

乳がんについての理解を深め、ブレスト・アウェアネスを習得してもらい、乳がんの早期発見、早期治療に結びつける。

イ 対象

乳がん検診受診者

ウ スタッフ

保健師、看護師

エ 実施内容・参加者数

回数	内 容	参加者数
234 回	乳がんについて ブレスト・アウェアネスについて セルフチェックについて	792 人

(2) 地区健康教育

ア スタッフ

保健師、管理栄養士

イ 保健師対応健康教育 実施内容・参加者数 (人)

地区・グループ名	内 容	参加者数
小針区	体組成、握力、骨密度測定、結果説明	25
小牧原北区	体組成、握力、血圧測定 フレイルに関する講話	30
小牧原中区	各種測定（フレイル） フレイルに関する講話	26
舟津区	各種測定（フレイル） 熱中症・フレイルに関する講話	37
入鹿区	握力、体組成測定 認知症予防の講話	43
村中区	体組成測定、結果説明 簡単体操	23
村中	準備体操、ウォーキング指導	31

とみづか	食を通じてフレイルに関する講話	25
小木中・下区	フレイルに関する講話	34
二重堀	動脈硬化に関する講話 握力測定、結果説明	40
東新町	骨密度測定、結果説明 口腔体操	41
間々原	血管年齢・体組成・脳年齢測定、結果説明	20
篠岡小学校地域協議会	ウォーキング指導・体操	73
いきいきシルバースポーツ学級	体組成、握力、前屈の測定、結果説明	37
寿学園	「健康寿命を延ばす秘訣」講話	320
あいち清光会	フレイルに関する講話	50
サロン悠々小牧ヶ丘	熱中症予防について	11
みどり台サロン	握力、体組成の測定、体操	20
三ツ渕コミュニティ	足底バランス測定、ベジチェック（生きがい）、口腔体操、足の体操	104
小牧西部地区ボランティア連絡会	口腔体操	167
岩崎東中サロン	フレイルに関する講話	30
小牧地域協議会	握力測定、立ち上がり測定、片足立ち、体操	57
懐サロンの会ぬくもりの家	脳トレ、体操	10
計		1,254

ウ 管理栄養士対応健康教育 実施内容・参加者数（成人関係）

（人）

団体名	内 容	参加者数
保健連絡員 E グループ学習会	食品成分表示を見てみよう！	38
保健連絡員 D グループ学習会	栄養補給と健康食品	27
とみづか区老人会	バランスよく食べよう～人生 100 年時代の「食べる」を知ろう	25
保健連絡員 E グループ学習会	学習会まとめ「バランスよく食べよう」	32
計		122

(3) 職域健康教育

ア スタッフ

保健師

イ 実施内容・参加者数（人）

団体名	内 容	参加者数
リサイクルプラザ	生活習慣病予防	18

(4) 出前講座（国保協力事業）

ア 目 的

転倒予防・認知症予防・おくちの健康・栄養、フレイル予防などについての知識や日常生活の中で実施できる体操などを日頃集まる場（地区老人クラブ等）で知ってもらい、要介護状態になることを予防する。

また、生活習慣病や体力低下を予防し、市民が健康づくりをするためのきっかけをつくることや、疾患に対する理解を促し予防行動につなげること、自己肯定感を育み、市民が心身ともに健やかに過ごすためのきっかけとなることを目的とする。

イ 対 象

小牧市内の老人クラブの会員、保健連絡員活動、地域 3 あい事業の出前講座等、地区からの団体申し込み

ウ コース名・内容・講師

コース名	内 容	講 師
防 ぐ う 誤 嚥 性 肺 炎！これであなとも 歯あわせ講座	【講話】誤嚥性肺炎を予防するポイントなど 【実技】顔の筋トレ、健口体操など	歯科衛生士
転ばぬ先の転倒予防 教室	【講話】「日常生活における転倒予防とは」など 【実技】転びにくい体づくりのための体操など	運動指導士 及び看護師
立 っ て も 座 っ て も OK！本気のラジオ体 操講座	【講話】ラジオ体操の正しい方法について 【実技】実技指導、ストレッチ、みんなの体操 指導など	体操指導員
～ゲートキーパー入 門編～優しい伝え方 講座	【講話】ゲートキーパーについて 【実技】ペアワーク、ストレッチなど	精神保健福 祉士
人生 100 年時代の「食 べる」を知ろう講座	【講話】「健康寿命をのばすためにフレイルを予 防しよう」 【実技】BMI チェック、11 種のバランスチェッ ク、今晚のメニューを考えよう	管理栄養士
オトナ女子の更年期 講座	【講話】更年期について 【実技】体操など	N P O 法人 ちえぶら
女性の健康講座～骨 盤底筋エクササイズ ～	【実技】出産や加齢による腹圧性の尿漏れ予防 に効果的なエクササイズ	N P O 法人 ちえぶら
育てよう、自己肯定感	【講話】自己肯定感について 【実技】ペアワーク	保健師

エ 実施回数・参加人数

(人)

コース名	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度	
	回数	人数 (延べ)	回数	人数 (延べ)	回数	人数 (延べ)
転ばぬ先の転倒予防教室	7	199	5	94	5	101
笑う門には福来る！ 楽しく歯あわせ講座					6	117
立っても座っても OK！ 本気のラジオ体操講座	5	115	6	117	3	62
めざせ！健康長寿～今から できること～			5	115	2	43
人生 100 年時代の「食べる」 を知ろう講座	6	144	4	68	10	267
ピンクリボン講座 ～乳がんセルフチェック～					0	0
育てよう！自己肯定感	0	0			0	0
防ごう 誤嚥性肺炎！これ であなたも歯あわせ講座	13	354	12	321		
オトナ女子の更年期講座	4	60	5	113		
女性の健康講座～骨盤底 筋エクササイズ～	7	129	7	143		
～ゲートキーパー入門編 ～優しい伝え方講座	3	91				
計	45	1,092	44	971	26	590

(5) 自分・家族の健康を考える食生活講座（ヘルスマイト養成講座）

ア 目 的

自分の食生活を見直し、生涯にわたり健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、望ましい食生活について、講義、実習の両面から学ぶ。そして、市民自らが、家族、地域、職場の人々、社会全体の健康づくりへと寄与できることを目的とする。また講座終了者は、小牧市食生活改善協議会に加入し、食生活改善協議会員（ヘルスマイト）として小牧市内で食のボランティア活動に携わることができる。

イ 対 象

市民 10 人

ウ スタッフ

管理栄養士、保健師、歯科衛生士、精神保健福祉士、ヘルスマイト

エ 実施内容・参加者数

(人)

回	実 施 日	内 容	参加者数
1	10月24日(木)	開講式 オリエンテーション 講話「小牧の健康状況と取り組みについて」 講師：保健師 「ヘルスマイトと地区組織について」 講師：管理栄養士	3
2	11月7日(木)	講話「自分や家族の食生活を見直して、生活習慣病を予防しよう」 「食事バランスガイドを使ってみよう」 講師：管理栄養士	3
3	11月21日(木)	調理実習「バランスのとれた食事を作ろう」 講師：管理栄養士	3
4	12月5日(木)	講話「フレイルを予防して、健康寿命をのばそう」 講師：管理栄養士 「体を動かして、フレイルを予防しよう」 講師：保健師 「お口の健康とオーラルフレイルについて」 講師：歯科衛生士	2
5	12月19日(木)	講話「こころの健康とフレイルの関係について」 講師：精神保健福祉士 「フレイル予防の食事で、低栄養を防ごう」 講師：管理栄養士	2
6	1月9日(木)	調理実習「フレイル予防の食事を作ろう」 講師：管理栄養士	3
7	1月23日(木)	講話「食品成分表を使って、栄養価を計算してみよう」 「食中毒予防の知識で、おいしく安全に食べよう」 講師：管理栄養士	3
8	2月6日(木)	講話「減塩の工夫を知って、家族の健康を守ろう」 塩分測定「おうちの味を確認しよう」 講師：管理栄養士 体験実習「ヘルスマイトの活動を体験しよう」 講師：ヘルスマイト	2
9	2月20日(木)	調理実習「食塩を控えた食事を作ろう」 講師：管理栄養士	3
10	3月6日(木)	グループワーク「私たちにできる健康づくりをみんな考えよう」 ヘルスマイトの紹介 修了証書授与 閉講式	2
計			26

オ 食生活改善協議会員（ヘルスマイト）活動開始者数 1人
（講座修了者は食生活改善協議会員として活動できる）

9 健康相談事業

(1) 医師健康相談

人(回)

実施日時	場所	実施内容	参加者数(開催回数)		
			令和6年	令和5年	令和4年
毎週月曜日 9時～11時45分 13時～14時15分 毎週水曜日 9時～11時15分	保健センター	・病気に関する相談 ・健診結果の説明 ・治療等に関する相談 等	15 (88)	12 (95)	20 (96)

ア 目的

気になる症状があるが、病院へは行きづらい方や、病気についての相談を希望する方に、自分の健康に関して医師の相談を実施し、自らの健康を振り返り、健康に関する意識を高める機会とする。

イ 対象

健康に関して、医師へ何らかの相談を希望する市民

(2) 保健師等健康相談

人(回)

実 施 日 時	場 所	実 施 内 容	参加者数（開催回数）		
			令和6年	令和5年	令和4年
毎週月曜日 9 時～11 時 45 分	保健センター	・健康に不安のある方の 運動・食事等の日常生活相談 ・血圧測定・尿検査の実施	89 (24)	153 (46)	175 (46)
毎月第 3 火曜日 9 時 30 分～11 時 15 分	味岡市民センター			8 (11)	15 (11)
毎月第 3 水曜日 9 時 30 分～11 時 15 分	東部市民センター			4 (11)	5 (12)
計			89 (24)	165 (68)	195 (69)

ア 目的

病気の有無にかかわらず、自らの健康を保持・増進し、生活習慣病を予防し、健康を守っていくことができるよう意識を高める。

イ 対象

市民

(3) 保健師・管理栄養士による生活習慣病予防相談

人(回)

実施日時	場 所	実施内容	参加者数(開催回数)		
			令和6年	令和5年	令和4年
毎週月曜日 9時30分～12時 13時30分～16時	保健センター	生活習慣、食事記録をもとにした 具体的な生活習慣の相談	44 (38)	64 (43)	65 (44)

ア 目 的

- ・自分の健康に対する知識や、各種生活習慣病に対する知識を深めることができる。
- ・何らかの生活習慣病を持ちながらも、元気で、自己実現のできる生活ができるよう健康を生活の重要な条件として認識することができる。
- ・自分の健康状態を振り返り、積極的に日常生活や、食生活、運動習慣を見直し、今後の生活につなげていける機会とすることができる。

イ 対 象

- ・健康状態を振り返り、積極的に日常生活や食生活・運動習慣を見直したい方及びその家族
- ・骨粗しょう症検診で、要指導・要精検となった方及びその家族
- ・病気などにより日常生活の改善が必要な方及びその家族

ウ 相談来所きっかけ

(人)

医師からの紹介	健診結果より	一般相談より	教室等での紹介	広報・チラシ	継続の方	その他
3	21	0	2	1	4	6

エ 相談内容内訳(相談内容は再掲、重複あり)

(件)

相談内容	糖尿病	高血圧	脂質異常症	肥満	骨粗しょう症	食事一般	その他
相談件数	34	6	11	6	3	2	4

(4) 精神保健福祉士による心の健康相談

令和6年度 実績（4月～3月分）

精神保健福祉 面接・電話・訪問 相談実施集計結果について

	年齢区分					合計	性別		本人	家族	相談内容（重複可）															
	妊産婦	乳児期	小・中・高・大	19歳―60歳	61歳以上	相談件数	男	女			マタニティブルー	子育て（メンタル）	社会復帰	こころの健康づくり	薬物	いじめ	ひきこもり・不登校	自殺関連	犯罪被害	精神疾患						
																				うつ	統合失調症	発達障害	アルコール	摂食障害	受診について	その他
面接相談	0	0	1	16	9	26	17	9	18	8	0	3	1	25	0	0	5	1	0	2	14	1	0	0	10	1
電話相談	0	0	1	26	14	41	15	26	26	15	0	3	5	39	0	1	7	1	0	19	3	0	4	0	7	1
訪問	0	0	0	1	1	2	0	2	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
各項目の合計	0	0	2	43	24	69	32	37	45	24	0	7	7	66	0	1	12	2	0	22	17	1	4	0	17	2

10 訪問指導

(1) 健康増進法に基づく訪問指導

ア 目 的

生活習慣病予防・介護を要する状態になることの予防に関する指導や、療養上保健指導が必要であると認められる者及びその家族に対して保健師等が訪問し、健康に関する問題を総合的に把握し必要な指導を行い、これらの者の心身機能低下の予防と健康の保持増進を図ることを目的とする。

イ 対 象

40歳以上 65歳未満の者及びその家族

(ア) 対象者の把握方法

(人)

内 容	令和6年度	令和5年度	令和4年度
県関係機関より	1	0	0
医療関係より	0	0	0
福祉関係より	2	0	0
本人・介護者・家族からの依頼	1	0	1
保健連絡員・ボランティアから紹介	0	0	0
保健センター事業より	0	0	0
前年度から継続	0	0	1
糖尿病重症化予防事業より（再掲）	0	0	1
その他	1	0	0
計	5	0	3

(イ) 被指導人員

(人)

内 容	実人員	延人員
生活習慣病要指導者等	0	0
閉じこもり予防	0	0
認知症の者	0	0
精神的支援	3	4
その他	2	34
計	5	38

ウ 実施結果

(7) 保健師・訪問指導員による訪問

・訪問延件数 38 件

・訪問指導内容 (件)

内 容	件 数
血 圧 測 定	1
疾 患	0
服 薬	0
食 生 活	0
口 腔 衛 生	0
咀 嚼 嚥 下	0
A D L	0
I A D L	0
運 動	0
環 境 整 備	0
生 き が い づ く り	0
地 域 活 動 参 加 勧 奨	0
基 本 チェ ッ ク リ ス ト 実 施	0
他 機 関 紹 介	0
家 族 間 調 整	0
就 労	0
日 常 生 活	30
各 種 制 度	3
受 療 ・ 医 療	6
苦 情	0
傾 聴	32
自 殺	0
そ の 他	3

※重複記載あり

(イ) 管理栄養士による訪問

・訪問件数 0 件

(2) その他訪問指導

ア 目 的

保健センターへの来所が困難な場合や家庭での状況を確認した上での指導が必要な場合、あるいは家庭での指導が適切な場合等に訪問し相談、指導を行う。

イ 対 象

前述の健康増進法等の訪問対象以外の者及びその家族

(ア) 対象者の把握方法 (人)

内 容	令和6年度	令和5年度	令和4年度
県関係機関より	1	0	0
医療関係より	0	0	0
行政関係より	1	2	0
本人・介護者・家族からの依頼	5	2	0
保健連絡員・ボランティアから紹介	1	0	0
保健センター事業より	0	0	1
前年度から継続	2	2	4
糖尿病重症化予防事業より（再掲）	0	1	0
その他	0	0	1
計	10	7	6

(イ) 被指導人員 (人)

内 容		実 人 員			延 人 員	
		40歳未満 (再掲)	65歳以上 (再掲)		40歳未満 (再掲)	65歳以上 (再掲)
生活習慣病要指導者等	0	0	0	0	0	0
閉じこもり予防	1	0	1	1	0	1
介護予防事業	0	0	0	0	0	0
認知症の者	1	0	1	1	0	1
精神的支援	7	3	4	8	3	5
その他	1	0	1	1	0	1
計	10	3	7	11	3	8

ウ 実施結果

(ア) 保健師・訪問指導員による訪問

・ 訪問延件数 12 件

・ 訪問指導内容 (件)

内 容	件 数
血 圧 測 定	0
疾 患	0
服 薬	0
食 生 活	0
口 腔 衛 生	0
咀 嚼 嚥 下	0
A D L	0
I A D L	0
運 動	0
環 境 整 備	0
生 き が い づ く り	0
地 域 活 動 参 加 勧 奨	0
基 本 チェ ッ ク リ ス ト 実 施	0
他 機 関 紹 介	0
家 族 間 調 整	0
就 労	0
日 常 生 活	6
各 種 制 度	3
受 療 ・ 医 療	8
苦 情	0
傾 聴	11
自 殺	0
そ の 他	1

※重複記載あり

(イ) 管理栄養士による訪問

・ 訪問件数 1 件

11 ヤング健診

(1) 目 的

健康と毎日の生活習慣を振り返るきっかけとして、若い頃からの健診及び指導を受ける機会を提供して生活習慣病の予防につなげる。

生活習慣から起因する疾病の予防に向け、生活習慣病と密接に関係する内臓脂肪に着目した血液検査を取り入れた健診を行い、ハイリスク者に対し自覚症状がなくても数字により生活習慣の変容につながるような動機付けができ、これにより糖尿病等の生活習慣病発生予防や重症化防止の支援を行う。

(2) 対 象

- ① 小牧市に住民登録のある 35 歳から 39 歳の方で、事業所等で健診を受ける機会のない方
- ② 昨年度ヤング健診受診者のうち動機付け・積極的支援に該当した方(16 人)

(3) 実施日時

日にち：7 月 25 日(木)、8 月 19 日(月)、9 月 7 日(土)、10 月 15 日(火)

時 間：午前 9 時 30 分～12 時

(4) 会 場

保健センター

(5) 実施内容

身体計測（身長・体重・腹囲測定）、血圧測定、尿検査、血液検査（脂質検査・血糖検査・貧血検査）、医師診察、生活習慣及び歯科に関する保健指導

(6) スタッフ

医師、保健師、看護師、歯科衛生士、事務員

(7) 受診結果概要

ア 受診者数

(人)

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
35 歳	26	36	29
36 歳～39 歳	146	149	136
総受診者数	172	185	165

イ 健診結果による階層化

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
情報提供レベル	150 人 (87.2%)	164 人 (88.6%)	146 人 (88.5%)
動機付け支援レベル	15 人 (8.7%)	11 人 (5.9%)	12 人 (7.3%)
積極的支援レベル	6 人 (3.5%)	10 人 (5.4%)	7 人 (4.2%)
判定不能	1 人 (0.6%)		

ウ 階層化による各レベルにおける内訳

(ア) 情報提供レベル 150 人 (男性 30 人 女性 120 人)

身体計測内訳

(人)

男性	・腹囲 85cm 以上 + BMI25 以上のチェック	6
	・腹囲 85cm 以上のみのチェック	4
	・BMI25 以上のみのチェック	0
女性	・腹囲 90cm 以上 + BMI25 以上のチェック	3
	・腹囲 90cm 以上のみのチェック	0
	・BMI25 以上のみのチェック	7

検査項目基準値外内訳 (人)

検査項目		男性	女性
収縮期血圧	高値	1	2
拡張期血圧	高値	1	2
空腹時血糖値	高値	3	5
HbA1c	高値	6	27
中性脂肪	高値	4	7
HDL コレステロール	低値	3	1

(イ) 動機付け支援レベル 15 人 (男性 2 人 女性 13 人)

身体計測内訳 (人)

男性	腹囲 85cm 以上 + BMI25 以上のチェック	1
	腹囲 85cm 以上のみのチェック	1
	BMI25 以上のみのチェック	0
女性	腹囲 90cm 以上 + BMI25 以上のチェック	6
	腹囲 90cm 以上のみのチェック	0
	BMI25 以上のみのチェック	7

検査項目基準値外内訳 (人)

検査項目		男性	女性
収縮期血圧	高値	1	5
拡張期血圧	高値	0	4
空腹時血糖値	高値	0	4
HbA1c	高値	0	5
中性脂肪	高値	1	4
HDL コレステロール	低値	0	2

(ウ) 積極的支援レベル 6人（男性3人 女性3人）

身体計測内訳 (人)

男性	腹囲 85cm 以上 + BMI25 以上のチェック	3
	腹囲 85cm 以上のみのチェック	0
	BMI25 以上のみのチェック	0
女性	腹囲 90cm 以上 + BMI25 以上のチェック	3
	腹囲 90cm 以上のみのチェック	0
	BMI25 以上のみのチェック	0

検査項目基準値外内訳 (人)

検査項目		男性	女性
収縮期血圧	高値	2	1
拡張期血圧	高値	0	1
空腹時血糖値	高値	1	2
HbA1c	高値	2	0
中性脂肪	高値	2	2
HDL コレステロール	低値	0	1

(8) ヤング健診後の保健指導状況

ア 個別面接状況

ヤング健診受診者 172 人中 139 人(男性 29 人、女性 110 人)と面接
(80.8%)

うち 栄養相談 32 人

イ 動機付け、積極的支援対象者への処遇

動機付け支援対象者 15 人(男性 2 人 女性 13 人) (人)

処 遇	男 性	女 性
結果説明会当日指導にて終了	1	10
管理栄養士による当日相談利用	0	12
資料送付にて終了	1	0
電話による相談利用	0	3

※複数選択あり

積極的支援対象者 6 人(男性 3 人 女性 3 人) (人)

処 遇	男 性	女 性
結果説明会当日指導にて終了	1	3
管理栄養士による当日相談利用	0	3
資料送付にて終了	2	0
電話による相談利用	0	0

※複数選択あり

12 地域支援事業 一般介護予防事業

(1) 介護予防普及啓発事業

ア 知って得する若返り講座

(ア) 目 的

心身の機能が低下した状態の「フレイル」に陥らないよう、その予防に向けた正しい知識を普及啓発し、市民一人ひとりがフレイル予防の大切さを認識し、自分ごととして行動に移すことができるよう促し、元気で生き生きとした潤いのある暮らしを続けていくことができるよう支援することを目的とする。

【ねらい】

参加された人が、フレイル予防に関する意識を向上させ、講座で得られた知識を、個人や地域での活動の中で活かすことができる。

(イ) 対 象

概ね 60 歳以上で市内在住の方

(ウ) スタッフ

歯科衛生士、体操指導員

(エ) 内 容

- ・お口の機能アップと頭の体操を楽しみながら行う
- ・運動器機能向上のための筋トレ、ストレッチなど簡単な体操を音楽に合わせて行う

(オ) 会 場

ラピオ

サンビレッジ（社会福祉法人 あいち清光会）

東部市民センター

田県の郷

(カ) 実施状況 参加者数 (延べ)

(人)

会場	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	総 計
ラピオ	12	9	7	11	10	10	7	6	5	6	7	10	100	185
サンビレ ッジ	-	-	4	-	-	6	-	-	6	-	-	-	16	
田 県 の 郷	-	8	-	18	-	3	-	7	-	4	-	-	40	
東 部 市 民 セ ン タ ー	-	-	6	-	6	-	8	-	-	-	9	-	29	

イ 健康づくり応援隊★認定講座

(ア) 目 的

心身の機能が低下した状態の「フレイル」に陥らないよう、元気なうちから予防に向けた正しい知識を普及啓発し、いつまでも元気に市民活動に参加し、生き生きとした潤いのある暮らしを続けていくことができるよう支援することを目的とする。

【ねらい】

参加された人が、フレイル予防に関する意識を向上させ、講座で得られた知識を各々の市民活動の中で活かして健康づくりに取り組み、市民活動団体のメンバーが元気に活動を続けることができる。

(イ) 対 象

市民活動団体の代表者

(ウ) スタッフ

歯科衛生士、体操指導員

(エ) 内 容

- ・お口の機能アップと頭の体操を楽しみながら行う
- ・運動器機能向上のための筋トレ、ストレッチなど簡単な体操を音楽に合わせて行う

(オ) 会 場

ラピオ 2 階 ワクティブこまき

(カ) 実施状況 参加者数 (延べ) (人)

開催日	参加人数
8 月 27 日	0
11 月 26 日	15

ウ 筋力アップのためのトレーニングマシン講習会

(ア) 目 的

高齢者にとって身近な老人福祉センターにおいて、高齢者自身が安全に効果的にトレーニングマシンを利用し、筋力特に下肢筋力の強化に向けて取り組むことができるよう支援する。

(イ) 対 象

小牧市在住の 60 歳以上の方

(ウ) スタッフ

健康運動指導士

(エ) 内 容

- ・筋力アップトレーニングやストレッチの必要性を伝える。
- ・トレーニングマシンの正しく安全で効果的な使用方法を指導する。

(オ) 会 場

第一老人福祉センター	野口の郷	機能回復訓練室
第二老人福祉センター	小針の郷	機能回復訓練室
第三老人福祉センター	田島の郷	機能回復訓練室

(カ) 実施状況 実施回数・参加者数（延べ）

野口の郷 10 回

小針の郷 10 回

田県の郷 10 回

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	総 計
野口の郷	35	35	20	25	－	30	16	12	15	15	25	－	228	549
小針の郷	20	15	15	15	－	15	8	8	7	6	6	－	115	
田県の郷	30	30	20	23	－	25	8	20	18	12	20	－	206	

エ おいしく食べて元気に長生き！サロン巡回低栄養予防教室

(ア) 目 的

サロンに参加される対象に応じて、低栄養予防についてのミニ講話を行ったり、低栄養予防に関する相談に応じることにより、低栄養予防に関する正しい知識の普及啓発を行う。

(イ) 対 象

市内のふれあいいきいきサロンの参加者

(ウ) 講 師

管理栄養士

(エ) 内 容

低栄養を予防する食事についての講話と簡易栄養相談を「おいしく食べて元気に長生き！サロン巡回低栄養予防教室」として実施。

(オ) 実施場所

各サロン実施の会館等

(カ) 実施状況

29 か所 673 人に実施

オ まちかど運動教室

(ア) 目 的

自身の健康づくりや地域の健康づくりにつなげるために、フレイル予防に関する知識の普及啓発を促し、自らの健康状態を知ったうえで自分にあった健康づくりを継続して実施できるようにする。また、教室を通じて学んだ内容を地域への普及啓発に活かせるよう、ボランティアリーダー認定制度を設け、意識的に健康づくりの普及を行える人材を発掘する。

(イ) 対 象

健康づくり編：65歳以上の要介護認定を受けていない方、もしくは64歳以下の方で地域の健康づくりに興味がある方、運動に支障がない方、健康づくりについて学びたい方

フレイル予防編：介護予防把握事業や令和5年度健康診査の結果から、身体的フレイルリスクがある方

(ウ) スタッフ

運動トレーナー、管理栄養士ほか

(エ) 内 容

測定器等を用いて筋肉量など自身の体の状態を知るとともに、運動や栄養、口腔、認知におけるフレイル予防に関する講話を実施。個々のフレイル予防につなげるとともに、そこで得た知識を地域へ還元していけるよう、希望者については別途講習会を受けることでボランティアとして活躍する際に活用できる認定証を交付する。健康づくり編では、より地域へ目を向けてもらえるような働きかけを行い、フレイル予防編では、現状維持・改善に向けた働きかけを行う。

(オ) 参加者数

(人)

	実施回数		参加者数 (実人数)		参加者数 (延人数)	
	(健康づくり編)	(フレイル予防編)	(健康づくり編)	(フレイル予防編)	(健康づくり編)	(フレイル予防編)
南部		6		7		26
中部	6	6	16	10	67	45
西部		6		4		22
味岡	6	6	26	17	141	92
東部	6	6	30	17	120	86
北里	6	6	18	8	86	34
計	24	36	90	63	414	305

ボランティアリーダー認定講習会参加者：37名

カ 住友理工フレイルチェック測定会

(ア) 目的

住友理工株式会社が開発したフレイルチェックシステムを用いて、フレイルチェックを行う機会を設けることで、自身の今の健康状態を知るきっかけとする。

(イ) 対象

60歳以上の市民

(ウ) 内容

身体計測、問診、体組成測定、握力、5m歩行速度、3mTUG、クロステスト（足圧測定）、フィードバック

(エ) 参加者数／回数

127人／8回

(2) フレイルハイリスク者重症化予防相談

ア フレイル改善個別相談

(ア) 目 的

加齢とともに心身の機能が低下し、要介護に陥る危険性の高い状態にある高齢者が口腔、栄養、運動の３分野において、各専門職による個々の状態に応じた支援を受けることで、フレイル改善に向けた取り組みを行い、住み慣れた地域でいつまでもいきいきとした生活を送ることができる。

- ① 個々の状態に応じた個別相談を通して、フレイル改善のための取り組み方法を知り、行動変容ができる。
- ② 通いの場に出向いたり、楽しみを見つけることで、他者とのつながりを持つことができる。

(イ) 方 法

【口腔・運動分野】

各老人福祉センターで開催日を設け、理学療法士、歯科衛生士による個別相談を行い、看護師がフィードバックを行う。

【栄養分野】

対象者との日程調整後、地区の会館や自宅等に管理栄養士が出向き、個別相談を行う。

(ウ) 対 象

保健師等の専門職が個別相談の必要があると判断した、概ね 60 歳以上の方

分野	判断基準
口腔	・ 固いものが食べにくくなった ・ 水や汁物でむせることが多くなった ・ 家族や友人から聞き取りにくいと言われるようになった
運動	・ ひざや腰に痛みを感じる（医師より運動の許可がある） ・ うでや肩に痛みを感じる（医師より運動の許可がある） ・ ペットボトルのキャップが開けにくくなった ・ 10 分以上継続して歩くことができない ・ 以前と比べて歩く速度が遅くなってきた ・ 週に 2 回以上体を動かしていない
栄養	・ 体重減少（6 か月間で 2～3 kg 以上） ・ BMI が 18.5 未満 ・ 健康診査等でアルブミン値が 3.5g/dl 未満 ・ 食事での困りごとがある

(エ) 対象者の把握経路

- ・ 後期高齢者健康診査を実施している医療機関より把握
- ・ 高齢者の集う場（サロン等）において実施されるフレイルチェックや地域住民（保健連絡員等）を通して保健師等が把握
- ・ 介護予防実態把握事業において地域包括支援センターより把握
- ・ 国民健康保険加入者のうちレセプトより把握

(オ) スタッフ

【口腔・運動分野】

歯科衛生士 1 名、理学療法士 1 名、看護師もしくは保健師 1 名

【栄養分野】

管理栄養士 1 名

(カ) 内 容

【 3 分野共通】

- ・心身機能の状態について本人の気づきを促し、フレイル改善の取り組みのきっかけになるよう、その状態の改善に向けた相談、情報提供を行う。
→本人の気づきを促すため、相談時にミニ測定を実施し、個々の状態に応じた個別相談を実施する。
- ・自宅でも取り組めるように資料を配布する。
- ・通いの場の紹介

(キ) 実施状況

分野別の実施人数

(人)

月	口腔・運動分野			栄養分野
	野口の郷	小針の郷	田島の郷	
6	3	－	3	0
7	－	2	3	2
8	2	3	－	0
9	2	－	3	2
10	－	2	4	1
11	4	4	－	2
12	2	4	4	1
1	3	2	4	1
2	2	3	3	0
3	2	2	1	1
合計	20	22	25	10
分野別合計	67			

(3) 地域介護予防活動支援事業

ア 目 的

専門職が介護予防に必要な知識や技術を提供することにより、介護予防の場を運営する地域団体が、介護予防への取り組みができる。

イ 事業内容

介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための指導
介護予防に資する地域活動組織の育成・支援

ウ 支援方法

ボランティアが主となり、介護予防の場を運営していけるよう支援していく。

保健センターからスタッフが出向き、実際の場面を通してどのように対処したらよいか伝えていく。

また、カンファレンスを通して実際の場면을振り返る機会を設ける。

エ スタッフ

保健師、看護師

オ グループ活動

(ア) グループ活動の目的

高齢や病気のため体に不自由が生じ、気持ちがなかなか外に向かず、1人では外出しづらくなり、閉じこもりがちの方が集まれる場を作り、介護予防に向けた取り組みを行う。

(イ) グループの詳細

介護予防サポート ももの会

(a) 対象地区 篠岡地域

(b) 日 時 毎月第1・第3金曜日（月2回）

午前9時30分～午後3時30分

全24回 ボランティア会議1回

(c) 内 容 体操、ゲーム、レクリエーション、読み聞かせ、創作活動等

(d) メンバー及び利用者 (人)

	実人数	延べ人数
ボランティア (保健連絡員、保健連絡員 OB)	19	262
利用者	8	139

13 小牧市健康づくり推進プランの推進

(1) 基本理念

「みんなが主役 支え合いの輪でつながるまち こまき」

(2) 最終目標

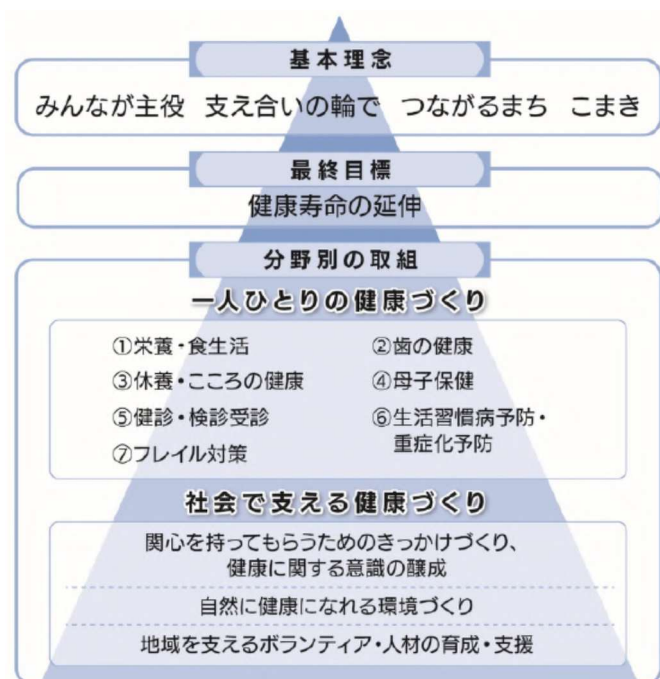
「健康寿命の延伸」

(3) 基本方針

1. 一人ひとりの健康づくり
2. 健診・検診受診率の向上
3. 生活習慣病予防・重症化予防
4. フレイル対策
5. 社会で支える健康づくり

(4) 推進の体系

最終目標である「健康寿命の延伸」の実現のため、分野別計画として、「一人ひとりの健康づくり」として7分野（①栄養・食生活、②歯の健康、③休養・こころの健康、④母子保健、⑤健診・検診受診、⑥生活習慣病予防・重症化予防、⑦フレイル対策）と「一人ひとりの健康づくり」を支える仕組みづくりとして、社会で支える健康づくりを設定し、それぞれが連携しながら施策を推進する。



(5) 小牧市健康づくり推進審議会および専門部会の設置

本プランの策定および推進に関する事項その他市民の健康づくりのための施策に関する事項について調査審議するため、小牧市健康づくり推進審議会を置く。また、その審議事項のうち、健康づくりに関する専門的事項について必要な調査及び研究を行うため、審議会に小牧市健康づくり推進審議会専門部会を置く。

名称・所掌事務	令和6年度
食育専門部会 (食育に関する事項について必要な調査及び研究を行うこと。)	食育のあり方について検討 関係機関の取り組み状況について 情報共有
歯と口腔の健康づくり専門部会 (歯と口腔の健康づくりに関する課題の解決及び市民のあるべき姿の実現に向け、必要な調査及び研究を行うこと。)	各ライフステージにおける、小牧市の歯科保健に関する課題について共有 乳幼児期・学齢期の歯科保健活動について検討 節目歯科健診の受診率向上に向けた取り組みについて検討

(6) 各分野の令和6年度の取り組み事業（新規・拡充）

【一人ひとりの健康づくり】

①栄養・食生活

○COOKPADにおけるレシピ公開

- ・小牧市で考案された各種レシピを順次公開。レシピにはヘルスメイトや生活改善実行グループ等が考案したものや学校給食のレシピも掲載している。令和6年度末現在、22のレシピを公開中。

②歯の健康

○いきいき世代個別歯科健診オーラルフレイルに関する健診項目を追加

- ・口腔機能低下の予防とともに市民のオーラルフレイルに関する知識の普及を図るため、いきいき世代個別歯科健診の全ての年代で、オーラルフレイルに関する健診の項目を追加した。

③休養・こころの健康

○自殺予防啓発

- ・自殺予防週間にあわせて、図書館と連携し、イベントスペースにて、「心の健康づくり」に関する講座、パネルの展示、自殺対策に関連した書籍を集めた図書コーナー設置するなど、普及啓発を積極的に行った。
- ・ゲートキーパー養成講座を、市民、職員を対象に実施した。

○依存症に関する啓発

- ・ギャンブル、薬物、アルコール等の依存症に関する啓発活動として、啓発グッズの配布、ポスターの掲示、市のホームページにて、周知啓発を行った。

④母子保健

○幼年期性教育

- ・年長児とその保護者を対象とした性教育を実施（保育園・幼稚園での出前講座）した。

⑤健診・検診受診

○がん検診を受診しやすい環境づくり

- ・集団がん検診での託児を実施した。
- ・ホームページの個別検診実施医療機関一覧表の電話番号をリンクとし、番号の入力を自動化した。

⑥生活習慣病予防・重症化予防

○健康相談事業

- ・生活習慣病予防相談等で、生活習慣に改善が必要な方に対して尿検査等を実施し、専門職が相談に応じた。また保険医療課と連携し、健診結果にて高血糖状態がみられる方に生活習慣病予防相談の案内を、保険医療課より送付。

○糖尿病対策事業

- ・糖尿病デー（World Diabetes Day）にあわせて、ケーブルテレビや各 SNS での発信や、ブルーライトアップを行うことで周知啓発を実施した。

○受動喫煙対策や COPD に関する取り組み

- ・世界禁煙デーや COPD デーに合わせて、ポスターや各 SNS で周知啓発を実施した。

⑦フレイル対策

○高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施

- ・ハイリスクアプローチの一つである口腔機能ハイリスク者への支援を開始した。

【社会で支える健康づくり】

○地域で支える健康づくりの推進

- ・まちかど運動教室（健康づくり編）の参加者からボランティアリーダー認定講習会へ参加を促し、地域で活躍している介護予防推進リーダーの養成や、住友理工フレイルチェック測定会の測定員養成につなげ、地域での活動の場を提供。

○健康経営支援

- ・小牧市健康経営優良事業所顕彰制度、小牧市健康経営優良法人認定取得支援補助金制度を開始。
- ・企業の健康経営担当者等を対象に、小牧市健康経営優良事業所表彰式とあわせて交流会を開催した。

○健康習慣化サポート施設ヘルスラボ・こまきの開設

- ・健康づくりとフレイル予防を推進する拠点となる施設を多世代交流プラザ内に整備した。子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージにあった健康づくりやフレイル予防に取り組むための“気づき”や“きっかけ”を提供し、習慣化に向けた支援をする。

14 こまき健康いきいきポイント事業

(1) 目 的

自ら目標を定め、自分にあった健康づくりを楽しみながら継続するために、ポイント事業を実施することで、きっかけづくりや活動の励みにつなげる。それにより、健康づくりに取り組む世代・人口を拡大し、市民の健康増進を図る。

(2) 事業概要

愛知県との協働事業

「こまき健康いきいきポイント」パンフレットに掲載されている健康づくり（下記(3)のこまき健康いきいきポイント内容参照）を実施して、ポイントを1,000ポイント以上貯めるとあいち健康づくり応援カード（まいか）と地域限定商品券（1,000円分）と交換できる。

「まいか」を提示すると、愛知県内の健康づくり応援カード協力店から優待を受けることができる。

(3) 大人版こまき健康いきいきポイント事業

ア 内 容

・健康づくりチャレンジ

毎日の自主目標の取り組みでポイントを貯める

・健診・検診チャレンジ

がん検診や人間ドック、特定健診などを受けてポイントを貯める

・参加チャレンジ

健康に関する講座やイベントに参加してポイントを貯める

・ボーナスチャレンジ

小牧市ウォーキングアプリ「alko」の初回ダウンロードや、健康いきいきポイント制度の知人等への紹介を行い、ポイントを貯める

イ 対 象

中学生以上の市民及び市内在勤・在学者

ウ 周知方法

広報、ホームページ、チラシ、ポスター、各事業でパンフレット配布

エ 実績

- ・あいち健康づくり応援カード「まいか」及び地域限定商品券交換者数 747 人
- ・市内あいち健康づくり応援協力店舗数 39 店舗（R7.3.31 時点）

(4) パンフレット配布、まいか・地域限定商品券交換申込場所

市役所、保健センター、各市民センター、各コミュニティセンター、パークアリーナ小牧、まなび創造館、ホームページからの電子申請

(5) 子ども版こまき健康いきいきポイント事業

ア 目的

生活習慣が不規則になりがちな夏休みに、本事業を通し、親子で楽しみながら健康づくりに取り組むことで、健やかな身体と心を育み、理想的な生活習慣の基盤をつくる。

イ 対象

市内小学生

ウ 実績

- ・あいち健康づくり応援カード「まいか」交換及び記念品贈呈者数 260 人

15 ウォーキングアプリ「alko」

(1) 目 的

誰もが元気でいきいきと暮らすことができる市民総活躍社会を目指し、健康づくりに時間を取りづらい働く世代の方でも「歩く」ことを通し、手軽に健康づくりができる習慣を身に付けることができるよう、市独自のウォーキングアプリを開発・配信し、健康寿命の延伸に寄与することを目的とする。

(2) 事業概要

- ・ 1 日 5,000 歩で獲得できるポイントを貯め、抽選で地域限定商品券に交換できる。
- ・ 獲得ポイントに応じて期間限定で alko カードを獲得でき、これを市内の alko 応援協力店等で提示することで優待を受けることができる。
- ・ 期間限定のチャレンジを達成すると、抽選で記念品を獲得することができる。

(3) 対 象

スマートフォン用アプリ「alko」ダウンロード者

地域限定商品券：18 歳以上の市内在住、在勤、在学者

(4) チャレンジ結果

チャレンジ名	種別	開催日	参加者数 (人)	達成者数 (人)	達成率 (%)
ボランティア力向上 チャレンジ	個人	4/19～4/23	3,246	2,233	69
旧道を歩こうチャレンジ	個人	5/9～5/15	3,137	2,151	69
ゼロカーボンチャレンジ	個人	6/5～6/11	3,673	2,561	70
献血意識向上チャレンジ	個人	7/1～7/10	3,338	2,210	66
下水道の日チャレンジ	個人	9/10～9/14	3,092	2,129	69
身体と地域の健康力向上 チャレンジ	個人	10/11～10/20	3,579	2,521	70
文化財を巡ろう チャレンジ	個人	11/1～11/7	3,471	2,406	69
シルバー歩け歩け チャレンジ	個人	11/8～11/15	2,871	2,105	73
こまき市制 70 周年記念 チャレンジ	VRW	12/17～1/6	4,005	2,522	63

(5) alko カード獲得者数

配信回数 (期間)	第 1 回 (8 月 1 日～31 日)	第 2 回 (11 月 1 日～30 日)	第 3 回 (1 月 1 日～31 日)
獲得者数	5,523 人	5,346 人	4,925 人

(6) 地域限定商品券交換者数

対象者	交換者数
市民 1,000P	1,088 人
2,000P	2,615 人
市外在住市内在勤者 1,000P	119 人

16 国民健康保険加入者における糖尿病性腎症重症化予防事業

(1) 医療未受診者における受診勧奨

ア 目 的

糖尿病および糖尿病性腎症の疑いがあるものの、未受診および外部委託による電話受診勧奨ができていない方に対して、保健師がその方の生活背景や信条を含めた包括的な情報収集およびアセスメントを行い、受診勧奨や生活指導を行うことで、対象者が今後も健康な生活を営むことができる。

イ 対 象

特定健診で下記の基準に該当し、かつ糖尿病および糖尿病性腎症の治療がない者・治療を中断した者のうち、昨年度の保険医療課における電話受診勧奨において連絡が取れない者

- 血 糖 HbA1c6.5%以上、または、空腹時血糖 126 mg/dℓ以上
- 腎機能 尿たんぱく＋以上、または e-GFR 60ml/分/1.73 m²未満

ウ 内 容

(ア)保険医療課より対象者にアンケートを送付

(イ)アンケートの結果をもとに、地区担当保健師が対象者へ架電し受診勧奨を行う

(ウ)電話がつかない場合は訪問し、受診勧奨を行う

エ 実施結果

対象者数 0 名

実施結果

アンケート返信数	
電話における受診勧奨または生活指導	0 名
訪問における受診勧奨または生活指導	0 名

第6 予防接種事業及び結核予防事業

第6 予防接種事業及び結核予防事業

1 予防接種事業一覧

(参考)

種別	期別	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	R5年度 接種率 (%)	接種対象者
不活化ポリオ	第1回		0			生後2か月以上7歳半未満
	第2回		0			
	第3回		0			
	追加		0			
日本脳炎	第1期1回	1,144	925	80.9	78.1	3歳以上7歳半未満(経過措置を含む)
	第1期2回	1,163	886	76.2	73.8	
	第1期追加	1,453	893	61.5	64.3	
	第2期	2,154	1,292	60.0	66.6	9歳以上13歳未満(経過措置を含む)
4種混合	第1期1回	12	12	100.0	105.4	生後2か月以上7歳半未満 (R6年2月生まれより5種混合ワクチンに変更)
	第1期2回	84	84	100.0	95.5	
	第1期3回	181	181	100.0	95.7	
	追加	1,054	987	93.6	80.2	
5種混合	第1期1回	880	874	99.3		生後2か月以上7歳半未満
	第1期2回	947	774	81.7		
	第1期3回	850	675	79.4		
	追加	55	55	100.0		
2種混合	第2期	1,393	1,047	75.2	72.8	11歳以上13歳未満
麻しん風しん混合	第1期	960	865	90.1	94.8	1歳以上2歳未満
	第2期	1,119	918	82.0	90.1	小学校入学前の1年間(年長児の間)
ヒブ	第1回	9	9	100.0	94.1	生後2か月以上5歳未満 (R6年2月生まれより5種混合ワクチンに変更)
	第2回	80	80	100.0	89.5	
	第3回	170	170	100.0	90.5	
	追加	976	800	82.0	90.4	
小児用肺炎球菌	第1回	880	882	100.2	94.5	生後2か月以上5歳未満
	第2回	969	857	88.4	89.6	
	第3回	969	846	87.3	90.8	
	追加	976	857	87.8	90.9	
B型肝炎	第1回	880	876	99.5	93.8	生後1歳未満
	第2回	880	852	96.8	96.5	
	第3回	880	814	92.5	93.8	
2価・4価HPVワクチン	第1回		24			小学校6年生から高校1年生に相当する年齢 (実績にはH9.4.2～H20.4.1生のキャッチアップ接種者も含む)
	第2回		30			
	第3回		56			
9価HPVワクチン	第1回		1,745			小学校6年生から高校1年生に相当する年齢 (実績にはH9.4.2～H20.4.1生のキャッチアップ接種者も含む)
	第2回		1,555			
	第3回		1,253			
水痘	第1回	956	865	90.5	95.9	1歳以上3歳未満
	第2回	984	839	85.3	86.0	
ロタ(1価)	第1回	432	484	112.0	97.2	生後6週から24週まで
	第2回	432	454	105.1	101.3	
ロタ(5価)	第1回	432	382	88.4	89.0	生後6週から32週まで

	第2回	432	381	88.2	89.0	
	第3回	432	380	88.0	88.3	
インフルエンザ		38,273	19,264	50.3	55.4	65歳以上(60から64歳で医師が必要と認めた方を含む)
コロナ		38,265	5,359	14.0		65歳以上(60から64歳で医師が必要と認めた方を含む)
高齢者 肺炎球菌ワクチン		1,583	455	28.7	25.4	65歳(60から64歳で医師が必要と認めた方を含む)

- ※ 日本脳炎：H23～積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した者への接種機会の確保（H7.4.2生からH19.4.1生）
- ※ HPV(子宮頸がん予防)ワクチン：H25.6.14より積極的な勧奨の差し控えをしていたが、R4年度より勧奨再開。それに伴い、R4～6年度の3年間キャッチアップ接種事業を実施（勧奨が差し控えられていたH9年度～H17年度生まれを対象に開始、R5年度はH18年度生まれも対象、R6年度はH19年度生まれも対象）
- ※ 日本脳炎（第2期）高3の学年の未接種者に対し個別勧奨
- ※ 5種混合ワクチン：R6.4.1より定期接種・新型コロナワクチン：R6.10.1より定期接種
- ※ R6年度武田薬品工業株式会社のMRワクチンの出荷停止に伴う供給不足で接種できない状況があり。R7～8年度に経過措置実施

2 結核予防事業

(1)乳幼児 BCG 接種状況

対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種者数内訳（人）			接種率（%）	(参考) R5年度 接種率 (%)
		5か月未満	5か月以上 1歳未満	長期療養1歳以上 4歳未満		
864	848	1	847	0	98.1	98.8

※H25年4月により対象年齢1歳未満

※病気により1歳までに接種出来なかった児を含む

※R4年4月1日より個別接種開始

(2) コッホ現象事例報告

(件)

報告数	5 か月未満	5～8 か月	8 か月以降	ツベルクリン 実施	T-Spot	胸部 X - P	判定
4	0	4	0	陰性 4	陰性 1	所見なし 1	非特異反応 4 (終了 4)
					未実施 3	未実施 3	

(3) 結核定期健康診断

65 歳以上の方に対し、胸部 X 線検診を実施。

(第 5 の 6 参照)

3 愛知県広域予防接種 A 類疾病 (再掲)

(件)

2 種混合	4 種混合	5 種混合	ポリオ	MR1 期	MR2 期	日本脳炎	B 型肝炎	ロタ
12	29	95	0	29	18	66	108	78

ヒブ	肺炎球菌	HPV	水痘	B C G	インフルエンザ	新型コロナ	高齢者肺炎球菌
31	130	87	42	32	1,387	532	3

4 指定医療機関外定期予防接種 (再掲)

(件)

2 種混合	4 種混合	5 種混合	ポリオ	MR1 期	MR2 期	日本脳炎	B 型肝炎	ロタ
0	1	26	0	2	1	3	28	24

ヒブ	肺炎球菌	HPV	水痘	B C G	インフルエンザ	新型コロナ	高齢者肺炎球菌
1	27	16	3	4	41	26	2

5 定期外予防接種

麻しん風しん混合（MR）			
1 期	18 人	2 期	16 人

6 おたふくかぜワクチン予防接種費用助成事業

対象者 1 歳～就学前（全額無料 ただし上限あり）

被接種者数
922 人

7 風しんワクチン予防接種費用助成事業

予防接種の種類

風しんワクチン（R）、又は麻しん風しんワクチン（MR）

（全額無料ただし上限あり）

対象者	風しん抗体検査の結果、風しんワクチンの接種が必要と判断されたもののうち、下記の要件を満たす男性及び女性	助成件数（件）
女 性	妊娠を予定又は妊娠を希望している女性	107（R68・MR39）
男 性	妊娠を予定又は妊娠を希望している女性と婚姻関係のある（事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む）男性	4（R3・MR1）
	妊娠中の女性と婚姻関係のある（事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む）男性	3（R1・MR2）
計		114（R72・MR42）

8 予防接種特別再接種費用助成事業

骨髄移植手術等により、定期予防接種で得た免疫が消失したお子様に対し再接種費用を助成。

再接種時の年齢が結核（ＢＣＧ）は４歳、小児用肺炎球菌は６歳、ヒブ感染症は１０歳、４種混合・５種混合は１５歳、その他は２０歳に達するまで。

（件）

５種混合	小児用肺炎球菌	水痘	Ｂ型肝炎	MR
２	１	１	２	２

9 風しん対策事業（大人の男性の第５期）

公的なワクチン接種を受ける機会がなかったＳ37年４月２日～Ｓ54年４月１日生の男性が対象。風しん抗体検査の結果、予防接種が必要と判断された場合に予防接種を実施。

（Ｒ3年度で終了予定だったが、Ｒ6度まで３年間延長）

抗体検査受検者数	被接種者数
550 人	109 人

10 子宮頸がんワクチン任意接種補助金交付事業

ＨＰＶワクチンの積極的勧奨の差控えにより公費で接種できる定期接種の期間を過ぎた方で、１７歳となる日の属する年度の初日からＲ4年３月３１日までにＨＰＶワクチン（２価・４価）を自費で接種した方を対象に実施。

・ 交付実績 １人

11 小牧市帯状疱疹予防接種費用の助成事業

経済的負担を軽減し健康の保持と増進を図ることを目的とし 50 歳以上の市民を対象に帯状疱疹ワクチンの接種に要する費用の一部を助成

乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	シングリックス筋注用
169 件	1,789 件

第7 母子保健事業

第 7 母 子 保 健 事 業

育児に対する不安が強く、育児に不慣れな保護者が増えている現状において、保護者との信頼関係を築くことがその後の支援にとっても重要になる。そのため、保護者との出会いの場を大切にするとともに、切れ目のない支援をすることで信頼関係を構築する。

また、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援の拠点として、子育て世代包括支援センターが平成30年9月に開設された。子育てに関するあらゆる相談に応じ関係機関と連携し、親子を支援する。

- (1) 親子が地域の中で成長し、みんなで親子を支えることができる地域づくりに向け、同じ地域に住む健康ボランティアである保健連絡員とそのＯＢによって赤ちゃんの全戸訪問を行い、親子の成長を見守り地域での子育てを支える。
- (2) 母子健康手帳の名称を「親子健康手帳」とし、父親、母親の双方が子育てに参加できるようにする。また、妊婦との最初の出会である親子健康手帳（母子健康手帳）交付時においてアンケートを行い、それをもとに相談に応じる等関係づくりを心がけている。
- (3) ほんの些細な疑問でも相談できることを伝え、育児の孤立化を防ぐ。
- (4) 妊娠中の食生活は、母体の健康維持や胎児の成長に影響を及ぼすことを伝え、母子ともに健康に出産できるよう支援する。
- (5) 妊娠中からお口の健康に関して意識できるよう支援する。また、子どもの健診の機会をとらえ、母親の歯科健診を実施する。
- (6) 乳幼児健診での保護者との出会いを大切にし、信頼関係を築き、育児に関する問題に対して支援する。また、乳幼児健診にて全ての子どもの発育発達を保護者とともに確認する。
- (7) 保護者が安心して地域で子育てができるよう支援する。
- (8) 「生と性」に関して親・子・地域に周知し、いのちを大切にし、ありのままの自分が価値のある者であることを認め（自己肯定感）、いきいきと生きる力を高めることができるよう支援する。

1 母子保健事業一覧

《保健センター》

不妊治療等助成事業
不育症治療等助成事業

《子育て世代包括支援センター》

予期せぬ妊娠相談（こまき妊娠SOS）

流産・死産の相談

低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

妊娠の届出
親子健康手帳の交付（個別交付）

※保健師・助産師による交付
※支援方針の判定
※個別支援計画の作成/見直し

妊婦個別健康診査（14回）
※多胎妊婦に対し公費妊婦健康診査5回追加

妊婦個別歯科健康診査（1回）

妊婦8か月児アンケート

妊婦個別歯科健康診査（2回）

新生児聴覚検査・乳児個別健康診査（2回）

新生児電話相談

未熟児訪問

新生児乳児訪問

母乳相談

1stアニバーサリー事業

産後ケア事業

児童館巡回育児相談

利用者支援事業（こども家庭センター型）（対面・電話相談・オンライン相談・訪問）

連携

にこにこむし歯予防教室

個別支援（面接・訪問）・こまねっと（電話相談）

保健連絡員・保健連絡員OB
による赤ちゃん訪問

4か月児健康診査
母親歯科健康診査

離乳食教室

1歳6か月児健康診査
歯科健康診査・フッ化物塗布

2歳3か月児歯科健康診査
フッ化物塗布・育児相談

3歳児健康診査
歯科健康診査・フッ化物塗布

歯みがき教室
（対象：保育園・幼稚園・
こども園の小学4年生）

小牧市中学生ピロリ菌検査
（対象：中学2年生）

母子保健推進協議会
・生と性のカリキュラム
・発達障がいを持つ子どもとその親の支援のあり方部会

すくすく広場

運動発達相談

臨床心理士による相談

なかよし教室

おひさまサロン

2 親子健康手帳（母子健康手帳）交付

(1) 目 的

- ア 親子健康手帳（母子健康手帳）交付の機会をとらえ、父親母親との関係を築き、産前産後の不安がある時に、一人で悩まずに問題解決に向かって行動できる親に成長できるよう支援する。
- イ 市独自の親子健康手帳（母子健康手帳）を活用することで、父親母親としての意識を高め「二人で子育て」ができるよう支援する。また、二人で作り上げた親子健康手帳（母子健康手帳）により、子どもが「愛され成長してきたこと」を実感し、「命の大切さ、尊さ」を学ぶために、活用してもらえるように働きかける。
- ウ 母乳育児の推進に向け支援する。

(2)交付場所

子育て世代包括支援センター

(3)交付方法

アンケートを記入してもらい、保健師・助産師による面接・相談を実施する。

(4)発行数

親子健康手帳（母子健康手帳）発行数（多胎児、再交付含む） 987人

	妊娠 届出数	妊娠週数					年齢		就 業 者 数	喫 煙 者 数	飲 酒 者 数
		11週 以内	12～ 19週	20～ 27週	28週 以上	不詳	20歳 未満	40歳 以上			
実数 (人)	915	864	34	12	5	0	8	42	684	13	3
率 (%)	100.0	94.5	3.7	1.3	0.5	0	0.9	4.6	74.8	1.4	0.3

(5)外国語母子健康手帳総発行数 [うち（ ）内は再発行分] (人)

ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	英 語	中 国 語	ハングル語	インドネシア語	タ イ 語	ネパール語	ベトナム語	計
18 (3)	12 (7)	6 (0)	35 (8)	2 (0)	2 (2)	3 (2)	1 (1)	2 (0)	105 (16)	186 (39)

(6)親子健康手帳（母子健康手帳）交付時アンケート結果（アンケート回答 992 人）
(人)

第一子	490	今まで赤ちゃんを抱っこした経験あり	442	育児の相談者なし	2
				育児の協力者なし	0
				育児の相談・協力者両方なし	0
				育児の相談・協力者両方あり	440
		今まで赤ちゃんを抱っこした経験なし	48	育児の相談者なし	0
				育児の協力者なし	0
				育児の相談・協力者両方なし	0
				育児の相談・協力者両方あり	48
		未 記 入	0		
第二子以降	502			育児の相談者なし	1
				育児の協力者なし	0
				育児の相談・協力者両方なし	3
				育児の相談・協力者両方あり	498
				未 記 入	0

3 妊婦・産婦・乳児個別健康診査

(1) 目 的

妊婦・産婦・乳児の健康保持・増進及び異常の早期発見・早期治療を図ることを目的とする。

(2) 妊婦健康診査実施延人数、妊婦健康診査結果

[医療機関委託分、() 内は県外医療機関・助産所での受診分] (人)

	受診票交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	918	939	(10)	849	(10)	90	(0)
第2回	933	940	(16)	899	(15)	41	(1)
第3回	937	896	(16)	857	(16)	39	(0)
第4回	941	901	(8)	865	(8)	36	(0)
第5回	957	857	(17)	801	(17)	56	(0)
第6回	963	881	(13)	827	(12)	54	(1)
第7回	971	846	(15)	780	(14)	66	(1)
第8回	973	880	(10)	530	(10)	350	(0)
第9回	982	773	(38)	725	(37)	48	(1)
第10回	986	773	(52)	691	(50)	82	(2)
第11回	988	670	(50)	625	(49)	45	(1)
第12回	991	730	(52)	439	(49)	291	(3)
第13回	992	502	(40)	473	(40)	29	(0)
第14回	992	317	(23)	303	(23)	14	(0)
第15回	18	2	(0)	1	(0)	1	(0)
第16回	18	1	(0)	0	(0)	1	(0)
第17回	18	1	(0)	0	(0)	1	(0)
第18回	18	1	(0)	0	(0)	1	(0)
第19回	18	0	(0)	0	(0)	0	(0)
子宮がん検診	920	916	(6)	884	(6)	32	(0)
計	14,534	11,826	(366)	10,549	(356)	1,277	(10)

※ R3.4～ 多胎妊婦に対して、妊婦健康検査受診票 5 回分追加交付 (第15～19回)

(3) 産婦健康診査実施延人数、産婦健康診査結果

〔医療機関委託分、（ ）内は県外医療機関での受診分〕 (人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	999	843	(58)	730	(56)	113	(2)
第2回	999	774	(41)	699	(40)	75	(1)
計	1,998	1,617	(99)	1,429	(96)	188	(3)

(再掲) 産婦健康診査エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) 結果 (人)

	① 合計9点 以上		② 自殺念慮・ 自殺企図 1点以上		① かつ②		実施なし	
第1回	48	(2)	6	(4)	21	(2)	14	(2)
第2回	23	(1)	6	(1)	17	(2)	10	(1)
計	71	(3)	12	(5)	38	(4)	24	(3)

(4) 新生児聴覚検査実施延人数、新生児聴覚検査結果

〔医療機関委託分、（ ）内は県外医療機関での受診分〕 (人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
新生児聴覚検査	1,015	803	(58)	795	(57)	8	(1)

(5) 乳児健康診査実施延人数、乳児健康診査結果

〔医療機関委託分、（ ）内は県外医療機関での受診分〕 (人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	1,021	839	(43)	784	(40)	55	(3)
第2回	1,091	654	(2)	606	(2)	48	(0)
計	2,112	1,493	(45)	1,390	(42)	103	(3)

4 健康診査事業

(1) 4 か月児健康診査

ア 目 的

育児不安を解消し、今後保健センターが親の相談機関としての位置づけを確立していく。

また、全身の健康状態、発育、発達、栄養、保育環境等の確認により、疾病や障がいの早期発見、適切な早期治療、療育を受けることができるように支援していく。

イ 対 象

市内在住の4か月児

ウ 実施回数

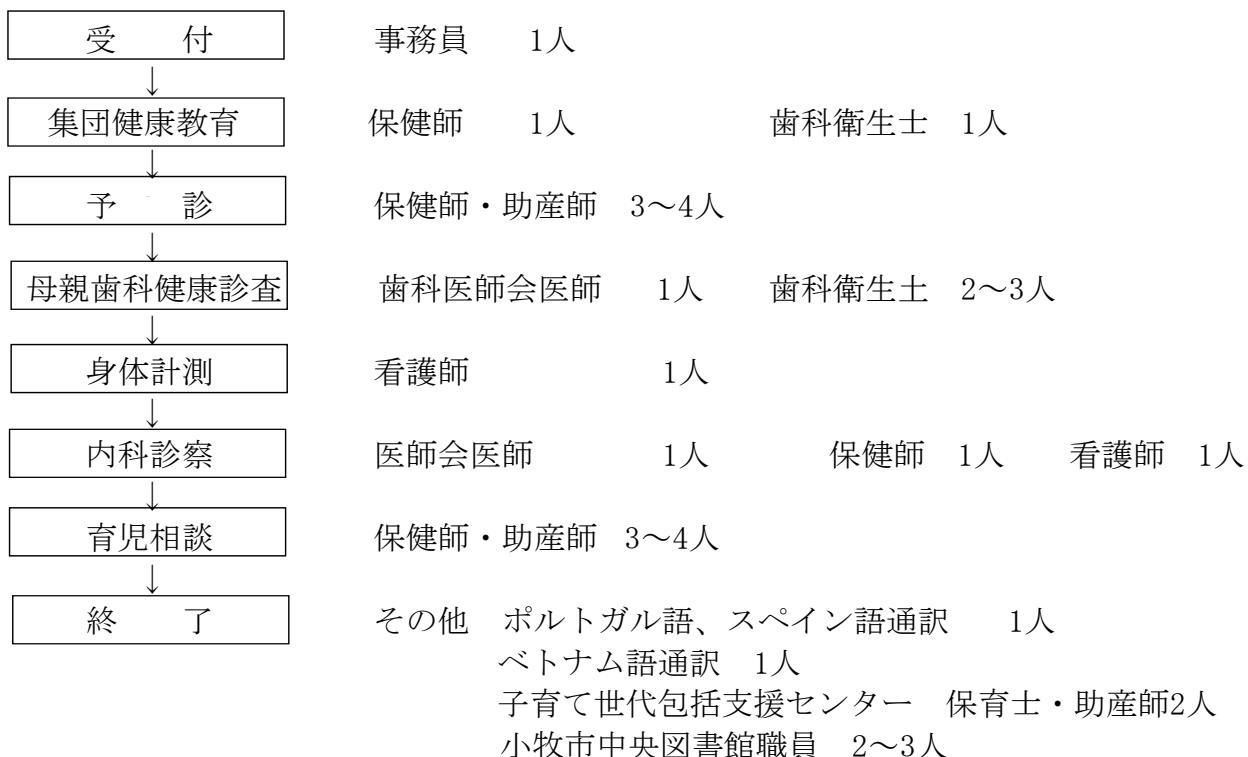
44回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、身体計測、集団健康教育、育児相談、母親歯科健康診査



カ 医科診察受診状況及び結果

(人)

管理区分		性別	男	女	計
対象者数			471	449	920
受診者数			452	429	881
問題なし	D		206	177	383
疾病分類	要指導	C	107	100	207
	要観察	B	54	56	110
	要精検 要医療	要精検(A 1)	87	113	200
		要医療(A 2)	0	0	0
		要継続医療(A 3)	0	0	0
	計 (実人数)		248 (187)	269 (202)	517 (389)
保育・家庭環境	要指導	C	46	51	97
	要観察	B	54	68	122
	要措置	A	0	0	0
	計 (実人数)		100 (95)	119 (109)	219 (204)

※ 対象者は、問診票抽出時の人数に加えて、問診票抽出後の転入者30名と令和5年度健診対象者で令和6年度健診受診者14名を計上

※ 疾病分類及び保育・家庭環境については、件数であり、重複あり

キ 栄養について

(%)

年度	母 乳		混 合		人 工	
	1 か月	4 か月	1 か月	4 か月	1 か月	4 か月
R2	45.2	51.3	47.8	29.1	7.1	19.6
R3	38.7	45.1	52.2	31.3	8.9	23.6
R4	35.1	41.5	55.3	30.8	9.6	27.7
R5	31.8	34.3	57.5	31.8	10.5	31.8
R6	30.0	35.0	57.5	31.7	12.5	33.3

ク 一般診察健康診査疾病・保育・家庭環境分類別結果

(件)

疾 病 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 栄養・発育	体重増加不良	6	11	2	4	17	15	0	0	0	0	25	30	55
	肥満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低身長	3	4	0	0	9	5	0	0	0	0	12	9	21
2 精神発達障害 ・機能障害	精神発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	言語発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 神経・運動機能障害	頭囲・大泉門異常等	2	5	1	0	2	5	0	0	0	0	5	10	15
	運動発達異常・感覚器異常	1	1	2	0	19	18	0	0	0	0	22	19	41
	筋緊張異常	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	3
	けいれん	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	5
4 皮膚疾患	湿疹・アトピー性皮膚炎	28	26	1	3	0	1	0	0	0	0	29	30	59
	その他	13	9	1	1	1	1	0	0	0	0	15	11	26
5 骨・関節疾患	開排制限	2	1	4	18	26	60	0	0	0	0	32	79	111
	その他	3	1	0	0	3	1	0	0	0	0	6	2	8
6 循環器疾患		5	9	0	0	3	1	0	0	0	0	8	10	18
7 呼吸器疾患		2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	5
8 消化器疾患	ヘルニア	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	9
	その他	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
9 泌尿器・腎疾患		12	2	0	0	4	0	0	0	0	0	16	2	18
10 眼科疾患	視力障害・斜視(疑)	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	3	3	6
	その他	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	3
	検査未実施	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11 耳鼻咽喉科疾患	聴覚障害(疑)	3	3	27	24	1	1	0	0	0	0	31	28	59
	その他	4	2	5	2	0	0	0	0	0	0	9	4	13
	検査未実施	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	3	3	6
12 その他	染色体異常	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	先天性代謝異常	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	13	9	3	1	0	0	0	0	0	0	16	10	26
合 計		107	100	54	56	87	113	0	0	0	0	248	269	517

(件)

保育・家庭環境分類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 家庭環境	養育姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児能力	14	14	43	44	0	0	0	0	0	0	57	58	115
	家庭環境	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	環境	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
2 生活習慣	睡眠	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	排泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	あそび・友達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 食習慣	哺乳	20	27	7	18	0	0	0	0	0	0	27	45	72
	離乳	2	5	0	4	0	0	0	0	0	0	2	9	11
	偏食・少食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食事・おやつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 その他	習癖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情緒・行動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	8	3	2	0	0	0	0	0	0	0	10	3	13
合 計		46	51	54	68	0	0	0	0	0	0	100	119	219

(2) 1歳6か月児健康診査

ア 目 的

親と子のかかわりが一番大切な時期をとらえ、今後も親子が心身ともに健康な生活を送ることができるよう支援する。

また、軽度の障がいを発見しやすいこの時期に、見逃さずに適切な支援をしていく。

イ 対 象

市内在住の1歳6か月児

ウ 実施回数

36回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、歯科診察、身体計測、集団健康教育、成長の確認、育児相談、歯科相談、フッ化物塗布、歯みがき指導

受 付	事務員	1人		
↓				
集団健康教育	保健師	1人	歯科衛生士	1人
↓				
歯科診察	歯科医師会医師	1人	歯科衛生士	1人
↓				
身体計測	看護師	2人		
↓				
内科診察	医師会医師	1人	保健師	1人
			看護師	1人
↓				
フッ化物塗布 歯みがき指導	歯科衛生士	4人		
↓				
育児相談 栄養相談	保健師	5～6人		
	管理栄養士	1～2人		
↓				
終 了	その他	ポルトガル語、スペイン語通訳	1人	
		ベトナム語通訳	1人	

カ 医科診察受診状況及び結果

(人)

管理区分		性別	男	女	計
対象者数			526	465	991
受診者数			509	450	959
問題なし		D	105	144	249
疾病分類	要指導	C	110	89	199
	要観察	B	338	236	574
	要精検 要医療	要精検(A 1)	41	45	86
		要医療(A 2)	0	0	0
		要継続医療(A 3)	0	0	0
	計 (実人数)		489 (382)	370 (286)	859 (668)
家庭環境 ・ 保育	要指導	C	37	32	69
	要観察	B	37	37	74
	要措置	A	0	0	0
	計 (実人数)		74 (70)	69 (66)	143 (136)

※ 対象者は、問診票抽出時の人数に加えて、問診票抽出後の転入者24名と令和5年度健診対象者で令和6年度健診受診者20名を計上

※ 疾病分類及び保育・家庭環境については、件数であり、重複あり

キ 一般診察健康診査疾病・保育・家庭環境分類別結果

(件)

疾 病 分 類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 栄養・発育	体重増加不良	13	10	1	0	7	9	0	0	0	0	21	19	40
	肥満	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	低身長	13	14	1	0	5	16	0	0	0	0	19	30	49
2 精神発達障害 ・機能障害	精神発達	23	21	278	198	0	0	0	0	0	0	301	219	520
	言語発達	7	3	34	26	0	0	0	0	0	0	41	29	70
	その他	4	3	5	3	0	1	0	0	0	0	9	7	16
3 神経・運動機能障害	頭囲・大泉門異常等	8	4	0	0	6	8	0	0	0	0	14	12	26
	運動発達異常・感覚器異常	4	5	15	7	14	7	0	0	0	0	33	19	52
	筋緊張異常	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	けいれん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 皮膚疾患	湿疹・アトピー性皮膚炎	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	12
	その他	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5
5 骨・関節疾患	開排制限	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他	1	3	1	2	0	1	0	0	0	0	2	6	8
6 循環器疾患		2	4	0	0	1	0	0	0	0	0	3	4	7
7 呼吸器疾患		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
8 消化器疾患	ヘルニア	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3
	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
9 泌尿器・腎疾患		10	1	1	0	6	0	0	0	0	0	17	1	18
10 眼科疾患	視力障害・斜視(疑)	2	3	0	0	0	2	0	0	0	0	2	5	7
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	検査未実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 耳鼻咽喉科疾患	聴覚障害(疑)	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
	その他	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	検査未実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 その他	染色体異常	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	先天性代謝異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	8
合 計		110	89	338	236	41	45	0	0	0	0	489	370	859

(件)

保育・家庭環境分類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 家庭環境	養育姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児能力	8	7	30	29	0	0	0	0	0	0	38	36	74
	家庭環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生活習慣	睡眠	3	1	1	4	0	0	0	0	0	0	4	5	9
	排泄	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	あそび・友達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
3 食習慣	哺乳	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	離乳	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	7
	偏食・少食	11	8	2	3	0	0	0	0	0	0	13	11	24
	食事・おやつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 その他	習癖	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	情緒・行動	6	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6	6	12
	その他	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	9
合 計		37	32	37	37	0	0	0	0	0	0	74	69	143

(3) 3歳児健康診査

ア 目 的

発達が著しく心も体も転換期を迎えて、人間としての基本が培われる時期をとらえ、成長を親と確認し、心身ともに健康な生活を送ることができるよう支援する。

また、疾病を早期に発見し、適切な治療をうけることができるよう支援する。

イ 対 象

市内在住の3歳児

ウ 実施回数

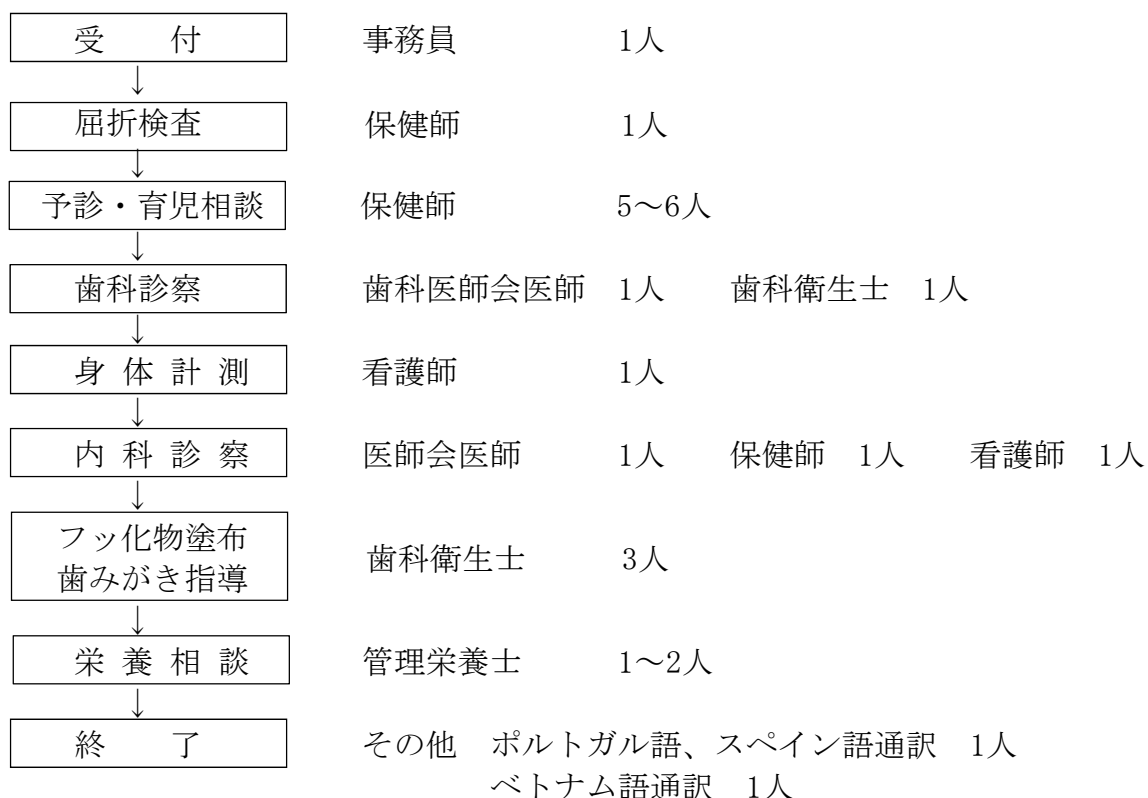
36回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、歯科診察、身体計測、成長の確認、育児相談、栄養相談、歯科相談、フッ化物塗布、屈折検査（スポットビジョンスクリーナー）



カ 医科診察受診状況及び結果

(件)

管理区分		性別	男	女	計
対象者数			521	539	1,060
受診者数			512	521	1,033
問題なし		D	80	131	211
疾病分類	要指導	C	289	292	581
	要観察	B	265	167	432
	要精検 要医療	要精検(A 1)	257	225	482
		要医療(A 2)	0	0	0
		要継続医療(A 3)	0	0	0
	計 (実人数)		811 (409)	684 (359)	1,495 (768)
家庭環境 ・ 保育	要指導	C	49	79	128
	要観察	B	24	18	42
	要措置	A	0	0	0
	計 (実人数)		73 (72)	97 (90)	170 (162)

※ 対象者は、問診票抽出時の人数に加えて、問診票抽出後の転入者32名と令和5年度健診対象者で令和6年度健診受診者34名を計上

※ 疾病分類及び保育・家庭環境については、件数であり、重複あり

キ 一般診察健康診査疾病・保育・家庭環境分類別結果

(件)

疾病分類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 栄養・発育	体重増加不良	14	9	1	0	22	17	0	0	0	0	37	26	63
	肥満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低身長	21	27	0	0	23	34	0	0	0	0	44	61	105
2 精神発達障害 ・機能障害	精神発達	28	29	236	149	2	1	0	0	0	0	266	179	445
	言語発達	4	4	13	6	0	0	0	0	0	0	17	10	27
	その他	5	1	6	5	0	0	0	0	0	0	11	6	17
3 神経・運動機能障害	頭囲・大泉門異常等	5	2	1	0	5	4	0	0	0	0	11	6	17
	運動発達異常・感覚器異常	2	0	4	6	0	0	0	0	0	0	6	6	12
	筋緊張異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	けいれん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 皮膚疾患	湿疹・アトピー性皮膚炎	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	10
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
5 骨・関節疾患	開排制限	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	その他	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2
6 循環器疾患		7	5	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	14
7 呼吸器疾患		2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
8 消化器疾患	ヘルニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 泌尿器・腎疾患		15	19	0	0	5	0	0	0	0	0	20	19	39
10 眼科疾患	視力障害・斜視(疑)	3	7	1	0	123	117	0	0	0	0	127	124	251
	その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	検査未実施	127	129	1	1	3	2	0	0	0	0	131	132	263
11 耳鼻咽喉科疾患	聴覚障害(疑)	3	0	1	0	70	44	0	0	0	0	74	44	118
	その他	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	検査未実施	41	51	0	0	3	3	0	0	0	0	44	54	98
12 その他	染色体異常	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	先天性代謝異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
合 計		289	292	265	167	257	225	0	0	0	0	811	684	1,495

(件)

保育・家庭環境分類		要指導 C		要観察 B		要精検 A 1		要医療 A 2		要継続医療 A 3		合 計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1 家庭環境	養育姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児能力	12	17	18	14	0	0	0	0	0	0	30	31	61
	家庭環境	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生活習慣	睡眠	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	排泄	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	あそび・友達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 食習慣	哺乳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	離乳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	偏食・少食	7	13	0	0	0	0	0	0	0	0	7	13	20
	食事・おやつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 その他	習癖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情緒・行動	23	37	3	3	0	0	0	0	0	0	26	40	66
	その他	6	7	0	1	0	0	0	0	0	0	6	8	14
合 計		49	79	24	18	0	0	0	0	0	0	73	97	170

(4) 乳幼児健診未受診者支援事業

ア 経緯

近年全国的に、乳幼児健診や小学校・中学校入学をきっかけとして児の所在を把握し、担当課だけではなく横断的に状況を把握したうえで、必要に応じてその後の支援につながる重要性が謳われている。

保健センターでも、H24年10月から、家庭における育児力を高めるために必要な支援のひとつとして、乳幼児健診未受診者の支援体制を整備し、健診受診率の向上及び未受診者の支援に力を注いでいる。

イ 事業目的

乳幼児健診未受診者の保護者に対して受診勧奨を行い、未把握者を無くすとともに健診受診率の向上に努める。その過程において、子どもの成長発達を確認し支援するとともに、保護者との関わりを深め信頼関係を築くことで、保護者が育児をする上で抱えている不安や問題の有無を把握して支援し、親子の健全な生活を保障していく。

ウ 未受診者抽出時期及び抽出対象者、支援対象者

(ア) 4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診未受診者

対象となる健診日から1回後の健診日までに受診しない者

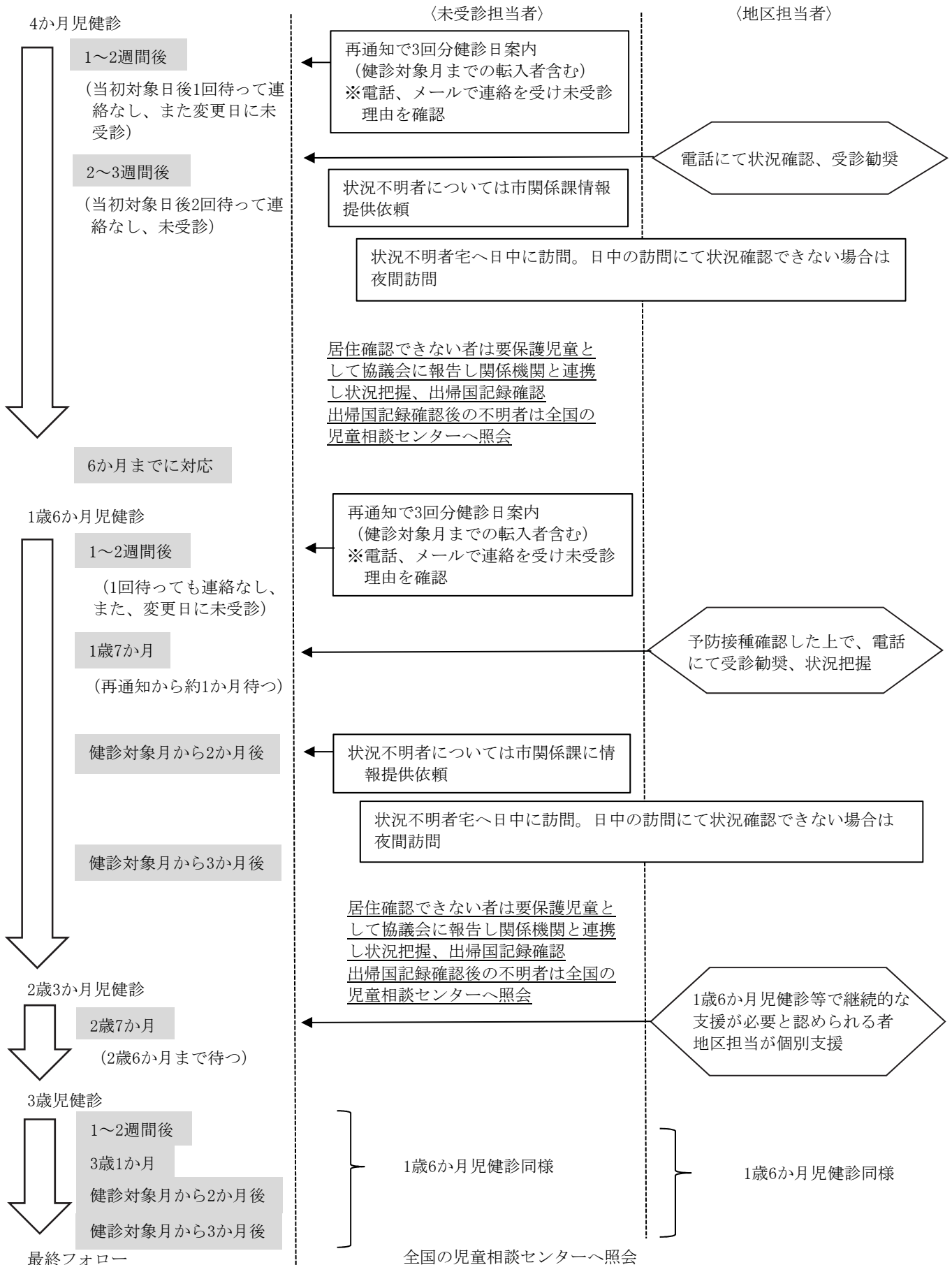
※受診日変更者、他機関受診、転出、海外在住等何らかの理由があって保護者から連絡がきている者についても、その時点では抽出対象とする。しかし、受診日変更者の中で予定通り受診した者は、その後の支援対象者から除く。

※転入者については、「健診対象者名簿」出力後から健診対象月の末日までを未受診者としての抽出対象とする。

(イ) 2歳3か月児歯科健診未受診者

2歳6か月の健診日までに保護者からの連絡が無い未受診者の中で、1歳6か月児健診等で継続支援が必要と認められる者

エ 乳幼児健診未受診者支援体制



オ 乳幼児健診未受診者支援結果

(ア) 未受診者支援における健診対象者

※健診対象者名簿出力後から健診対象月までに転入した者、及びその後の転入者で転入前の市町村において健診を受けていない者、住民基本台帳にて職権消除されたものを含む

a 令和5年度健診対象者

＜4か月＞ 令和4年12月1日生まれ～令和5年11月20日生まれ

＜1歳6か月＞ 令和3年10月1日生まれ～令和4年9月30日生まれ

＜3歳＞ 令和2年4月1日生まれ～令和3年3月31日生まれ

b 令和6年度健診対象者は、令和7年度支援継続中

(イ) 未受診者支援実施時期

令和5年度健診対象日後1回健診を過ぎた日から未受診者全ての受診確認または状況把握した時期

(ウ) 結果 ※令和5年度受診対象者のみ

(人)

	4か月	1歳6か月	3歳	詳細説明
未受診者支援における健診対象者	924	992	1,028	受診月までの転入者、職権消除者、令和4年度未受診者を含む
未受診支援対象者	85	102	133	保護者から受診日変更連絡あり、変更日に受診した者は除く
再通知、電話、訪問により受診につながった者	41	50	59	
未受診者	44 (4.8%)	52 (5.2%)	74 (7.2%)	

(エ) 未受診者の把握状況内訳 ※令和5年度受診対象者のみ

(人)

		4 か月児健診			1 歳 6 か月児健診			3 歳児健診		
		最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲) 本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲) 本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲) 本人または保護者が外国籍者
当市健診未受診者数		44	—	17	52	—	22	74	—	25
他市にて受診		6	13.6%	0	1	3.8%	0	4	5.4%	0
医療機関にて受診		1	2.3%	0	0	—	0	0	—	0
保健師による確認		6	13.6%	4	4	7.7%	1	10	13.5%	5
※1 複 ※2 他 ※3 満 たす 者	保育園等在園者	0		0	0		0	1		0
	幼稚園等在園者							0		0
情報提供により保育園在園者と確認できたため見守りを依頼		0	—	0	2	3.8%	0	3	4.1%	0
情報提供により幼稚園在園者と確認できたため見守りを依頼								1	1.4%	0
居住していない者		15	38.6%	2	24	46.2%	9	21	28.4%	11
※2 居 住 し て い な い	住民票おいたままで、海外に居住または海外で受診	1		0	0		0	0		0
	転出者及び職権消除者（市が出国を確認した者のみ）	14		1	16		2	16		6
	出帰国記録にて出国確認	0		0	8		7	5		5
その他		2		0	1		0	1		0
※3 他 者 の 内 訳	入院中	2		0	1		0	0		0
	他機関確認	0		0	0		0	1		0
未把握者数		14	31.8%	3	20	38.5%	6	34	45.9%	9

※1,2,3：再掲

(人)

未把握者内訳	4 か月児健診			1 歳 6 か月児健診			3 歳児健診		
	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲) 本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲) 本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲) 本人または保護者が外国籍者
当市受診	12	85.7%	2	18	90.0%	5	31	91.2%	8
医療機関にて受診	1	7.1%	0	0	—	0	1	2.9%	0
保健師による確認	0	—	0	0	—	0	1	2.9%	0
転出・消除（市が出国確認済のみ）	0	—	0	2	10.0%	1	0	—	0
出帰国記録にて出国確認	1	7.1%	1	0	—	0	1	2.9%	1

5 健康教育事業

(1) 離乳食教室（初期：ごっくん教室、後期：かみかみ教室）

ア 目 的

- 保護者に対し、離乳食の意義や進め方について、正しい知識を伝え、家族を含めた健康づくりを考える意識を発展させる。さらに、参加者同士が交流することで、育児に関する情報交換や友達作りができる機会を提供する。
- 乳歯が萌出しはじめ、食事の内容が変化する時期にある子とその保護者を対象に、口腔内に関心が高まる時期を捉え、むし歯予防に関する知識の普及を図り、歯科保健に対する知識の改善及び行動変容を促すことを目的とする。

イ 対 象

ごっくん教室(初期)：4か月児以降の保護者、赤ちゃんの出席可
かみかみ教室(後期)：9か月児以降の親子

ウ 回 数

ごっくん教室、かみかみ教室ともに年12回

エ 周知方法

- (ア) 親子健康手帳(母子健康手帳)交付時に案内文配布
- (イ) 市ホームページによる案内
- (ウ) 4か月児健診時に案内文配布

オ 実施内容

- (ア) 離乳食初期・後期の講話
- (イ) 集団歯科指導（かみかみ教室のみ）
- (ウ) 個別相談、質疑応答

カ スタッフ

管理栄養士、歯科衛生士

キ 実施状況

(組)

ごっくん教室	第1子	第2子以降	計	かみかみ教室	第1子	第2子以降	計
4月10日	8	1	9	4月19日	2	1	3
5月8日	12	0	12	5月24日	1	6	7
6月5日	12	1	13	6月21日	0	5	5
7月3日	7	1	8	7月26日	3	2	5
8月7日	9	2	11	8月30日	3	0	3
9月4日	8	3	11	9月20日	3	0	3
10月9日	8	2	10	10月25日	7	2	9
11月6日	7	1	8	11月22日	1	2	3
12月4日	10	2	12	12月20日	7	0	7
1月15日	6	2	8	1月31日	6	1	7
2月5日	7	0	7	2月21日	1	0	1
3月5日	8	1	9	3月21日	8	1	9
合 計	102	16	118	合 計	42	20	62

(2) 健康教育

ア 「生と性のカリキュラム」関係

＜高校＞「望まない妊娠と性感染症について」

対 象：高校生

目 的：望まない妊娠や性感染症についての知識を持つとともに、自分や相手の生き方を大切にする気持ちををはぐくむ。

	実施日	実施学校名	生徒数（人）
1	6月5日	誉	145
2	6月17日	小牧（全日）	261
3	7月19日	小牧（定時）	36
4	11月11日	小牧南	203
計			645

＜中学校＞「すてきな大人になろう～性感染症について～」

対 象：中学3年生

目 的：性感染症についての知識を持つとともに、男女交際のあり方やお互い相手に思いやりを持つことの大切さを気づかせる。

	実施日	実施学校名	生徒数（人）
1	6月19日	応時	226
2	6月21日	光ヶ丘	82
3	6月25日	桃陵	112
4	7月5日	岩崎	125
5	7月8日	篠岡	49
6	7月18日	小牧	201
7	9月9日	北里	122
8	12月11日	小牧西	81
計			998

<小学校>「おへそのひみつ」

対 象：小学2年生とその保護者

目 的：いのちの大切さを知り、かけがえのない自分を大切にできる。自己肯定感を育むことができるようにする。

	実施日	実施学校名	児童数/保護者（人）
1	6月22日	本庄	86/85
2	6月22日	米野	92/92
3	9月19日	小木	51/51
4	9月21日	篠岡	30/0
5	11月13日	一色	67/0
6	11月16日	小牧原	97/0
7	11月18日	小牧南	108/108
8	11月19日	北里	67/0
9	11月27日	味岡	126/0
10	12月3日	光ヶ丘	43/6
11	12月11日	小牧	112/0
12	1月15日	三ツ渚	32/1
13	1月17日	大城	35/0
14	1月23日	桃ヶ丘	47/1
15	1月30日	村中	49/49
16	1月31日	陶	21/10
計			1,063/403

<幼稚園・保育園>「わたしのだいじなからだ」

対 象：幼稚園・保育園年長児とその保護者

目 的：自分や相手を大切とすることができる。

	実施日	実施園名	園児/保護者（人）
1	6月3日	あおぞら幼稚園	15/0
2	6月10日	太陽幼稚園	54/2
3	7月9日	美鳥第二幼稚園	74/32
4	7月18日	美鳥幼稚園	71/30
5	1月21日	大山保育園	32/0
6	2月5日	本庄保育園	31/6
7	2月21日	第一幼稚園	29/10
計			306/80

イ 職業人体験学習関係

	実施日	実施中学校名	生徒数（人）
1	5月28日～5月30日	北里	2
2	9月11日～13日	味岡	2
3	11月6日～8日	小牧西	2
4	11月26日～28日	桃陵	2
5	11月28日～11月29日	応時	2
6	12月10日～12月12日	岩崎	2
計			12

ウ 管理栄養士対応健康教育（母子保健関係）

	実施日	内容	対象	人数（人）
1	8月6日	おやこの食育教室	市民	12
2	9月12日	乳幼児期の食事について	児童館指導員	11
3	11月13日	今の離乳食と保護者への アプローチ	小規模施設長	20
4	1月20日	大人といっしょにたのしく食べ よう～幼児食教室	市民	9
5	2月26、27日	離乳食調理実習	小牧市立保育園 調理員	9

(3) 生と性に関するカリキュラムの推進への取り組み

ア 自己肯定感の醸成

(ア) 4か月児健康診査の健康教育

子どもの心の成長の基本となる親子の愛着形成及び自己肯定感について伝える。

(イ) 乳幼児健康診査におけるサポートプランの配布

4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査にて、保健師より親子の自己肯定感醸成のため、育児の見通しや保護者へのメッセージを伝え、サポートプランを配布。

(ウ) 親子で学ぶ性教育の実施

中央図書館イベントスペースにて性教育情報について展示。

（令和6年7月30日～8月5日）

あわせて、展示期間中に胎児人形抱っこ体験会を開催。（8月3日）参加者 65名

イ 「安心相談カード」の配布

- ・こども政策課と協働して、相談機関に関する情報をカードで作成し、市内中学生と市内高校1年生に配布
- ・児童館・児童センター、中学校の保健室にポスターの掲示

(4) 小牧市協働提案事業「摂食障害予防啓発協働事業」

ア 目 的

若年層を対象に摂食障害についての正しい知識を身に付け、病気の予防に努める。

イ 対 象

市民

ウ 協働事業者

市民活動団体 摂食障害よりみち

エ 内 容

周知啓発用リーフレットの作成・配布（市内中学1年生、高校1年生）

周知啓発用ポスター作成・掲示（市内小中高校の保健室や行政機関）

予防啓発チラシの作成・配布（市内小学6年生）

教育動画作成、配信、教室開催

	実施日	参加人数（人）
教職員対象夏期研修	7月31日	20
経験者の話を聞く会	2月9日	オンライン含む 22
ウェルネス講座	12月7日	9

6 相談事業

(1) 母乳相談

ア 目的

母親が母乳に関して持っている心配や疑問を気軽に相談でき、個々に応じた授乳方法を確立できるよう援助する。

母乳育児が親子の絆を深め、最後までよりよい状態で終了できるように、卒乳に向け援助する。

イ 対象

- (ア) 母乳育児に関して心配や疑問を持つ妊婦
- (イ) 母乳育児確立のための支援が必要な母子
- (ウ) 授乳をはじめとした育児に心配や疑問を持つ母親

ウ 実施日数

60日/年

エ 周知方法

- (ア) 広報による案内
- (イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に紹介
- (ウ) 市内産婦人科・小児科にポスターを設置
- (エ) 相談・訪問や4か月児健診において母乳育児に関して、心配や疑問を持っている母親に対して案内

オ 実施内容

- (ア) 妊娠中からの母乳育児の取り組みと乳房の手当ての指導
- (イ) 母乳に関するトラブル等母乳育児に関する相談
- (ウ) 授乳をはじめとした育児全般に関する相談
- (エ) 卒乳に関する相談

カ スタッフ

助産師

キ 実績

(人)

相談実人数	相談延べ人数
113	157

ク 相談内容内訳

(件)

相談内容 \ 月齢		妊婦	1か月未満	1か月～2か月未満	2か月～3か月未満	3か月～4か月未満	4か月～5か月未満	5か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～1歳未満	1歳～1歳6か月未満	1歳6か月～2歳未満	2歳以上	内容別延べ件数合計
授乳について	授乳方法	0	0	11	38	38	12	18	21	10	2	0	0	150
	母乳量・ミルク量	0	0	11	38	38	12	18	19	7	0	0	0	143
	乳房トラブル	0	0	4	27	26	7	14	12	4	0	0	0	94
	乳房ケア	0	0	6	14	15	5	5	5	0	2	0	0	52
	断乳・卒乳	0	0	0	1	2	3	3	6	10	1	0	0	26
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児について	体重増加	0	0	11	38	38	13	18	21	12	4	0	0	155
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	育児	0	0	11	38	39	13	18	21	12	4	0	0	156
	離乳食	0	0	2	15	26	13	18	21	12	4	0	0	111
	母自身 (精神面含む)	0	0	2	7	13	5	7	8	5	0	0	0	47
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月齢別相談数		0	0	58	216	235	83	119	134	72	17	0	0	934

(2) 市内児童館巡回育児相談、妊産婦健康相談

ア 目 的

市内児童館を巡回し、子どもの発育・発達に関する相談や保護者の育児に関する相談に対して個別に支援するとともに、相談者同士が交流の場を持ちお互いに学び合える場となるよう支援する。

イ 対 象

相談を希望する者（予約制）

ウ 周知方法

(ア) 広報

(イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に案内文を配布

(ウ) 市内各児童館・産婦人科・小児科にポスターを設置

エ 実施内容

- (ア) 育児相談：育児相談、身体計測（各自自由計測）
- (イ) 妊産婦健康相談：健康相談、身体計測、血圧測定、尿検査

オ スタッフ

保健師、助産師

カ 実 績 (人)

	年回数	乳児	幼児	妊婦	産婦	母親	計
小牧児童館	4	9	4	0	0	0	13
小牧南児童館	4	4	11	0	0	0	15
味岡児童館	4	6	6	0	0	0	12
篠岡児童館	4	12	10	0	0	0	22
大城児童館	4	8	5	0	0	0	13
北里児童館	4	7	5	0	0	1	13
西部児童館	4	3	1	0	0	0	4
計	28	49	42	0	0	1	92

キ 相談内容内訳

(件)

		身体計測(人)	相談(人)	相談内容(再掲・重複あり)											延べ利用 件数	
				発育	発達	栄養	母乳	排泄	育児	生活リズム	病気	歯科	情報提供	その他		
小 牧 児童館	乳児	9	9	10	2	5	6	1	3	2	1	2	1	2	35	53
	幼児	8	4	8	1	4	0	0	3	0	0	0	0	2	18	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小牧南 児童館	乳児	5	4	4	2	5	3	1	2	0	1	1	0	0	19	59
	幼児	22	11	18	4	5	6	0	3	0	1	1	1	1	40	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
味 岡 児童館	乳児	6	6	6	1	2	5	1	1	0	0	1	1	0	18	38
	幼児	9	6	7	5	5	0	1	0	1	0	1	0	0	20	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
篠 岡 児童館	乳児	13	12	11	8	10	9	0	0	0	1	4	2	1	46	80
	幼児	17	10	14	4	5	2	0	3	1	1	2	1	1	34	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大 城 児童館	乳児	9	8	8	2	6	4	1	1	1	2	1	2	0	28	42
	幼児	11	5	9	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	14	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北 里 児童館	乳児	7	7	6	5	6	4	1	2	1	0	1	0	1	27	44
	幼児	7	5	4	3	1	1	0	0	1	0	2	2	1	15	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
西 部 児童館	乳児	6	3	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	9	11
	幼児	6	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	乳児	55	49	49	21	36	33	5	9	4	5	10	6	4	182	327
	幼児	80	42	61	17	22	9	1	11	3	2	8	4	5	143	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	

(3) 2歳3か月児歯科健康診査時育児相談

ア 実施回数 24回

イ 相談者数 (人)

	相談者数
男	450
女	413
計	863

ウ 分類別相談内容 (件)

	C：当日指導		B：要経過観察		計		
	男	女	男	女	男	女	合計
発 育	0	0	0	0	0	0	0
精神発達	30	36	269	162	299	198	497
言語発達	0	0	22	14	22	14	36
運動発達	0	0	1	3	1	3	4
疾 病	1	2	3	0	4	2	6
育児能力	3	2	18	16	21	18	39
生活習慣	3	2	1	2	4	4	8
哺乳・卒乳	2	1	0	0	2	1	3
食 習 慣	3	5	1	2	4	7	11
情 緒	12	18	1	6	13	24	37
予防接種	0	1	1	2	1	3	4

(4) 栄養相談

(件)

	4か月児 健診	1歳 6か月児 健診	2歳 3か月児 歯科健診	3歳児 健診	定例外	合計
離乳食	7	0	0	0	20	27
少食	0	1	3	4	1	9
過食	0	0	0	0	0	0
食物アレルギー	0	2	0	0	0	2
偏食	0	1	2	10	4	17
遊び食べ・ムラ	0	0	0	0	0	0
間食	0	0	0	0	0	0
下痢	0	0	0	0	0	0
便秘	0	0	0	0	0	0
肥満	0	0	0	0	0	0
やせ	0	0	1	0	0	1
母乳・ミルク	0	3	0	1	1	5
水分	1	0	0	0	0	1
生活リズム	0	0	0	0	0	0
咀嚼	0	3	0	0	0	3
バランス	0	0	0	0	0	0
病態栄養	0	0	0	0	0	0
食生活	0	11	2	7	9	29
その他	0	2	0	0	0	2
合 計	8	23	8	22	35	96

(5) 母子電話相談

ア 目 的

育児相談専用電話を設置し親子の成長を支援する。

イ 電話件数

(件)

	乳児	幼児	学童	妊婦	産婦	母親	虐待	その他	計
こまねっと	2	6	1	0	0	1	0	0	10
一般電話	3	5	6	0	0	2	0	12	28
合 計	5	11	7	0	0	3	0	12	38

ウ 相談内容

(件)

		こ ま ね っ と									一 般 電 話								
		乳 児	幼 児	学 童	妊 婦	産 婦	母 親	虐 待	そ の 他	計	乳 児	幼 児	学 童	妊 婦	産 婦	母 親	虐 待	そ の 他	計
発 育 ・ 発 達	発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神発達面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	5
	運動発達面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 学	疾病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	病気・けがの 手当て	1	2	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	妊娠・出産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防接種関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科(う歯等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基 本 的 生 活 習 慣 ・ 育 児	睡眠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	排泄	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	食事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	哺乳関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	歯科 (仕上げ磨き等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情緒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児一般	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	習癖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭環境	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	友達関係	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	情報提供 (健診・病院・ サークル関係)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	10	11
計		2	6	1	0	0	1	0	0	10	3	5	6	0	0	2	0	12	28

エ 栄養電話相談（管理栄養士対応）

（件）

相談内容	電話相談 (相談者から＋栄養士から＋こまねっと＋育児相談)
離乳食	31
少食	1
過食	0
食物アレルギー	4
偏食	4
遊び食べ・ムラ	0
間食	0
下痢	1
便秘	1
肥満	0
やせ	1
母乳・ミルク	0
水分	0
生活リズム	0
咀嚼	1
バランス	0
病態栄養	3
食生活	22
その他	0
合計	69

(6) 臨床心理士による相談

ア 目的

- (ア) 児の精神発達を確認し、親に対して生活でのかかわり方を指導し、今後の児の発達を促す。
- (イ) 父母の育児状況を確認し育児相談を実施することにより、今後の児の発達を促す。

イ 対象

- (ア) 各種乳幼児健康診査において発達相談の必要があったと思われる児
- (イ) 電話相談・訪問等で発達相談の必要があったと思われる児

ウ 講師

臨床心理士 1人

エ 実施内容

発達相談

オ 実施回数

年94回（1回につき3件）

カ 相談利用者における問題点、処遇の内訳 (件)

項目	件数	処遇内容									
		当日のみ	再相談へ	保健師対応	なかよし教室へ	おひさまサロンへ	療育の場へ	次回健診へ	児童館等	医療機関へ受診	その他
言語発達	87	15	1	35	12	0	10	11	0	3	0
発音	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
どもり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体の発達	77	21	1	29	6	0	16	2	1	0	1
理解	4	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0
落ち着きがない	29	2	0	14	6	0	5	1	0	0	1
対人関係	6	1	0	3	0	0	1	1	0	0	0
コミュニケーション	4	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
人見知りが強い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かんしゃくが強い	10	5	0	4	0	0	0	1	0	0	0
こだわりが強い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情緒面	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
集団適応	4	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0
育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乱暴	4	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0
かみつき	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
きりかえ	9	5	0	3	0	0	0	1	0	0	0
計	237	52	2	96	26	0	33	21	2	3	2

延相談件数	237 件
実相談件数	226 件

(7) 運動発達相談

ア 目 的

運動発達等に遅れのある子どもへのかかわり方を親に対して指導することにより、発達を促していく。

また、受診が必要な場合にはその行動がとれる親になれるように指導する。

イ 対 象

乳幼児健診、育児相談、訪問、なかよし教室・おひさまサロン等で、運動発達に関して相談が必要と思われる子どもと親

ウ 講 師

作業療法士 1人

エ 実施内容

運動発達相談

オ 実施回数

年12回

カ 内 訳

個別面接(件)	訪問(件)	なかよし教室 おひさまサロン(回)
56 (7)	0	0

※()内は再来の掲載

キ 相談内容、処遇の内訳
(ア)0か月～10か月まで

内容	件	処遇（件）								
		当日のみ	運動発達相談継続	保健師フォロー	すくすく広場へ	なかよし教室へ	療育へ	次回健診へ	医療機関受診へ	その他
そり返りについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
首すわりについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寝返りについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お座りについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずりばい・ハイハイについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体の発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疾病に伴う発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（足底をつきたがらない、変化が嫌い など）	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

(イ) 10か月以降～1歳6か月まで

内容	件	処遇 (件)								
		当日のみ	運動発達 相談継続	保健師 フォロー	すくすく 広場へ	なかよし 教室へ	療育へ	次回 健診へ	医療機関 受診へ	その他
お座りについて	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0
ずりばい・ハイハイについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つかまり立ちについて	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	6	0	0	3	0	0	1	2	0	0
歩き方について	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
身体の使い方について	7	0	0	6	0	0	0	1	0	0
全体の発達	4	0	2	0	0	0	0	2	0	0
疾病に伴う発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌い など)	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0

(ウ) 1歳6か月以降

内容	件	処遇（件）							
		当日のみ	運動発達 相談継続	保健師 フォロー	なかよし 教室 へ	療育へ	次回 健診へ	医療機関 受診へ	その他
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歩き方について	9	5	0	4	0	0	0	0	0
身体の使い方について	12	4	1	5	0	1	0	0	1
全体の発達	2	0	0	1	0	0	1	0	0
疾病に伴う発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌い など)	7	1	0	4	0	1	1	0	0

(8) なかよし教室

ア 目 的

親子がいろいろな遊びを経験し、人とかかわりを持つ中で、親が我が子の成長・発達に気付いたり、確認したり、親子のかかわりの楽しさを共感したりすることで、親子関係の大切さを知り、豊かな生活を送ることができる。

(ア) 親が子どもの姿（個性）を客観的に見つめ捉えることができる。

(イ) 親が子どもの姿（個性）に合わせたかかわり方ができる。

(ウ) 親が自己肯定感を高めて子育てに生かすことができる。

イ 対 象

(ア)発達に関して支援が必要な子どもの親

(イ)付き合いにくさ、かかわりづらさを持つ子どもの親

(ウ)子どもとの付き合い方を学びたい親

ウ スタッフ及び助言者

スタッフ：保健師、保育士、看護師

助 言 者：あさひ学園指導員

（療育的視点）（1クールに1回助言者として参加）

発達相談：心理相談員が担当（1クールにつき1回）

エ 支援方法

アー(ア)に対して

- ① 親が子どものありのままの姿（行動）を見つめることができるように、子どもと一緒に行動することを伝える。
- ② 行動の中での子どもの表情、働きかけに対しての反応、どんな行動、どんな声、言葉が聞かれたか等、親が子どもの行動を振り返ることができるようにする。
- ③ スタッフが子どもにかかわった時の子どもの姿（反応）を親に伝える（子どもの個性を伝える）。
- ③ 親と子どもが楽しくかかわることができる様子が見られる場面やその姿を共有する。
- ⑤ 客観的意見等を聞いて、親が子どもの個性に気づけるように子どもの姿を親と共に考える。

アー(イ)に対して

- ① 子どもの行動に親が合わせていけるように、子どもと一緒に行動することを伝える。
- ② 子どもと親が楽しくかかわることができる場面の設定をする。また、親が主体であると意識できるような設定をする。
- ③ 親が子どもの表情や態度を見て子どもの気持ちを感じ取り、共感・対応ができる親になれるように子どもの様子やかかわり方を助言する。
- ④ 親がかかわりづらいと思っていることを具体化し、かかわり方のノウハウを提供し、また今後参加できる場（療育、おひさまサロン、児童館等）の情報提供をする。

アー(ウ)に対して

- ① 教室の中での子どもとの関係において、子どもの受け止め方やかかわり方等、場面を通して親の行動を認めことばで伝える。
- ② 親が主体であることを親とスタッフ間の共通認識とする。（必要時以外は手出し、口出しをしない。）
- ② 親に対して自信を持って子育てができるように、また、親自身の自己肯定感が高まるように働きかける。子育ての不安の緩和を図る。
 - I うまくいった体験・対応を繰り返す。
 - II できていることを認める。
 - III 居心地の良い教室を運営する。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、飲水、助言者による個別相談（必要に応じて）、カンファレンスでのケース検討会

カ 実施状況

42回／年（1コース6回、年7クール実施）

実施月	回数(回)	参加児(人)	延参加児(人)
4・5月	6	12	53
6・7月	6	12	58
7・8・9月	6	8	35
9・10月	6	10	46
11・12月	6	14	57
12・1・2月	6	15	72
2・3月	6	16	69
計	42	87	390

(9) おひさまサロン

ア 目的

親がなかよし教室で感じ取った体験（親子で楽しい体験、子どもの表情が変わった、どんなことが好きか等）をもとに、より具体的にその子に応じた働きかけやかかわり方を学び、毎日の生活に生かしていくことができるよう支援する場となる。

また、親には子どもに本来備わっている「育つ力」が十分発揮できるようなかかわりができていることを伝え、子育てに自信が持てるよう支援する。自己肯定感を高める。

イ 対象

なかよし教室終了後、より具体的な子どもとの付き合い方、働きかけ方（日常生活面や他児とのかかわり方等）を学びたい親

ウ スタッフ及び助言者

スタッフ：保育士、保健師

助言者：保健師（親支援やカンファレンスの必要時）

エ 支援方法

(ア) なかよし教室の様子をもとに、地区担当保健師が親と話し合い（親が具体的に知りたいことや子どもが獲得するとよい力、親が獲得する育児姿勢等）、参加目的を明確化する。

(イ) 参加目的に沿った支援をする。また、親に対して自信をもって子育てできるように親自身の自己肯定感が高まるように働きかける。また、子育ての不安の緩和を図る。

① うまくいった体験を繰り返す。

② できていることをほめる。

③ 安心して参加できる場を提供する。

④ 他の親子が成功している場面・かかわり方を紹介する。

(ウ) 子ども自身が、付き合いにくさ、かかわりづらさという個性をもつため、子どもが楽しい遊びを展開できるように支援する。また、親に助言をしていく。

(エ) 参加目的を評価する機会を（継続は4か月まで）設ける。

(ウ) 保育士、地区担当保健師の役割

《保育士》

- ・親子の参加目的を知り、親のかかわり（親の姿勢）に焦点をあてたアドバイスを
する。
- ・親の育児の頑張りを認め、親の自己肯定感を育てる。

《保健師》

- ・なかよし教室での評価をもとに、おひさまサロンに参加する目的を一緒に考
える。
- ・親の育児の頑張りを認め、親の自己肯定感を育てる。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、課題を持った遊び、基本的な生活習慣への働きかけ、カンファ
レンスでのケース検討会

カ 実施状況

実施回数	30 回
実参加児数	21 人
延参加児数	113 人

(10) すくすく広場

ア 目 的

ふれあい遊びを経験することで、こころを通わす喜びを感じ、日常生活に生かす。子
育ての不安が緩和され、おだやかな気持ちで育児に取り組める。

イ 対 象

(ア) 子どもとのかかわり方を知りたい親

(イ) 子育てに不安を持つ親

(4か月児健診以降1歳前後まで)

ウ スタッフ

保育士

エ 支援方法

(ア) 安心して参加できる場を提供する。

(イ) 親の頑張りを認める。

(ウ) 子どもに合ったかかわり方を親と共に考える。

(エ) 子どもが喜ぶ遊びを親と共有する。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、スタッフとの個別相談

カ 実施状況

実施回数	11 回
実参加児数	30 人
延参加児数	37 人

キ その他

事業開始時と比べ、乳児期の子とその保護者を取り巻く相談先や支援も充実していることに加え、早期から地区担当保健師の支援につながっていることから、すくすく広場の需要は減少したため、令和6年度をもってすくすく広場を終了することとなった。

7 訪問事業

(1) 保健センター保健師による妊婦・産婦・乳幼児訪問

ア 目 的

- (ア) 親子の健やかな成長を支援する。
- (イ) 出産前後の妊婦・産婦の時期からかかわりを持つことにより、信頼関係を築き、出生後の母子の健康の見守り、育児の支援につなげる。
- (ウ) 育児に悩んでいるもしくは適切な養育が困難な状況で、保健センターや他の地域資源を利用できない家族へ支援する。

イ 対 象

家族の希望や乳幼児健康診査（健康診査未受診者含む）、電話相談等で必要が感じられた親子

ウ 訪問件数

(ア) 乳 児	232件
(イ) 幼 児	261件
(ウ) 妊 婦	107件
(エ) 産 婦	72件
(オ) 精神保健福祉	74件
(カ) 難 病	0件
(キ) 要対協管理ケース	128件
(ク) その他	99件
合 計	973件

エ 把握動機及び支援内容

(件)

事例把握動機	ケース連絡	病院から	76
		児童相談所から	9
		保健所から	2
		保育園等・こども政策課から	49
		他市から	114
	妊娠届出時		412
	低体重児届出時		4
	助産師訪問		19
	連絡員から		0
	4 か月児健診		15
	1 歳 6 か月児健診		46
	2 歳 3 か月児健診		28
	3 歳児健診		19
	健診未受診		69
	育児相談・発達相談・電話		63
	その他		48
	計		973

(件)

支援内容	児の成長確認		455
	育児状況		576
	身体計測		265
	援助	受け止め	343
		ことば	70
		あそび	144
		食事	85
		排泄	38
		清潔	48
		生活リズム	101
		授乳について	204
		その他	204
	情報提供	育児に関すること	493
		社会資源・医療機関・児童館	421
		予防接種	198
		センター事業勸奨	254
		その他	197
	虐待予防		187
	計		4,283

※重複記載あり

(2) 助産師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問

ア 目的

相談支援が必要な者に対して、妊娠・出産、産後の不安の強い時期からかかわりを持つことにより信頼関係を築き、今後育児を進めていく上で、1人で悩まず、相談機関の活用等問題解決に向けて行動のできる親となるよう支援する。

イ 対象

- (ア) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時の面接で不安の強そうな母
 - (イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時アンケートより
 - ①既往歴により精神的な疾患等問題を持つ母
 - ②母乳育児の意思をもった母
 - ③相談者、協力者のいない母
 - (ウ) 妊婦健康診査受診票より妊娠高血圧症候群、尿糖などがみられる母
 - (エ) 若年、高齢出産の母
 - (オ) 多胎児や低体重児を出産した母
 - (カ) 関係機関より継続支援依頼があった母
 - (キ) 「連絡員赤ちゃん訪問」を実施後、保健連絡員・OBを通して訪問依頼のあった母
 - (ク) その他母親からの訪問依頼のあった時
- 上記の(ア)～(カ)の対象に対しては、電話等にて母子の生活や育児状況等を確認し、必要に応じて訪問につなげる。

ウ スタッフ

助産師 8人

エ 周知方法

- (ア) 広報
- (イ) 市内産婦人科にポスターを設置
- (ウ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に案内文を配布
- (エ) 出生届受理時にチラシの配布

オ 実績

(ア) イ対象のうち、(ア)～(カ)の対象者への助産師電話相談実績 (人)

相談対象者数	電話相談数	つながらない等
413	407	6

(イ) 電話相談内容内訳(重複あり) (件)

育児	母乳	兄弟関係	その他	情報提供	計
0	0	0	0	4	4

※小牧市すくすく応援事業の伴走型支援の開始に伴い育児相談は訪問で対応

(ウ) 電話相談方向性内訳 (人)

助産師訪問へ	母乳相談へ	継続支援へ	電話相談で終了	計
345	1	57	4	407

カ 低体重児把握数 (人)

把握総数	500g未満	500g～999g	1,000g～1,299g	1,300g～1,499g	1,500g～1,799g	1,800g～1,999g	2,000g～2,299g	2,300g～2,499g
85	2	4	3	0	1	9	27	39

キ 妊婦・産婦・新生児・乳児訪問実績 (人)

	新生児	乳児	産婦	妊婦
実人数	66 (14)	743 (59)	792	0
延人数	79 (20)	1,004 (146)	1,041	0

※ () 内は実施件数内の低体重児の人数

ク 把握動機

把握動機	人数
低体重届出書より	44
母より申し込み（電話・来所含む）	451
保健師からの電話	19
助産師からの電話	251
赤ちゃん訪問	0
病院からの連絡	20
他の保健機関からの連絡	20
前回の訪問から	274
その他	4
計	1,083

ケ 相談内容

	内 容	件数		内 容	件数
哺乳について	母乳が出ているか・足りているか	669	育児について	泣き・ぐずりについて	406
	授乳方法(抱き方・含ませ方・授乳間隔など)	635		抱き癖について	49
	乳頭の形状による授乳困難など	195		指しゃぶり・おしゃぶりについて	150
	排気・溢乳・吐乳について	487		部屋の養育環境について	96
	ミルクについて(足し方・ミルク量など)	735		衣服・オムツについて	117
	乳房トラブルについて	146		沐浴・お風呂・スキンケアについて	266
	乳汁分泌・促進方法について	93		児の生活リズムについて	202
	授乳中の食事について	36		外出・外気浴について	195
	その他	31		旅行について	21
児の体について	発育(体重増加)について	1,069	育児について	遊び方・関わり方(赤ちゃん体操含む)	125
	スキントラブル(湿疹・オムツかぶれなど)	306		上の子との関わりについて	374
	黄疸について	15		離乳食について	40
	頭の形・向き癖について	523		その他	43
	視点・目つきなどについて	7	母について	母の疾患について	85
	眼脂について	15		母の体調について	185
	鼻汁・鼻閉・くしゃみ・咳・いびき・うなりなど	197		食事・睡眠について	156
	舌小帯について	3		育児不安・大変さについて	220
	血管腫・あざについて	45		育児協力者・相談者がいない	46
	臍について(ヘルニアを含む)	129		家族の生活リズムについて	67
	便・尿について	427		家族との関係(夫・母など)について	76
	包茎・陰嚢水腫について	98		仕事と育児について	336
	股関節脱臼・開排制限について	491		飲酒について	3
	アレルギーについて	18		喫煙(本人・周り)について	22
	児の疾病について	37		家族計画・避妊について	11
	その他	44		その他	20
情報提供	保健事業・社会資源について	924	計		12,349
	かかりつけ医・病院について	800			
	予防接種について	845			
	その他	18			

(3) 管理栄養士による訪問

ア 目 的

実際の家庭状況や食事状況を把握することにより、親が食生活への意識を築き上げ、児の成長につなげることができるよう支援する。

イ 対 象

(ア) 家庭の事情により、保健センターに来所できない親子

(イ) 児の食生活支援のために、実際の食事状況を確認する必要があると感じられた親子

ウ 訪問件数 22件

8 小牧市中学生ピロリ菌検査事業

(1) 目 的

慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍及び胃癌の原因であるピロリ菌を早期に発見し、将来の慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍及び胃癌予防に役立てる。また、中学校で「がん予防」を学習する機会に合わせてピロリ菌検査を行うことで、生徒が健康に興味関心を持ち、その後の健康の保持・増進につなげることを目的とする。

(2) 対 象

ピロリ菌検査を受ける日時点において市内に住所を有する中学2年生で、本人及びその保護者が検査を受けることに同意し、所定の申込書(同意書)とLogoフォームにより申し込みをした者

(3) 内 容

検査内容・希望について市内中学校(チラシ配布・テトル配信)、広報、ホームページ、SNS等を通じて周知・募集を行った。

検査希望者に対し、下記検査を行った(一次・二次検査は無料)。

ア 一次検査…市内中学校・もしくは保健センターにて回収【11月】

尿検査：尿中抗体検査

尿採取した検査キットを委託業者にて検査し、検査結果用紙を郵送

検査結果：陰性(今回の検査では特に感染を認めません)

陽性(ピロリ菌感染の可能性があります)

検査結果の陽性者に対し結果説明チラシと二次検査受診勧奨を行った。

イ 二次検査…市内医療機関に予約し受診【12月～3月】

便検査：便中ヘリコバクターピロリ抗原検査

市内検査実施医療機関に受診し(1)医師による問診(2)便中抗原検査を実施

検査結果：陰性、陽性

検査結果は医療機関・保健センターより説明の上返却。

検査結果の陽性者に対しては、今後消化器症状があった際は速やかに受診する事、胃がん検診を積極的に受診する事等を伝えた。

※積極的治療を希望された場合：自由診療(実費)となる旨、胃内視鏡検査等が必要となる等の説明・相談対応を行った。

(4) 実 績

区分	対象者(人)	受検者(人)	受検率(%)	陽性者(人)	陽性率(%)
一次検査	1,446	937	64.8	26	2.8
二次検査	26	19	73.1	8	42.1

9 外国人通訳の配置

(1) 目 的

外国人の方々に各種健康診査、健康相談・育児相談、予防接種等通訳を通じて十分かつ、正確な情報を得てもらい、心配や不安の軽減を図る。

(2) 対 象

日本語がわからない外国人

(3) 通訳人数

2人

(4) 通訳の対応言語

ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

(5) 通訳来所日

ポルトガル語・スペイン語：火～金（9時～16時30分）

ベトナム語：火・水・金（13時～16時30分）

(6) 各種健康診査外国人対象者及び受診者数通訳対応状況 (人)

健 診 内 容	対 象 者			受 診 者				
	外国 人	(再掲)	(再掲)	外国 人	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
		ポ ル ト ガ ル 語	ベ ト ナ ム 語		ポ ル ト ガ ル 語	通 訳 対 応 ス ペ イ ン 語	ベ ト ナ ム 語	通 訳 対 応 ベ ト ナ ム 語
4 か月児健康診査	113	31	56	108	26	26	55	55
1 歳 6 か月児健康診査	105	36	39	92	36	36	34	34
3 歳児健康診査	116	49	34	103	40	33	29	28
2 歳 3 か月児歯科健康診査	93	33	30	69	22	21	20	0
合計	427	149	159	372	124	116	138	117

(7) その他 通訳対応状況 (人)

	通訳対応	(再掲) ポルトガル語 スペイン語	(再掲) ベトナム語
来所者対応	488	346	142
電話対応	304	202	102

10 産後ケア事業

(1) 目 的

産後に心身の不調又は育児不安があり家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるよう支援することを目的とする。

(2) 対 象

市内に住所を有する産後4か月未満の母親及び生後4か月未満の乳児（アウトリーチは12か月未満）で、下記のいずれにも該当する者。

- ①産後ケアを希望する者
- ②感染症疾患（麻疹、風疹、インフルエンザ等）に罹患していない者
- ③母親に心身の不調があり、医療行為が必要でない者
（ただし、医師が事業において対応が可能であると判断した者は除く）

(3) 内 容

利用日数はショートステイ、デイケア、アウトリーチを合算して7日を上限とする。

ア ショートステイ（10時～翌16時：1泊2日4食（一泊延泊ごとに3食追加））

対象者を宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

イ デイケア（10時～16時：1食付）

対象者に日帰りで施設を利用させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

ウ アウトリーチ（9時～17時のうち3時間程度）

対象者の自宅等に助産師が訪問し、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

(4) 実 績

ア 内容別

ショートステイ利用日数		デイケア利用日数		アウトリーチ利用日数	
実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数
68 組	267 日	20 組	40 日	87 組	193 日

イ 利用日数別

(人)

	ショートステイ						デイケア	アウトリーチ	計 (延人数)
	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日			
	54	26	7	1	1	6	40	193	328
(再掲) 契約外機関	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※1人で複数回利用した人は、それぞれでカウント

(5) 契約医療機関（17機関）

- ① ショートステイ、デイケア、アウトリーチを実施
- ・愛助産院（春日井市）
 - ・星野助産院（名古屋市）
- ② ショートステイ、デイケアを実施
- ・エンゼルレディースクリニック（市内）
 - ・産科・婦人科ミナミクリニック（市内）
 - ・おおばやしマタニティクリニック（北名古屋市）
 - ・かすがいマタニティクリニック（春日井市）
 - ・まのウィメンズクリニック（春日井市）
 - ・森永産婦人科（春日井市）
 - ・レディースクリニックアンジュ（日進市）
- ③ ショートステイを実施
- ・小牧市民病院（市内）
 - ・春日井市民病院（春日井市）
- ④ アウトリーチを実施
- ・助産院マザーリーフ（市内）
 - ・澤野助産院（犬山市）
 - ・お母さんと赤ちゃんのLampo（春日井市）
 - ・助産院ふうハウス（春日井市）
 - ・山中助産院（春日井市）
 - ・唯助産所（春日井市）

(6) 産後ケア事業 利用者アンケートのまとめ（回答 230人）

ア 利用してよかった点（複数回答）

休息が取れた	151人
相談ができた	160人
母乳ケアや授乳の仕方に関する指導	129人
沐浴の仕方に関する指導	18人
その他	
・育児や今後の生活の不安の話を聞いてもらえた	
・休むことが必要だと分かったこと	
・赤ちゃんとの遊びをおしえてもらった	
・子どもの成長状態を教えてもらえた	
・助産師さんにいろいろ話を聞いてもらえ、夜もゆっくり過ごすことができた	
・爪の切り方や切るタイミングの指導	
・赤ちゃんの体重増加とミルクの飲むペースについての指導	
・家族との役割分担やベビーグッズの相談	

イ 事業を利用前よりも、ゆったりとした気分でお子さんとすごせるか。

はい	214人
いいえ	1人
なんとも言えない	15人

ウ 今後、困ったことがあれば相談しようと思えるか。

はい	220人
いいえ	0人
なんとも言えない	10人

11 1stアニバーサリー事業

(1) 目 的

1歳のお誕生日に絵本などをプレゼントしてお子さんの成長をお祝いし、その機会に育児相談や情報提供を行うことで保護者の育児不安を取り除くことを目的とする。また、子育て世代包括支援センターや児童館を利用したことのない親子が当事業をきっかけに今後も施設を利用し、継続的な支援につながることを期待している。

1stアニバーサリー事業をセカンドブック事業としても位置付け、読み聞かせを通して、愛着形成を促し親と子の自己肯定感を育む。

(2) 対 象

市内に住所を有する1歳児とその保護者

(3) 内 容

ア 絵本

イ エプロンタオル

ウ バースデーカード兼図書館員からのメッセージカード

エ 1歳のサポートプラン

(4) 実施結果

ア 通知者数

令和5年6月生まれ～令和6年5月生まれ 910人

イ 利用者数

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(人)

	子育て世代包括支援センター	小牧児童館	小牧南児童館	味岡児童館	北里児童館	西部児童館	篠岡児童館	大城児童館	合計
計	539	39	44	49	33	13	12	33	762
外国人（再掲）	49	1	2	0	0	0	0	4	56
初回利用者（再掲）	118	8	6	9	6	0	2	5	154

(5) 主な相談内容

(件)

相談なし	相談あり									処遇		
	基本的生活習慣	育児方法	環境	発育・発達	医学	情報提供	支援・保護	その他	計	助言・指導	見守り・継続	
											各児童館で見守り・継続	地区担当保健師や子育て世代包括支援センターで継続（再掲）
62	388	81	24	91	18	60	0	38	700	536	164	109

12 利用者支援事業（こども家庭センター型（母子保健機能））

(1) 目 的

妊娠・出産・育児期にわたる様々な悩みに対して切れ目ない支援体制を整備することを目的として相談支援を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を作ることを目的とする。

(2) 対 象

相談希望者（面接、電話、訪問、メール、オンライン、手紙）

(3) 内 容

妊娠・出産・育児にわたる相談全般

(4) 実 績

ア 相談方法別

(件)

面接	電話	訪問	メール	手紙	オンライン	計
381	913	123	60	14	3	1,494

イ 相談内容別

(件)

相談あり										処遇	
基本的 生活習慣	育児 方法	環 境	発 育・ 発 達	医 学	情 報 提 供	支 援 ・ 保 護	妊 娠 S O S	流 産・ 死 産	そ の 他	助 言・ 指 導	見 守 り・ 継 続
115	66	378	116	79	581	5	74	43	37	319	1,175

ウ こまき妊娠SOS関係の相談（再掲）

実人数 23人、延相談件数 74件

エ 流産・死産等に関する相談（再掲）

実人数 12人、延相談件数 43件

13 小牧市すくすく子育て応援事業

(1) 目的

核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整えるために、伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体型で実施する。

(2) 対象

全ての妊婦及び子育て家庭

(3) 実施内容

ア 伴走型相談支援（面談）

- ・妊娠届出時（転入者含む） 992名
 - ・妊娠8か月時（アンケートを実施し希望者に面談を行う）
アンケート回答数：837名　うち相談希望者：88名
 - ・出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間
出産後アンケート回答数：867名　うち相談希望者：49名
- ※随時の相談受付等を継続的に実施

イ 経済的支援

- ・妊娠届出面談後（出産応援給付金（たまごギフト））
50,000円支給　900名
- ・出産後助産師訪問等の面談後（子育て応援給付金（ひよこギフト））
50,000円支給　850名

(4) スタッフ

保健師、助産師

(5) 周知方法

- ア 妊娠届出時に事業の説明を行い、案内文を配布
- イ 小牧市妊産婦・乳児健康診査受診票に事業内容を掲載
- ウ 出生届出時配布チラシに相談申込フォームを掲載
- エ 小牧市ホームページに事業内容を掲載

14 こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパス配布事業

(1) 目 的

妊産婦の「こまき巡回バス」の利用料を無料とすることで、妊産婦健診や乳児健診をはじめ様々な外出時の移動手段として活用してもらい、移動手段を持たない妊産婦だけでなく、全ての妊産婦の外出支援及び巡回バスの利用促進につなげる。

(2) 対 象

妊産婦

(3) 利用期限

妊娠届出時から出産予定日の1年後の月末まで（約22か月間）

(4) 配布方法

妊娠届出時及び転入時に子育て世代包括支援センターにて配布

(5) 利用方法

マタニティフリーパスを乗車（初乗り）時に提示して乗車する。

1日のうちで2回目以降に乗車する時は、こまくる利用券を提示して乗車する。

(6) 実 績

5,123回（200円/回）

15 小牧市初回産科受診料助成支援事業

(1) 目 的

低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、当該妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげることを目的とする。

(2) 対 象

- ・生活保護世帯及び非課税世帯に属する者
- ・上記以外に、市長が必要と認める者

(3) 受診項目

妊娠判定に要する問診及び診察、尿検査並びに超音波検査

(4) 助成方法

- ・事前相談による受診票の交付
- ・償還払い

(5) 実 績

14件

第8 齒科保健事業

第 8 歯科保健事業

1 歯科保健事業一覧

	事業名	対象	内容	回数
1	妊婦個別歯科健診	妊婦	歯科健診、個別歯科保健指導	随時
2	4 か月児歯科指導・ 母親歯科健診	4 か月児と その保護者	集団指導(乳幼児のむし歯予防及び口腔機能 の発達について)	年 44 回
3	1 歳 6 か月児健診	1 歳 6 か月児	歯科健診、フッ化物塗布、個別歯科保健指導	年 36 回
4	2 歳 3 か月児健診	2 歳 3 か月児	歯科健診、フッ化物塗布、個別歯科保健指導	年 24 回
5	3 歳児健診	3 歳児	歯科健診、フッ化物塗布、個別歯科保健指導	年 36 回
6	離乳食教室 後期かみかみ教室	9 か月以降の親子	集団指導(乳幼児のむし歯予防及び口腔機能 の発達について)	年 12 回
7	にこにこむし歯予防教室	乳幼児とその保護 者	歯みがき、歯並び等、お子さんの歯科に関す る個別相談	各保育園年 1 回
8	保育園歯みがき教室	保育園児	健康教育(むし歯予防及び口腔機能の発達に ついて、食事について) 歯みがき指導	年 1 回
9	8020 歯っぴースマイル！ 歯みがき教室	小学 4 年生	歯科健康教育、個別歯科保健指導	年 1 回
10	小学校での歯科健診	小学生	歯科健診 (『令和 4 年度 小牧市保健統計』より)	各小学校年 1 回
	中学校での歯科健診	中学生	歯科健診 (『令和 4 年度 小牧市保健統計』より)	各中学校年 1 回
11	歯周病予防個別健診	今年度 20・25・ 30・35 歳に達する 市民	歯周疾患健診、個別歯科保健指導	受診期間 6 月 1 日～ 2 月 14 日
12	いきいき世代個別歯科健 診	基準日において 40・45・50・55・ 60・65・70・75・ 80 歳の市民	歯周疾患健診、個別歯科保健指導	受診期間 6 月 1 日～ 2 月 14 日
13	ヤング健診及び結果説明 会	35 歳～39 歳の市民	個別歯科保健指導	健診 年 4 回 結果説明会 年 16 回
14	知って得する若返り講座	60 歳以上の市民	口腔機能向上に関する歯科健康教育 (介護予防事業)	年 24 回
15	防ごう誤嚥性肺炎！ これであなたも歯あわせ 講座	おおむね 60 歳以上 で構成される団体	口腔機能向上に関する歯科健康教育 (介護予防事業)	随時
16	フレイル改善個別相談	専門職よりフレイル 改善に向けた個 別相談が必要と判 断された 60 歳以上 の市民 (介護保険の介護 認定非該当者)	口腔機能向上に関する個別歯科保健指導(介 護予防事業)	年 24 回
17	歯の健康相談	市民	歯科に関する相談(面接)	毎週月曜日
18	歯科電話相談	市民	歯科に関する相談(電話)	随時
19	歯科健康教育	市民	歯科に関する健康教育	随時
20	訪問口腔衛生指導	訪問指導が必要と 認められる者	口腔ケア等に関する指導	随時
21	8020 表彰	80 歳以上でご自身 の歯が 20 本以上あ る市民	8020 達成者への表彰事業	年 1 回
22	口腔がん健診	50 歳以上の市民	問診、口腔がん健診、結果説明	年 4 回

2 各事業の内容

(1) 妊婦個別歯科健診

ア 目 的

妊娠による食事の好みや飲食回数の変化、ホルモンバランスの変化等により、う蝕や歯周疾患に罹患しやすい妊婦に対し、近隣の歯科医院において歯科健診を受診する機会を提供し、妊婦やその家族のかかりつけ歯科医の定着を推奨するとともに、妊娠を機に産まれてくる子どもも含め、家族ぐるみで歯や歯肉を健康に保つことができるよう、意識の向上を図ることを目的とする。

イ 内 容

- (ア) 歯科健診（う蝕・歯周疾患の有無、補綴歯・欠損歯・現在歯の数等）
- (イ) 清掃状態、歯列咬合、顎関節、粘膜の異常の有無等
- (ウ) 歯科保健指導

ウ 対 象

妊娠中の方

エ 実施回数

対象者 1 人につき 1 回

オ 周知方法

- (ア) 広報
- (イ) 親子（母子）健康手帳発行時に PR
- (ウ) チラシの配布及びポスター提示

カ 契約医療機関数

54 歯科医療機関

キ 健診結果

年度	項目 受診者数	未処置歯		歯牙の状況（1人平均歯牙本数）				
		なし	あり	現在歯	健全歯	未処置歯	処置歯	要補綴歯
令和6年度	329人	242人 (73.6%)	87人 (26.4%)	28.1本	21.8本	0.6本	5.8本	0.03本

年度	項目	歯周ポケット				歯肉出血		
		健全	浅いポケット	深いポケット	その他	なし	あり	その他
令和6年度		149人 (45.3%)	142人 (43.2%)	38人 (11.5%)	0人 (0%)	110人 (33.4%)	219人 (66.6%)	0人 (0%)

年度	項目	総合判定		
		異常なし	要指導	要精検
令和6年度		20人 (6.1%)	95人 (28.9%)	214人 (65.0%)

※対象者数 915人（受診率 36.0%）

(2) 4か月児歯科指導及び母親歯科健診

ア 目的

乳歯が萌出する前のこの時期に、子どものう蝕予防について学習する場を設け、早期からの仕上げみがきの定着を図る。また、母親の口腔環境が子どもにも影響を及ぼすと考えられていることから、この健診で母親が自分の口腔内の状態について知り、歯科疾患の早期発見・早期予防ができるよう支援する。

イ 内容

- (ア)保護者対象歯科健診（う蝕・歯周疾患の有無、補綴歯・欠損歯・現在歯の数等）、相談
- (イ)集団指導（子どものむし歯予防、口腔機能の発達について）

ウ 対象

4か月児とその保護者

エ 実施回数

年 44回

オ 周知方法

(ア) 広報

(イ) 親子（母子）健康手帳発行時に PR

(ウ) 個別通知

カ 健診結果

年度 \ 項目	受診者数	未処置歯	
		なし	あり
令和 6 年度	849 人	604 人 (71.1%)	245 人 (28.9%)

年度 \ 項目	歯周ポケット				歯肉出血		
	なし	浅いポケット	深いポケット	その他	なし	あり	その他
令和 6 年度	607 人 (71.5%)	217 人 (25.6%)	25 人 (2.9%)	0 人 (0%)	424 人 (49.9%)	425 人 (50.1%)	0 人 (0%)

年度 \ 項目	歯牙の状況（値はすべて 1 人平均歯牙本数）					
	現在歯	健全歯	未処置歯	処置歯	要補綴歯	欠損補綴歯
令和 6 年度	28.4 本	22.4 本	0.8 本	5.2 本	0.1 本	0.07 本

年度 \ 項目	総合判定		
	健康	要指導	要治療
令和 6 年度	200 人 (23.6%)	261 人 (30.7%)	388 人 (45.7%)

※対象者数 920 人（受診率 92.3%）

(3) 1 歳 6 か月児歯科健康診査

ア 目的

乳前歯が萌出し、子どもの歯の健康に関心が高まるこの時期に、歯科疾患の予防と早期発見・早期治療につとめ、家庭で子どもの歯科疾患の予防ができるよう、更なる知識の普及を図る。

イ 内容

(ア) 歯科健診、相談

(イ) フッ化物塗布

(ウ) 集団、個別指導

ウ 対 象

市内在住の 1 歳 6 か月児（991 人）

エ 実施回数

年 36 回

オ 周知方法

(ア) 個別通知

(イ) 広報

カ 健診結果

区分 年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕本数（本）			う蝕なし（人）		
				総本数	処置歯数	1 人平均 本数	01 型	02・ 要指導	02・ 要観察
4	1,049	982	93.6	37	0	0.04	490	30	453
5	992	952	96	8	0	0.01	454	48	448
6	991	959	96.8	16	2	0.02	491	57	406

区分 年度	う蝕あり（人）					指しゃぶりの ある者 (人)	歯列・咬合 異常のある 者（人）	軟組織異常 のある者 (人)
	A 型	B 型	C 型	合計	う蝕罹患率			
4	7	1	1	9	0.90%	24	114	95
5	1	1	0	2	0.20%	23	89	110
6	4	0	1	5	0.52%	21	124	140

区分 年度	その他の異 常のある者 (人)	フッ化物塗 布実施数 (人)	飲み込めない・丸飲み			食事時、足裏が 床についている		水分を飲む時に使用するもの		
			ない	時々	いつもある	はい	いいえ	コップ	ストローマグ	その他
4	19	879	518	420	44	666	316	414	532	36
5	20	850	489	409	54	681	271	456	458	38
6	28	846	471	428	60	703	256	464	467	28

(4) 2 歳 3 か月児歯科健康診査

ア 目 的

乳臼歯が萌出しはじめ、う蝕が急増するこの時期に、歯科疾患予防のための正しい生活習慣を身につけ、歯科疾患予防に関する意識の向上を図る。

イ 内 容

(ア) 歯科健診、相談

(イ) フッ化物塗布

(ウ) 個別歯科保健指導

ウ 対 象

市内在住の 2 歳 3 か月児 (944 人)

エ 実施回数

年 24 回

オ 周知方法

(ア) 個別通知

(イ) 広報

カ 健診結果

区分 年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕本数 (本)			う蝕なし (人)
				総本数	処置歯数	1 人平均本数	0 型
4	1009	922	91.4	77	0	0.08	902
5	995	917	92.2	84	2	0.09	893
6	944	862	91.3	49	1	0.06	845

区分 年度	う蝕あり (人)						指しゃぶり のある者 (人)	歯列・咬合 異常のある 者 (人)
	A 型	B 型	C1 型	C2 型	合計	う蝕罹患率		
4	12	7	0	1	20	2.00%	46	131
5	16	5	0	3	24	2.60%	54	165
6	15	0	0	2	17	1.97%	46	185

区分 年度	軟組織異常のある者 (人)	その他の異常のある者 (人)	フッ化物塗布実施数 (人)
4	64	30	791
5	64	29	774
6	97	29	729

(5) 3 歳児歯科健康診査

ア 目 的

乳歯列完成期にあたるこの時期に、歯科疾患を予防するための生活習慣の定着状況について確認し、今後萌出してくるであろう永久歯も含めて歯科疾患の予防が家庭ぐるみでできるよう支援する。

イ 内 容

- (ア) 歯科健診、相談
- (イ) フッ化物塗布
- (ウ) 個別指導

ウ 対 象

市内在住の 3 歳児 (1,060 人)

エ 実施回数

年 36 回

オ 周知方法

- (ア) 個別通知
- (イ) 広報

カ 健診結果

区分 年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕本数 (本)			う蝕なし (人)
				総本数	処置歯数	1人平均本数	0型
4	1,142	1,048	91.8	209	18	0.20	985
5	1,028	992	96.5	258	18	0.26	930
6	1,060	1,033	97.5	247	17	0.23	958

区分 年度	う蝕あり (人)						指しゃぶり のある者 (人)	歯列・咬合 異常のある 者 (人)
	A型	B型	C1型	C2型	合計	う蝕罹患率		
4	45	16	0	2	63	6.0%	66	184
5	34	20	4	4	62	6.3%	55	179
6	56	14	0	5	75	7.3%	66	238

区分 年度	軟組織 異常の ある者 (人)	その他の 異常の ある者 (人)	フッ化物 塗布実施 数 (人)	飲み込めない・丸飲み			食事時、足裏が床 についている	
				ない	時々	いつも ある	はい	いいえ
4	47	32	869	773	264	11	839	209
5	60	22	816	726	245	21	800	192
6	68	26	810	749	269	15	828	205

区分 年度	口を閉じて食べる	
	はい	いいえ
4	920	128
5	885	107
6	908	125

(6) 離乳食教室：後期かみかみ教室

ア 目 的

乳歯が萌出しはじめ、食事の内容が変化する時期にあたる児とその保護者に対し、口腔内に関心が高い時機を捉え、むし歯予防や口腔機能の発達に関する知識の普及を図り、歯・口腔の健康に向けた意識の向上及び行動変容を促すことを目的とする。

イ 内 容

離乳食教室内での歯科講話

ウ 対 象

市内住民登録のある 9 か月以降の児とその保護者

エ スタッフ

歯科衛生士(1 名)

オ 参加状況

(人)

4 月 19 日	5 月 24 日	6 月 21 日	7 月 26 日	8 月 30 日	9 月 20 日	10 月 25 日	11 月 22 日	12 月 20 日	1 月 31 日	2 月 21 日	3 月 21 日
3	7	5	5	3	3	9	3	7	7	1	9

合計 62 人 (年 12 回)

(7) にこにこむし歯予防教室

ア 目 的

1 歳前後は、乳歯が萌出し、食事の内容が変化する時期であるため、母子ともに生涯にわたる健康の基礎となる非常に重要な時期である。育児相談を利用される保護者に対し、乳前歯が萌出し、生活習慣・歯口清掃等のむし歯予防のポイントを助言するとともに、口腔機能に関する知識の啓発を図り、歯や歯肉の健康等に対する意識の向上及び行動変容を促すことを目的とする。

イ 内 容

歯科講話、個別相談

ウ 対 象

市内住民登録のある乳幼児とその保護者

エ スタッフ

歯科衛生士(2 名)

オ 参加状況（年 12 回開催）

実施日	参加者数 (実人数)	相談内容（延べ）								
		歯みがき	歯並び	母乳	ミルク (哺乳瓶)	飲み物	フッ化物 の応用	おやつ	その他	合計
4 月 22 日	7	7	7	0	0	0	0	0	0	14
5 月 27 日	8	8	8	0	2	0	4	0	0	22
6 月 24 日	10	7	6	1	2	3	2	1	6	28
7 月 29 日	7	6	4	1	1	1	2	0	4	19
8 月 26 日	5	5	4	0	0	0	0	0	1	10
9 月 30 日	6	5	2	1	2	0	2	0	0	12
10 月 28 日	4	4	1	0	1	1	0	1	3	11
11 月 25 日	4	4	0	2	0	0	0	0	1	7
12 月 23 日	5	5	2	0	0	0	0	2	0	9
1 月 20 日	6	4	5	0	1	0	3	3	3	19
2 月 17 日	11	9	5	0	1	1	4	1	7	28
3 月 17 日	10	10	4	0	0	1	3	1	4	23
計（人）	83	74	48	5	10	7	20	9	29	202

(8) 保育園歯みがき教室

ア 目 的

第一大臼歯が萌出しはじめる時期に、自分で歯を健康に保つための習慣や知識を身に付けさせるとともに、保護者に歯科疾患予防に関して学習する機会を作り、8020を達成するために必要とされる『第一大臼歯』を親子で保護育成できるように支援する。

イ 内 容

- (ア) 園児への健康教育（むし歯予防のお話、食事のお話）
- (イ) ブラッシング指導
- (ウ) 保護者への健康教育
- (エ) 質疑応答

ウ 対 象

市内保育園に通園している園児とその保護者

エ スタッフ 歯科衛生士、栄養士
(保健センター、幼児教育・保育課)

オ 実施状況

実施日	園名	園児数（人）
5月15日	さくら保育園	34
5月21日	本庄保育園	54
5月30日	三ツ渚保育園	37
6月4日	レイモンド小牧保育園	71
6月5日	小木保育園	76
6月6日	第二保育園	68
6月7日	村中保育園	36
6月11日	陶保育園	44
6月12日	北里保育園	58
6月13日	古雅保育園	39
6月14日	みなみ保育園	58
6月17日	一色保育園	76
6月18日	三ツ渚北保育園	36
6月19日	岩崎保育園	86
6月21日	大城保育園	50
6月25日	篠岡保育園	68
6月26日	味岡保育園	129
6月27日	じょうぶし保育園	79
7月2日	山北保育園	114
7月9日	藤島保育園	39
7月10日	大山保育園	78
計	21 保育園	1,330

(9) 8020 歯っぴースマイル！歯みがき教室

ア 目的

学校歯科保健活動を支援し、子どもたちが健康な歯でいつまでも健やかに過ごすことができるよう歯科健康教育等を実施し、知識の普及及び行動変容を促すことを目的とする。

イ 内 容

(ア) 歯科健康教育

(イ) 歯みがき指導

ウ 対 象

本事業を希望する市内小学校の児童（小学４年生）

エ 実施状況

実施日	学校名	児童数（人）
５月７日	本庄小学校	93
６月５日	桃ヶ丘小学校	67
６月４日	光ヶ丘小学校	52
５月２１日	篠岡小学校	43
７月１７日	村中小学校	58
６月１２日	小牧原小学校	90
６月２８日	大城小学校	39
９月９日	陶小学校	32
６月２５日	小木小学校	48
２月６日	米野小学校	149
２月２６日	一色小学校	97
９月１３日	三ツ渚小学校	51
１０月９日	味岡小学校	149
１２月１３日	小牧小学校	116
１２月１６日	北里小学校	80
１１月１８日	小牧南小学校	146
計	16校	1,310

(10) 学校歯科健診

ア 小学校

区分 年度	受診者数 (人)	う歯なし (人)	う蝕のあるもの			
			未置歯あり (人)	処置完了者 (人)	計	う蝕罹患率 (%)
2	8,317	5,807	1,230	1,284	2,514	30.2
3	8,244	5,777	1,293	1,174	2,467	29.9
4	7,951	5,659	1,116	1,176	2,292	28.8
5	7,646	5,564	1,093	989	2,082	27.2
6	7,420	5,460	1,016	922	1,938	26.1

イ 中学校

区分 年度	受診者数 (人)	う歯なし (人)	う蝕のあるもの			
			未置歯あり (人)	処置完了者 (人)	計	う蝕罹患率 (%)
2	4,084	3,097	362	625	987	24.2
3	4,160	3,186	364	610	974	23.4
4	4,023	3,073	342	608	950	23.6
5	4,018	3,232	303	483	786	19.6
6	3,922	3,199	306	411	717	18.3

(11) 歯周病予防個別健診

ア 目的

青年期の歯科疾患、特に歯周疾患を早期に発見するとともに、有益な歯科保健情報を提供することで市民の歯科保健行動の向上を促す。また、かかりつけ歯科医による系統的な歯科保健医療との連携を推進し、市民の口腔機能の維持を図ることで、生涯にわたり自分の歯で豊かな食生活を送ることができるよう支援する。

イ 内容

- (ア) 歯科健診
- (イ) 個別歯科保健指導

ウ 対象

当該年度に 20・25・30・35 歳の誕生日を迎える市民(6,736 人)

エ 実施回数

対象者 1 人につき 1 回

(受診期間 令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 2 月 14 日)

オ 周知方法

(ア) 広報

(イ) 個別通知

カ 健診結果

	受診者数 (人)	対象者数 (人)	歯牙の状況 (本)					
			1 健全歯	2 処置歯	3 未処置歯	現在歯 (1+2+3)	欠損歯	欠損補綴歯
20 歳	93	1,536	2,414	178	72	2,664	0	0
25 歳	85	1,835	2,049	294	89	2,432	1	0
30 歳	125	1,684	2,922	514	124	3,560	1	2
35 歳	142	1,681	2,960	942	118	4,020	8	9
計	445	6,736	10,345	1,928	403	12,674	10	11

	歯周ポケット (人)				歯肉出血 (人)		
	健全	浅いポケット	深いポケット	その他	なし	あり	その他
20 歳	61	28	4	0	32	61	0
25 歳	51	32	2	0	34	51	0
30 歳	55	57	13	0	44	81	0
35 歳	57	73	12	0	35	107	0
計	224	190	31	0	145	300	0

	清掃状態 (人)			むし歯 (人)		要補綴歯 (人)	
	良好	ふつう	不良	なし	あり	なし	あり
20 歳	20	58	15	68	25	92	1
25 歳	18	54	13	55	30	83	2
30 歳	26	81	18	78	47	124	1
35 歳	32	83	27	91	51	139	3
計	96	276	192	292	153	438	7

	総合判定（人）		
	異常なし	要指導	要精検
20 歳	6	41	46
25 歳	10	22	53
30 歳	9	25	91
35 歳	15	25	102
計	40	113	292

(12) いきいき世代個別歯科健診

ア 目 的

歯周疾患と全身疾患との関係に着目し、節目の年齢に該当する市民に対し、近隣の歯科医院に受診しやすい環境を作り、歯周疾患の予防と早期発見・早期治療を促すとともに、日ごろの生活習慣を振り返る機会を設け、有益な歯科保健情報を提供することで市民の歯科保健行動の向上を図る。また、かかりつけ歯科医による系統的な歯科保健医療との連携を推進することにより、市民の口腔機能の保持増進を図り、生涯にわたり自分の歯で豊かな食生活を送ることができるよう支援する。

イ 内 容

- (ア) 歯科健診
- (イ) オーラルフレイル健診
- (ウ) 個別歯科保健指導

ウ 対 象

40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の市民(17,758人)

エ 実施回数

対象者1人につき1回

(受診期間 令和6年6月1日～令和7年2月14日)

オ 周知方法

- (ア) 広報
- (イ) 個別通知

カ 健診結果

	受診者数 (人)	対象者数 (人)	歯牙の状況 (本)					
			1 健全歯	2 処置歯	3 未処置歯	現在歯 (1+2+3)	欠損歯	欠損補綴歯
40 歳	130	1,809	2,500	1,091	65	3,656	3	24
45 歳	111	2,002	2,018	1,038	92	3,148	4	20
50 歳	197	2,725	3,068	2,352	90	5,510	34	60
55 歳	211	2,374	3,024	2,645	126	5,795	24	142
60 歳	165	1,763	2,073	2,253	84	4,410	92	131
65 歳	186	1,549	2,323	2,494	104	4,921	80	245
70 歳	177	1,620	1,905	2,338	107	4,350	165	426
75 歳	245	2,260	2,296	3,317	159	5,772	193	824
80 歳	162	1,656	1,578	2,024	110	3,712	107	727
計	1,584	17,758	20,785	19,552	937	41,274	702	2,599

	歯周ポケット				歯肉出血		
	健全	浅いポケット	深いポケット	その他	なし	あり	その他
40 歳	49	60	21	0	45	85	0
45 歳	41	52	18	0	34	77	0
50 歳	78	87	32	0	63	134	0
55 歳	79	83	48	0	64	146	0
60 歳	57	64	43	0	59	105	0
65 歳	69	65	52	0	79	107	0
70 歳	55	76	46	0	65	112	0
75 歳	65	108	69	0	73	169	0
80 歳	45	65	47	0	57	100	0
計	538	660	376	0	539	1,035	0

	清掃状態（人）			むし歯		保健指導	
	良好	ふつう	不良	なし	あり	未実施	実施
40 歳	41	73	16	95	35	0	130
45 歳	19	79	13	76	35	0	111
50 歳	51	122	24	157	40	0	197
55 歳	49	124	38	157	54	0	211
60 歳	31	107	27	124	41	0	165
65 歳	51	112	23	138	48	0	186
70 歳	50	105	22	140	37	0	177
75 歳	50	167	28	187	58	0	245
80 歳	36	99	27	121	41	0	162
計	378	988	218	1,195	389	0	1,584

	健診結果		
	異常なし	要指導	要精検
40 歳	14	23	93
45 歳	6	24	81
50 歳	9	54	134
55 歳	13	51	147
60 歳	9	31	125
65 歳	17	29	140
70 歳	11	25	141
75 歳	15	31	199
80 歳	9	24	129
計	103	292	1,189

(13) ヤング健診及び結果説明会

ア 目 的

健康と毎日の生活習慣を振り返るきっかけとして若い世代を対象に実施するヤング健診開催時にこの世代に急増する歯周病についての正しい知識を学び、歯・口腔の健康に保持増進に寄与することを目的とする。

また、後日開催される結果説明会において、その後の行動変容を確認するとともに、改善点などを確認し、歯・口腔の健康づくりに向けた支援を行うことを目的とする。

イ 内 容

歯科衛生士による個別歯科指導

ウ 対 象

小牧市に住民登録のある 35 歳から 39 歳までの方で、事業所等で健診を受ける機会のない方

エ スタッフ

- ・ヤング健診開催時：歯科衛生士(4 名)
- ・ヤング健診結果説明会開催時：各日 1 名(16 日開催)

オ 実施状況

- ・ヤング健診

(人)

実施日	受診者数	歯の健康づくり得点			気になる症状		お口の健康のための心がけ		定期健診の有無	
		0～10点	11～15点	16点以上	ある	ない	ある	ない	受けている	受けていない
7 月 25 日	46	5	19	22	26	20	44	2	17	29
8 月 19 日	33	6	9	18	24	19	31	2	28	15
9 月 7 日	34	6	13	15	14	20	27	7	13	21
10 月 15 日	59	7	23	29	28	31	56	3	27	32
計	172	24	64	84	92	90	158	14	85	97

・ヤング健診結果説明会

(人)

		男	女	計
参加者数		28	104	132
歯科健診受診の有無	あり	13	69	82
	なし	15	35	50
行動変容	あり	9	53	62
	なし	19	51	70

(14) 知って得するフレイル予防講座～おくち編～(介護予防事業)

ア 目 的

口腔機能向上や口腔ケアに関する知識の普及啓発を高齢者にとって身近な場所で実施することにより、高齢者自身が口腔の健康の保持増進に向けた健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸に寄与することを目的とする。

イ 対 象

- ・小牧市在住の60歳以上の方
- ・施設を利用する老人クラブの団体及び個人で施設を利用している方

ウ スタッフ

歯科衛生士1名

エ 内 容

①講話：口腔機能について等

②実技：自宅で実施できる口腔機能向上トレーニング、健口体操

開催日	会場	参加者数（人）
4月19日	ラピオ	12
5月17日	ラピオ	9
5月24日	田県の郷	8
6月7日	ラピオ	7
6月11日	サンビレッジ	4
6月25日	東部市民センター	6
7月5日	ラピオ	11
7月26日	田県の郷	18
8月2日	ラピオ	10
8月20日	東部市民センター	6
9月6日	ラピオ	10
9月24日	サンビレッジ	6
9月27日	田県の郷	3
10月4日	ラピオ	7
10月29日	東部市民センター	8
11月1日	ラピオ	6
11月22日	田県の郷	7
12月6日	ラピオ	5
12月24日	サンビレッジ	6
1月17日	ラピオ	6
1月24日	田県の郷	4
2月7日	ラピオ	7
2月18日	東部市民センター	9
3月21日	ラピオ	10

(15) 健康づくり応援隊☆認定講座

ア 目 的

口腔が健康な状態と口腔機能が低下した状態の狭間にある「オーラルフレイル」にならないよう、元気なうちから予防に向けた正しい知識を普及啓発し、その人らしい健康づくりを応援し、元気で生き生きとした潤いのある暮らしを続けていくことができるよう支援する。

イ 対 象

市民活動団体の代表者

ウ ス タ ッ プ

歯科衛生士 1 名

エ 内 容

①講話：口腔機能について等

②実技：自宅で実施できる口腔機能向上トレーニング、健口体操

オ 会 場

ラピオ 2 階 ワクティブこまき

カ 実施状況 参加者数（延べ）

開催日	参加人数（人）
8 月 27 日	0
11 月 26 日	15

(16) 防ごう誤嚥性肺炎！これであなたも歯（し）あわせ講座（出前講座）

ア 目 的

歯周疾患と全身疾患との関係に着目し、歯科疾患の予防や口腔機能の向上に関する知識の普及啓発を行い、個々に応じた取り組みを促し、生涯にわたり口腔の健康の保持増進を図るとともに、健康寿命の延伸に寄与することを目的とする。

イ 対 象

小牧市内の老人クラブの会員、保健連絡員活動、地域 3 あい事業の出前講座等、市内各地区のおおむね 60 歳以上で構成される団体

ウ スタッフ

歯科衛生士 1 名

エ 実施内容

いつまでも自分の歯で美味しく元気に食べるため、口腔ケアの方法や摂食嚥下、食事内容等についての健康教育を行い、家庭で気軽に実践できる健口体操を行う。

オ 参加者数

354 人（年 13 回）

(17) フレイル改善個別相談

ア 目 的

年齢が増すごとに生じる認知症や心身の虚弱化（フレイル）の重症化を防ぎ、市民がいくつになっても健康で生き生きとした毎日を過ごすことができるよう、個々の口腔内の状態に応じた個別指導を行い、心身の健康状態の維持増進に寄与することを目的とする。

イ 対 象

- ・小牧市在住の 60 歳以上の方
- ・専門職より、フレイル改善に向けた個別相談が必要と判断された方（介護認定非該当者）

ウ スタッフ

歯科衛生士 1 名

エ 内 容

問診を行い、状態に応じた個別歯科保健指導を実施

開催日	会場	参加者数（人）
6月3日	田島の郷	3
6月17日	野口の郷	3
7月1日	小針の郷	2
7月22日	田島の郷	3
8月5日	野口の郷	2
8月19日	小針の郷	3
9月9日	田島の郷	2
9月24日	野口の郷	3
10月7日	小針の郷	2
10月21日	田島の郷	4
11月5日	野口の郷	4
11月18日	小針の郷	4
12月2日	野口の郷	2
12月10日	小針の郷	4
12月16日	田島の郷	4
1月6日	野口の郷	3
1月14日	小針の郷	2
1月20日	田島の郷	4
2月3日	野口の郷	2
2月17日	小針の郷	3
2月25日	田島の郷	3
3月3日	野口の郷	2
3月17日	小針の郷	2
3月25日	田島の郷	1

(18) 歯の健康相談

実施日時	場所	内容	相談件数（件）		
毎週月曜日 午前 9 時～12 時 午後 1 時～4 時	保健センター	歯の健康相談	乳幼児	成人	計
			3	2	5

(相談内容)

【乳幼児】

- ・仕上げみがきについて
- ・歯並びについて
- ・むし歯が多い
- ・歯みがき剤について
- ・歯科医院でのフッ化物塗布について

【成人】

- ・親知らずの痛みについて
- ・歯科受診について

(19) 歯科電話相談

ア 年代別相談件数

(件)

	乳児	幼児	学童	妊婦	成人	その他	計
R 3	34	24	2	0	6	1	67
R 4	23	17	0	0	4	0	44
R 5	9	21	0	0	2	0	32
R 6	2	1	1	0	8	0	12

イ 相談内容内訳

(件)

	歯科治療	歯みがき	歯科受診について	母乳	食生活	指しゃぶり おしゃぶり	歯の生え方	フッ化物利用について	歯並び	その他
R 3	5	47	5	2	1	1	10	17	5	0
R 4	5	34	0	3	0	3	3	15	9	1
R 5	1	29	0	0	1	0	4	10	1	1
R 6	7	2	2	1	0	0	1	1	1	3

(20) 歯科健康教育

ア 成人対象健康教育

実施日時	対象	内容	参加者数 (人)
8月19日	第二回愛知県歯科衛生士人材育成研修	小牧市の事業説明	60
10月11日、 18日、25日	日本クロージャ株式会社	歯みがき、歯科疾患、定期歯科健診について	23
11月9日	味岡地区健康展	オーラルフレイルについて	145
11月23日	こまき まな防災	災害時の歯科保健について	223
12月1日	東新町ミニ健康展	オーラルフレイルについて	41
12月5日	ヘルスメイト養成講座	歯みがき、歯科疾患、オーラルフレイル、定期歯科健診について	2
12月16日	こまき介護予防推進リーダー養成講座	歯みがき、歯科疾患、オーラルフレイル、定期歯科健診について	30
12月17日	郷中百寿会フレイルチェック	オーラルフレイルについて	19
1月16日	味岡地区グループ会議	オーラルフレイルについて	26
2月3日	懐サロンの会ぬくもりの家	オーラルフレイルについて	10
合 計			579

イ 母子対象健康教育

実施日時	対象	内容	参加者数（人）
5月17日	第一幼稚園	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	123
5月22日	園児対象フッ化物洗口事業従事者研修会	歯みがき指導、むし歯予防、フッ化物洗口、口腔機能の発達について	16
6月3日	西部児童館	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	41
6月11日	あおぞら幼稚園	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	20
6月19日	旭ヶ丘第二こども園	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	10
6月24日	市之久田幼稚園	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	50
6月26日	三ツ渚小学校1年生	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	56
7月8日	とやまこども園	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	113
7月9日	北里中学校	歯みがき指導、むし歯予防、歯周病について	39
7月30日	歯科保健関係職員研修会	むし歯予防、フッ化物洗口について	159
9月29日	愛知県委託事業口腔機能育成支援者養成研修	子どもの口腔機能発達について	10
1月16日	名北ゼンヌ幼稚園	歯みがき指導、むし歯予防、口腔機能の発達について	24
1月16日	子育て世代包括支援センター連絡調整会議	子どもの歯科疾患（う蝕、歯周病、口腔機能発達支援）とその予防について	180
合 計			841

(21) 訪問口腔衛生指導

ア 訪問日数及び件数

(ア) 訪問日数 0 日

(イ) 延べ件数 0 件

(ウ) 実人数 0 人

イ 往診手配実施件数 3 件

ウ 訪問指導内容内訳

(人)

被訪問者数	原因疾患		指導内容				
0 (実人数)	脳血管疾患	その他	歯みがきについて				洗口指導
			口腔内 チェック	歯の 磨き方	歯を磨く 回数・時間	補助具の 使用方法	
	0 (実人数)	0 (実人数)	0	0	0	0	0

(人)

指導内容						
義歯について				受診について		その他
清掃方法	保存方法	着脱方法	安定剤の使用 について	受診勧奨	往診手配	
0	0	0	0	0	0	0

エ 年齢別被訪問者数の内訳(延べ数)

(人)

項目	～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～79 歳	80 歳～	計
被訪問者数	0	0	0	0	0	0	0

オ 往診手配状況

(件)

件数	依頼元		主訴（重複あり）				
	本人・家族	ケアマネー ジャー	口腔内 チェック	歯石除去	歯周病疑い	義歯不適合	う蝕疑い
3	2	1	3	0	0	1	1

(22) 8020表彰

ア 目 的

8020達成者に対し、その健康をたたえ、8020表彰事業を行い、本人のみならずその家族、友人、来場者の口腔内の健康に関する意識の向上を図る。

また、肺炎や糖尿病、心疾患などといった全身疾患と歯周病との関係について着目し、歯科に関する意識の向上を図り、ひいては全身疾患の予防を図ることで健康寿命の延伸に寄与することを目的とする。

イ 対 象

1)昭和20年3月31日以前の生まれの方

(市内住民登録のある方)

2)歯が20本以上ある方

※上記1)、2)に該当される方

ウ 表彰者数

233名

(23)口腔がん検診

ア 目 的

口腔がんの早期発見・早期治療につなげるとともに市民の口腔がんに対する意識の向上を図ることを目的とする。

イ 内 容

(ア)問診

(イ)口腔がん検診

(ウ)結果説明

ウ 対 象

50歳以上の市民(1回の定員は35名)

エ スタッフ

1回につき歯科医師8名(4日間開催)

オ 周知方法

(ア) 広報

(イ) HP

(ウ) 公式 LINE、Twitter、Facebook

カ 募集方法

インターネット、電話

キ 実施状況

(人)

実施日	開催時間	実施場所	応募者数	参加者数	要精検該当者数
11月14日	13:00～16:00	保健センター	160	144	10
11月28日	13:00～16:00	保健センター			
12月5日	13:00～16:00	保健センター			
12月12日	13:00～16:00	保健センター			

第9 地区組織活動

第9 地区組織活動

1 保健連絡員活動

保健連絡員は、地域と保健行政のパイプ役であり、自分や家族、地域の健康に関心を持ち、少子高齢化社会において健康に関する様々な問題に対応できる地域づくりの担い手として、地域の状況に応じた健康づくりにつとめることを目的に設置されている。

保健連絡員は、20歳以上の市内在住者で各区の世帯数に基づく設置基準に沿って区長推薦にて選出されている。地区の状況に応じ、個人での活動から健康づくりに関する行事の企画や、学習などに取り組んでいる。

(1) 保健連絡員設置数

129行政区中120区設置 243名

年度	設置区	人数	設置率
令和6年度	120区	243人	93.0%
令和5年度	122区	245人	94.6%
令和4年度	121区	244人	93.8%

(2) 保健連絡員会議

月日	行事名	内容	参加者数(人)
4月25日(木)	保健連絡員 総会	1 議題 ① 令和5年度保健連絡員活動報告について ② 令和6年度保健連絡員活動計画について 2 新役員紹介	185

(3) 個人活動

ア 目的

地域住民が健康で生き生きと、安心して生活できるよう、地域で見守りや声かけを行ったり、健康づくり、介護予防、健診・検診、子育てなどのサービスの利用が望ましいと思われる地域住民に事業内容を紹介したり、必要に応じて保健センターへつなげる。(介護予防、家族・育児支援など)

イ 内 容

(ア) 地域での個人活動

(人)

活動内容	実施報告人数
近所の方への声かけや見守り	67
近所の方の話を聞く、相談を受ける	34
近所の方や赤ちゃん訪問した親子の相談や様子を保健センターへ報告する	46
保健連絡員活動や学習したことを家族や近所の方、友達へ伝える	104
赤ちゃん訪問の実施	100
地域活動(3あい事業、地区の行事等)への参加	90
がん予防に関する内容を家族や近所の方、友達へ伝える	49

(イ) 健康づくりに関する事業の案内・参加勧奨

(人)

活動内容	実施報告人数
がん検診の受診を勧める	63
健康診査の受診を勧める(特定健診や歯科健診)	57
ヤング健診の受診を勧める	9
保健センター事業の紹介や参加を勧める	24
ウォーキングアプリalkoの紹介	43
保健センター事業に関するチラシの回覧や配布	76

(ウ) グループ活動や区での活動に関すること

(人)

活動内容	実施報告人数
グループで開催した健康展や講座等のPR	92
グループで学習したことを地域の方へ伝える	42
保健連絡員活動について区長へ挨拶、報告に行く	57
区で講座等を開催するために区長や地区の方へ相談する	30
保健連絡員活動や学習したことを区の集まりなどで報告する	43

(4) 地区活動

ア 目 的

健康に関する講話などを各地で企画し、地域住民の健康意識を高める。

イ 対 象

地域住民

ウ 講 師

保健師、栄養士、歯科衛生士、看護師、運動指導士等

エ 実施内容・参加者数(グループ別)

【Aグループ・小牧南地区】

区	時期	企画内容	参加者
南外山	11月10日	三世代交流 健康測定会（骨密度測定、体組成計、血圧測定、 握力計による健康チェック）	120人 うち、測定 40人
桜井	6月8日	にこにこ赤ちゃん&パパママ友交流会（赤ちゃん の身長、体重測定や手あそび等	約10人
	2月13日	骨盤底筋エクササイズ講座	数名
大山	毎月第1 木曜日	神社カフェにおいて 参加者と合唱（認知症予防）	多数
	10月3日 10時～12時	ミニ健康まつり （骨密度測定、動体視力反応測定機、俊敏性測 定、健康チェック、血圧、握力）	54人
米野	4月24日	3あい事業 認知症予防と気づくポイント、予防について講話	50人
	5月15日	3あい事業 牧連体操ズンドコ、防ごう誤嚥性肺炎の話	56人
	6月26日	3あい事業 音楽の脳トレ（リトミック）	51人
	7月19日	3あい事業 ラジオ体操で健康に（体操）	44人
	10月23日	3あい事業 健康チェック（口腔機能、体組成 計、血液サラサラ、骨密度）	48人
	11月20日	3あい事業 認知症 声かけ訓練をする	58人
	12月18日	3あい事業 牧連体操ズンドコ、わた史ノートの使い方	51人
二重堀	8月1日	高齢者のための熱中症対策案内配布	回覧

	11月6日	3あい事業 健康教室「あなたの血管は健康ですか？」（講師：名古屋ヤクルト） 血管年齢測定、握力	40人
--	-------	--	-----

【Bグループ・小牧地区】

区	時期	企画内容	参加者
朝日	10月19日	フレイルチェック、握力測定	3人
小牧原中	9月27日	小牧原中区ミニ健康展 ・いすを使ったヨガ ・体力測定（握力、開眼片足立ち、5回イス立ち上がりテスト）	約30人
小牧原北	6月12日	ミニ健康まつり （身長、体組成計、握力、片足立ちテスト、長座体前屈、血圧） フレイルについての講話	30人
小牧原南	10月20日	区会に参加 健康展のお知らせする	15人
東新町	12月1日	地区行事にて （骨密度測定、体組成計測定、血圧）	41人
間々原	6月23日	ミニ健康展 （血管年齢、体組成計、脳年齢計、血圧、身長、長座体前屈、握力）	大人21人 子ども3人

【Cグループ・巾下地区】

区	時期	企画内容	参加者
舟津	5月21日	ミニ健康展（握力、体組成計、骨密度測定） 健康講座	37人
三ツ渚	毎月第3木曜日	ふれあいサロン（防災について、福祉の出前講座、手品、認知症見守り訓練、認知症予防ゲーム、音楽鑑賞会（バイオリン、キーボード、二胡、短笛、ピアノ））	約40人
三ツ渚原団地	11月22日	三ツ渚原団地いきいきサロン絆の会 健康講座 「優しい伝え方」	30人
入鹿	9月2日	ミニ健康展（入鹿半寿会より依頼） 測定、デュアルタスク体操、365歩マーチ体操、フレイル予防の紹介	43人
村中	9月15日	防災講習（AEDの使い方、心臓マッサージの方法）	約100人
	10月10日	サロン（体組成測定、保健師による健康についての講話）	30人
間々	11月2日	間々区健康促進会 幼児コーナー	数名
	12月11日	子育てサロン クリスマス会	大人3人 子ども4人
	2月19日	子育てサロン	数名

三ツ渚学区 コミュニティ推 進協議会	6月30日	三ツ渚学区コミュニティ推進協議会 健康フェア 測定（ベジチェック、足圧計）ゲーム、口腔体 操、健康の秘策講座	104人
小牧西部 ボランティア 連絡会	9月14日	小牧西部ボランティア連絡会 ふれあいのつどい 「口腔体操」いっしょにやってみよう!!	167人

【Dグループ・味岡地区】

区	時期	企画内容	参加者
東田中	9月12日	3あい事業「ひまわり学級」出前講座 「立っても座ってもOK!本気のラジオ体操講座」	25人
小松寺	9月29日	「親子ふれあい広場」実施 「ラフターヨガ（笑いヨガ）」講座	13人
小松寺団地	12月18日	ヘルシー教室	35人
本庄	11月10日	区民まつり「認知症とわたしノート」提示	多数
タウン本庄	11月16日	出前講座「転ばぬ先の転倒予防教室」	4人
岩崎東	7月1日	だるまの会「健康寿命をのばす秘訣」 歩き方講座、口腔ケアのチラシ作成、配布	30人
	10月7日	だるまの会 健康展のお知らせ、申し込み方法の 説明	30人
南岩崎台	7月20日～23日	夏休みラジオ体操	延べ355人
	7月24日～27日	牧連体操ズンドコ	
	10月25日	パパママとベビーとキッズの交流会（体重測定、 ふれあいあそび、読み聞かせ、座談会）	大人7人 子ども2人
久保一色 中北区	2月22日	ミニ健康展 測定、フレイルチェック、健康相談	36人
	7月23日～26日	3あい事業「朝のラジオ体操」	各日
	8月20日～23日	3世代での朝のラジオ体操を実施	15～20人
久保一色 本田	8月25日	3あい役員と出前講座「優しいヨガ」の実施	25人
	6月26日	3あい事業「健康教室」（こまき山体操、熱中症 予防、薬の飲み方等健康管理について）	22人
久保山団地	11月23日	自治会、3あい事業、福寿会共催 久保山ミニ健康展	34人

【Eグループ・東部地区】

区	時期	企画内容	参加者
古雅第4	毎月第3土曜日	1か月間の保健連絡員としての活動内容報告	25人
	9月21日	東部地区いきいきウォーキングの案内を周知	25人
	10月19日	健康フェスティバルの案内を周知	25人
光ヶ丘第3	10月25日	光ヶ丘小学校区地域協議会 光ヶ丘ウォーク（3コースに分かれてウォーキング、散策）	多数
	11月16日	光ヶ丘3丁目秋の運動フェスティバル トランポリン、フレイル予防講座	多数
光ヶ丘第5	12月7日	3あい事業 町内ウォーキング	15人
池之内	10月21日	百笑会にていきいきウォーキング健康フェスティバルのチラシ配布	20人
下末	10月12日	いきいきウォーキング健康フェスタの周知	約30人
大草西・東	毎月	大草だより「今月のちょっとひとこと」 健康に関する事、健康フェスティバル等行事の案内掲載	4人
	毎月第3日曜日	ふれあいいきいきサロン陽だまりサロン大草 ゲーム、体操等	約30人
	毎月第1火曜日	オレンジカフェおおくさ 折り紙、ゲーム、体操等	約30人
	6月8日	3あい事業 大草グランドゴルフ大会	57人
	7月27日	3あい事業 盆踊り練習	大人29人 子ども3人
	8月10,11日	盆踊り大会	多数
	8月18日～25日	3あい事業 ラジオ体操	320人
	11月23日	3あい事業 ふれあいウォーク 準備体操	大人64人 子ども8人
	1月25,26日	3あい事業 ミニ健康展「体力測定、握力、5回イス立ち上がり、閉眼片足立ち」	多数
	2月14日	3あい事業 保健連絡員健康講座 出前講座「防ごう誤嚥性肺炎！これであなたも歯（し）あわせ講座	予定
野口	毎月第1金曜日	いきいきサロン ラジオ体操	40人
	10月11日	いきいきウォーキング、健康フェスのポスター掲示	掲示
	2月7日	3あい事業健康出前講座「防ごう誤嚥性肺炎！これであなたも歯（し）あわせ講座」	予定

【Fグループ・北里地区】

区	時期	企画内容	参加者
御屋敷	9月18日	サロンにて認知症の講話（ゆうあい）	25人
	11月20日	御屋敷サロン旅行 親睦会	20人
小針	6月23日	3あい事業 健康教室 alkoの紹介、健康チェック	25人
	11月24日	ウォーキング、もちつき	多数
多気上	毎週水曜日	ふれあいカフェ 折り紙、体操、講座等の案内	20～30人
	10月13日	多気上・下 防災訓練	50人
	11月1日	サロンにて健康まつりの参加を促す	20人
	11月6日	出張カフェ グループホームひまわり 折り紙「菊」	12人
	12月4日	出張カフェ グループホームひまわり クリスマスリース作り	11人
	1月8日	出張カフェ グループホームひまわり 折り紙「つばき」	12人
小木中・下	12月3日	老人会（十日会、八日会）健康講座	34人
藤島団地	10月5日	健康まつりの案内（地区の役員会）	20人
とみづか	11月14日	人生100年時代の「食べる」を知ろう！講座	25人
梵天藤栄区	毎週 火、木、土	ラジオ体操、牧連体操ズンドコの実施	毎回 23～25人

(5) グループ活動

ア グループ活動

(ア) 目的

健康に関する事を企画し、地域住民の健康意識を高める。

(イ) 対象

地域住民

(ウ) 実施内容

・健康展、ウォーキング大会の開催

地区	イベント	日程	会場	参加人数
小牧南地区	健康イベント	12月7日	ふらっとみなみ	146名
小牧地区	健康展	11月27日	うぴお5階アリーナ	159名
巾下地区	健康フェア	11月30日	ゆうゆうせいぶ	115名

味噌地区	健康展	11月9日	味噌市民センター	184名
東部地区	いきいきウォーキング	11月12日	桃花台中央公園	307名
	健康フェスティバル	12月8日	東部市民センター	231名
北里地区	健康まつり (小木小学校区地域協議会とのタイアップ事業)	11月16日	小木小学校	113名
	健康まつり (北里小学校区地域協議会とのタイアップ事業)	11月24日	北里小学校	101名

・
イ
ベ

ント出展

巾下地区	三ツ渚学区コミュニティ推進協議会 健康フェア 保健連絡員コーナー (お口の健口体操)	6月30日	三ツ渚小学校	104名
	小牧西部ボランティア連絡会 ふれあいのつどい 保健連絡員コーナー (災害時に役立つ健康づくり お口の健口体操)	9月14日	ゆうゆうせいぶ	167名
小牧地区	小牧小学校区地域協議会 三世代交流会 保健連絡員コーナー	3月23日	小牧小学校	109名

イ グループ会議・学習会

(ア) 目 的

グループごとに健康に関する問題をテーマとし、学習や活動を通し、知識を高め、地区住民に広める。

《Aグループ・小牧南地区》

活動テーマ：【最近の親子について知る】

開催月	内容	参加者数
5月	<地区懇談会>全地区	15人
6月	第1回グループ会議 ・今年度のテーマ及び健康イベントや勉強会の内容の検討	16人
9月	第2回グループ会議 ・健康イベントの内容について検討 ・健康イベントの周知方法について検討	16人
10月	第3回グループ会議 ・学習会「オトナ女子の更年期講座」 ・健康イベントの流れ、役割について共有	19人

11 月	学習会：あさひ学園見学 (今年度のテーマにあわせ、子どもの発達を支援している施設「あさひ学園」を見学した)	9 人
1 月	第 4 回グループ会議 ・健康イベント及び学習会の振り返り ・活動のまとめの作成	10 人
2 月	第 5 回グループ会議 ・今年度の活動の振り返り ・来年度にむけての検討	14 人

《Bグループ・小牧地区》

活動テーマ：【フレイル予防～健康寿命の延伸 今、私たちにできること～】

開催月	内容	参加者数
6 月	<地区懇談会> 参加地区：朝日、上新町、上之町、片町、東町、東新町	12 人
	<地区懇談会> 参加地区：中町、西町、寺浦、門前町、向町、堀の内、大輪、大井	7 人
	<地区懇談会> 参加地区：間々原、大新田、安田、小牧原中、小牧原西、小牧原北、小牧原駅東、小牧原源川、小牧原南、懐、小牧原街道	14 人
7 月	第 1 回 グループ会議 ・今年度の活動テーマ及び学習内容について検討	27 人
8 月	第 2 回 グループ会議・学習会 ・学習会「フレイルとは何か/フレイル測定を体験する」 ・健康展の内容について検討	26 人
9 月	第 3 回 グループ会議・学習会 ・学習会「フレイル予防について 自宅でできる簡単な体操」 ・健康展の内容や役割について検討	22 人
10 月	第 4 回 グループ会議 ・健康展の会場の見学及びブースの配置、運営について検討	28 人
12 月	第 5 回 グループ会議・学習会 ・学習会「フレイル予防について深める～日常生活の中に取り入れられること・取り入れていることを考える～」	19 人
1 月	第 6 回 グループ会議	18 人

	・活動のまとめの作成 ・健康展の振り返り	
2月	第7回 グループ会議 ・活動のまとめの作成	22人
3月	第8回 グループ会議 ・小牧小学校区地域協議会主催 三世代交流会出展ブースについて	14人

《Cグループ・巾下地区》

活動テーマ：【介護をする側とされる側の備え、介護予防について考える】

開催月	内容	参加者数
5月	<地区懇談会> 参加地区：元町、スペクトル舟津、舟津、三ツ渚、三ツ渚原団地	15人
	<地区懇談会> 参加地区：西之島、村中、入鹿、河内屋、横内、間々	9人
6月	第1回グループ会議 ・今年度の活動テーマ、学習方法の検討	18人
7月	第2回グループ会議・学習会 ・学習会（介護保険制度、介護予防） ・健康フェアのタイトル、測定機器、コーナーの検討	16人
	学習会（介護体験）	14人
8月	第3回グループ会議 ・学習会の振り返り・健康フェアの内容と役割について検討 （介護予防、介護体験、ゲーム、スタンプラリー、介護保険）	20人
9月	第4回グループ会議 ・健康フェアで行うゲームの実演、各コーナーの内容の検討	20人
10月	第5回グループ会議 ・健康フェアの準備	20人
11月	第6回グループ会議 ・健康フェアのデモンストレーション	22人
12月	第7回グループ会議 ・活動のまとめの作成	15人
1月	第8回グループ会議 ・住民サミットでの活躍を動画視聴 ・健康フェアの振り返り	20人

2月	第9回グループ会議	21人
----	-----------	-----

《Dグループ・味岡地区》

活動テーマ：【健康長寿は、フレイル予防から】

開催月	内容	参加者数
6月	<地区懇談会>全地区	午前：21人 午後：12人
7月	第1回グループ会議 ・今年度の活動について(健康展、学習内容)	32人
8月	第2回グループ会議 ・健康展について ・学習会について	26人
9月	第3回グループ会議 ・健康展について ・学習会について	35人
10月	第4回グループ会議・学習会 ・学習会「栄養補給と健康食品～いつまでも元気に暮らすためには？～」 ・健康展について	27人
12月	第5回グループ会議・学習会 ・学習会「転ばぬ先の転倒予防教室」 ・健康展の振り返り ・活動のまとめについて	23人
1月	第6回グループ会議・学習会 ・学習会「お口のお話」 ・活動のまとめ作成	25人
2月	第7回グループ会議 ・活動のまとめ作成	26人
3月	第8回グループ会議 ・今年度の活動の振り返り	23人

《Eグループ・東部地区》

活動テーマ：【健康寿命を延ばすために生活習慣病を予防しよう！】

開催月	内容	参加者数
6月	<地区懇談会>	14人

	参加地区：野口大山、野口、林、池ノ内、上末、下末、大草東、大草西、小牧ヶ丘、高根	
	＜地区懇談会＞ 参加地区：古雅第1～4、篠岡第1～3、桃ヶ丘1～3	17人
	＜地区懇談会＞ 参加地区：光ヶ丘第1～第6、城山第1・第3・第4・第5、城山2丁目県住・城山5丁目県住、桃花台パークヒルズ	15人
7月	第1回グループ会議 ・今年度の東部地区の保健連絡員活動について	37人
8月	第2回グループ会議 ・学習会「足し算・引き算 私の食事のアレやコレ」 ・今年度の東部地区の活動について	38人
9月	第3回グループ会議 ・学習会 グループワーク「食品栄養成分表示を見てみよう！」 ・東部地区の活動について	40人
10月	第4回グループ会議 ・いきいきウォーキングについて（打合せ・コース下見）	41人
12月	第5回グループ会議 ・学習会「食品栄養成分表示を見てみよう！」振り返り ・健康フェスティバルについて ・いきいきウォーキング振り返り	32人
1月	第6回グループ会議 ・学習会「認知症サポーター養成講座」と野口の郷見学 ・健康フェスティバルの振り返り ・今年度の活動の振り返り	36人
2月	第7回グループ会議 ・活動のまとめの作成	37人
3月	第8回グループ会議 ・今年度の活動の振り返り	37人

＜Fグループ・北里地区＞

活動テーマ：【健康寿命を延ばそう～気になる物忘れについて～】

開催月	内容	参加者数
-----	----	------

6月	<地区懇談会> 参加地区：常普請、御屋敷、郷中、池新田、藤島、梵天藤栄、 小針入鹿新田、下小針、多気上	15人
	<地区懇談会> 参加地区：小木上、小木中、小木下、藤島団地、とみづか、 多気下	14人
7月	第1回グループ会議 ・保健連絡員として活動したこと、してみたいことについて ・健康に関して話題になることや知ってみたいことについて	25人
8月	第2回グループ会議 ・学習会「認知症サポーター養成講座」 ・健康まつりについて	27人
9月	第3回グループ会議 ・健康まつりについて ・学習内容の振り返り ・展示物の作成	28人
10月	第4回グループ会議 ・健康まつりについて ・学習内容の振り返り ・展示物の作成	30人
11月	第5回グループ会議 ・健康まつりについて ・学習内容の振り返り ・展示物の作成	28人
12月	第6回グループ会議 ・健康まつりの振り返り	30人
1月	第7回グループ会議 ・保健連絡員として活動したこと、気づいたことに関する意見交換会	29人

(6) 保健連絡員・保健連絡員0Bによる赤ちゃん訪問【令和6年度・令和5年度実績】

ア 目的

育児をスタートしたばかりの不安の大きい時期に訪問することにより、地域に自分のことを知っている「近所の頼れる人」がいることを親子に知ってもらう。また、将来に向かってみんなで地域の子どもを支え、子育てを支えていける地域づくりをおこなう。

専門的支援・継続的支援の必要な母親に対し、保健センター事業につなげていく。

イ 対象

(ア) 市内在住の1～3か月ぐらゐの全乳児とその親

(イ) 4か月未満で市内に転入した乳児とその親

ウ 実施者

保健連絡員・保健連絡員0B

エ 実施者数

令和6年度 154人（保健連絡員 133人 保健連絡員0B 21人）

令和5年度 173人（保健連絡員 142人 保健連絡員0B 31人）

オ 赤ちゃん訪問対象者数【年度毎打ち出し分】

（令和6年度：R6年3月～R7年2月生まれ、令和5年度：R5年3月～R6年2月生まれ）

（人）

地区	小牧南(小牧南小学校区)		小牧南(米野小学校区)		小牧(北)		小牧(南)		巾下		味岡(東)		味岡(西)		東部		北里		合計	
年度	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5
打出人数	110	98	101	79	106	119	84	85	79	76	101	103	131	122	81	113	122	118	915	913
(双子)組	1	3	1	0	0	1	2	1	1	0	1	1	3	1	1	1	1	0	11	8
(外国人)	5	2	18	7	14	13	15	8	5	6	24	18	17	11	22	22	5	2	125	89

カ 赤ちゃん訪問実施件数【年度毎実施分】

（令和6年度：R6年4月～R7年3月報告、令和5年度：R5年4月～R6年3月報告）

（件）

地区	小牧南(小牧南小学校区)		小牧南(米野小学校区)		小牧(北)		小牧(南)		巾下		味岡(東)		味岡(西)		東部		北里		合計	
年度	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5
実施件数	59	73	55	66	64	92	32	61	64	72	75	89	98	101	45	96	73	77	565	727
(双子)組	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3	5
(外国人)	2	1	5	5	4	10	0	2	2	6	12	7	4	3	3	12	0	1	32	47

＜方向性＞令和6年度 ・4か月児健診等へ…6件・保健師、助産師へ…15件

令和5年度 ・4か月児健診等へ…4件・保健師、助産師へ…24件

キ 赤ちゃん訪問不在訪問件数【年度毎実施分】

(令和6年度:R6年4月～R7年3月報告、令和5年度:R5年4月～R6年3月報告)

(件)

地区	小牧南(小牧南 小学校区)		小牧南(米野 小学校区)		小牧 (北)		小牧 (南)		巾下		味岡 (東)		味岡 (西)		東部		北里		合計	
年度	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5
実施件数	0	1	2	0	0	1	0	1	3	0	0	0	1	4	0	0	5	3	11	10
(双子)組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(外国人)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1

＜方向性＞令和6年度 ・4か月児健診等へ…10件 ・保健師、助産師へ…1件
令和5年度 ・4か月児健診等へ…7件 ・保健師、助産師へ…3件

ク 赤ちゃん訪問未実施件数【年度毎何らかの理由で訪問未実施分】

(令和6年度:R6年4月～R7年3月報告、令和5年度:R5年4月～R6年3月報告)

(件)

地区	小牧南(小牧南小学校区)		小牧南(米野小学校区)		小牧(北)		小牧(南)		巾下		味岡(東)		味岡(西)		東部		北里		合計	
年 度	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5
件 数	58	25	51	18	49	21	51	24	19	5	40	13	46	15	44	13	58	29	416	163
(転 出)	2	0	0	2	2	2	2	1	2	1	0	0	3	0	0	0	0	0	11	6
(里帰り)	2	4	1	3	0	2	3	2	3	1	2	0	3	0	0	1	1	0	15	13
(保健師対応)	10	3	15	3	7	4	12	3	0	0	11	2	16	3	11	2	15	3	97	23
(連絡つかず)	1	8	3	2	2	3	4	6	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	16	19
(希望せず)	3	3	1	1	2	1	0	3	0	2	1	1	1	2	0	0	0	0	8	13
(その他)	40	7	31	7	36	9	30	9	13	1	26	10	22	10	33	10	38	26	269	89
【再掲】 (双 子)	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1	0	8	3
【再掲】 (外国人)	4	0	15	3	10	2	14	6	2	0	15	7	12	7	19	10	5	1	96	36

＜方向性＞令和6年度 ・4か月児健診等へ…300件 ・保健師、助産師へ…104件

・転出12件

令和5年度 ・4か月児健診等へ…107件 ・保健師、助産師へ…49件

・転出…6件

・その他…1件

※地区詳細

小牧南(小牧南小学校区):春日寺、南外山、北外山、桜井本町、若草町、掛割町

小牧南(米野小学校区):中央(4～6丁目)、二重堀、応時、東

小牧(北):小牧原、小牧原新田、新町、山北町、安田町、間々原新田

小牧(南):東新町、中央(1～3丁目)、小牧、堀の内、曙町、緑町、川西

巾下:河内屋新田、横内、入鹿出新田、西島町、村中、間々、間々本町、弥生町、西之島、舟津、三ツ渚、元町

味岡(東):小松寺、本庄、文津、東田中

味岡(西):岩崎、岩崎原、久保一色、久保一色南、久保新町、久保本町、久保一色東、田県町

東部:下末、上末、池之内、高根、林、大草、大字大山、野口大山、古雅、篠岡、城山、桃ヶ丘、光ヶ丘

北里:常普請、郷中、市之久田、小針、下小針天神、下小針中島、外堀、多気中町、多気北町、多気南町、小木東、小木南、藤島、藤島町梵天、藤島町中島

ケ 保健連絡員と地域の親子のつながり

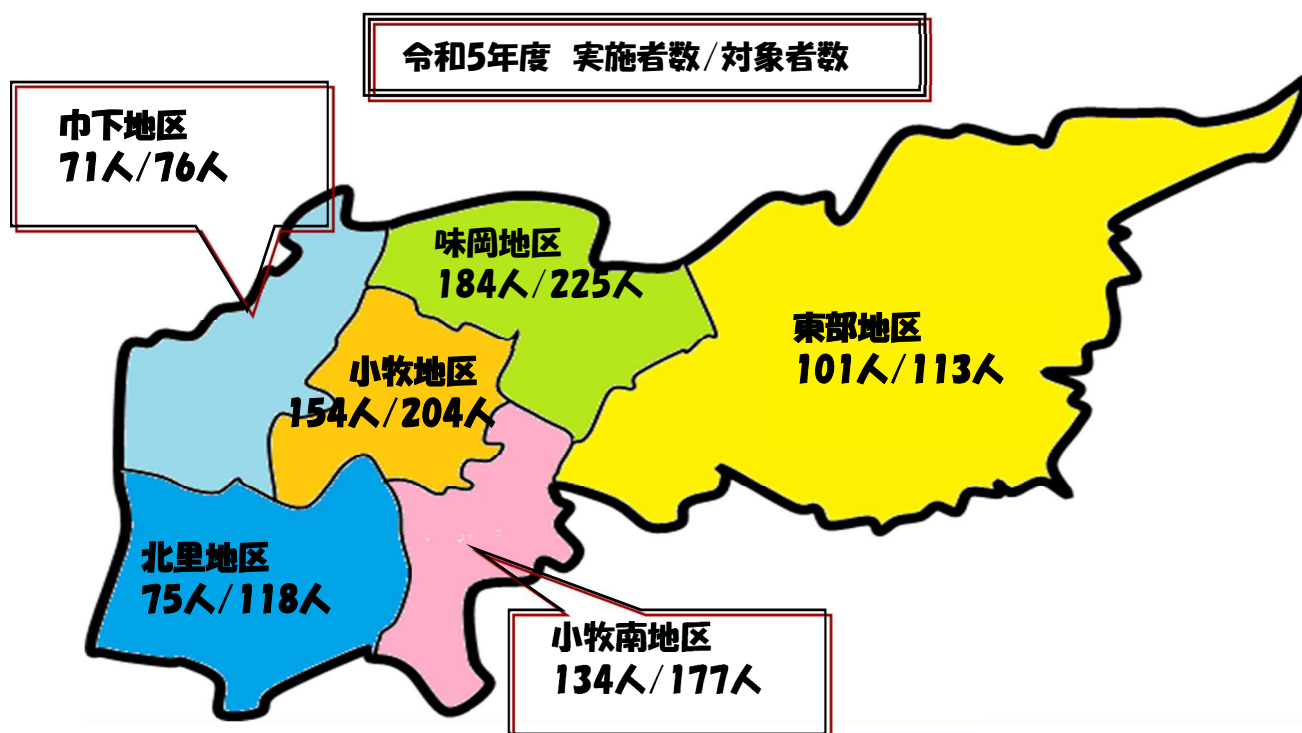
内 容
<保健連絡員から聞いた声の一例> ・ 町内の行事で近所の親子を見かけた。町内の方に親子を紹介し、新しい住人と昔から住んでいる住人の顔つなぎをすることができた。 ・ 3 あい事業で親子に声をかけ、その後も見かけたらお互い声をかけるようになった。 ・ 健康展では、親子を対象にしたコーナーを作り、乳児から高齢者まで幅広い世代と交流し、楽しんでもらえた。 ・ 子ども連れでも参加できるような集まりなど、親子を巻き込んだ環境をつくっていきたい。また、それを自分の地域にも落とし込んでいきたい。 ・ 近所で親子連れを見かけると話しかけるようにしている。

【令和 5 年度 実績】

赤ちゃん訪問地区別対象者数と実績(令和 5 年度: R5 年 3 月～R6 年 2 月生まれ)

(人)

地区	小牧南	小牧	巾下	味岡	東部	北里	合計
打出人数 (対象者数)	177	204	76	225	113	118	913
実施者数	134	154	71	184	101	75	719
実施率	75.7%	75.5%	93.4%	81.8%	89.4%	63.6%	78.8%



コ その他

令和5年2月より、子育て世代包括支援センターの事業として、小牧市すくすく子育て応援事業による伴走型相談支援が開始。訪問の目的は異なるが、同家庭に助産師による妊婦・産婦・乳児訪問を実施している。両事業において、訪問の行為は同じであることから、訪問を受ける側の配慮も考え、保健連絡員による赤ちゃん訪問を終了。子育て世代包括支援センターで実施している、助産師による妊婦・産婦・乳児訪問に事業の統合を行うこととした。

(7) 赤ちゃん訪問説明会

ア 目的

母子保健の現状を知り赤ちゃん訪問の主旨を理解することにより、地域の親子に対する保健連絡員活動に役立てる。

イ 対象

令和6年度新規保健連絡員

ウ 実施内容・参加者数

月 日	場 所	内 容 ・ 講 師	参加人数
5月13日(月)	保健センター	赤ちゃん訪問説明会 (母子保健の現状、主旨の説明) (赤ちゃん訪問の流れや方法の説明)	21人
5月14日(火)	東部市民センター		16人
5月16日(木)	味岡市民センター		9人
5月17日(金)	保健センター		8人
5月24日(金)	保健センター		8人

(8) 地区懇談会

ア 目的

グループの中でさらに小地区にわかれて、その地域の健康に関する状況や問題等について意見交換を行うことで、保健連絡員活動についての理解を深め、保健連絡員としての自覚を高め今後の活動につなげる。

イ 対象

保健連絡員

ウ スタッフ

地区担当保健師

エ 実施内容

- ・ 自分たちの住む地区について健康に関する意見交換
- ・ 保健連絡員活動について
- ・ 保健センターの事業紹介
- ・ 質疑応答

オ 参加者数

地区（グループ）名	回数	延べ参加者数
小牧南（A）	1回	15人
小牧（B）	3回	33人
巾下（C）	2回	24人
味岡（D）	1回	33人
東部（E）	3回	46人
北里（F）	2回	29人
延べ回数	12回	180人

(9) 1年目・終了者交流会

	内 容
地区グループ会議内で実施	1年目交流会、保健連絡員終了者交流会 ・保健連絡員活動を通して学んだこと ・今後やってみたい活動 ・今地域で必要だと感じること 等

(10) 保健連絡員学習会

ア 目 的

学習することにより、自己の健康意識を高め、健康増進を図るとともに地区の保健連絡員活動に役立てる。

イ 対 象

保健連絡員 243人

ウ 実施内容

行事名	月 日	内 容	参加者数
第1回学習会	4月25日(木) 総会後	講演 「健康寿命をのばす秘訣」 講師 小牧市民病院糖尿病内分泌内科 部長医師 落合啓史 氏	185人
屋外実習 ウォーキング	5月27日(月) 5月30日(木)	・ウォーキング指導 講師 小牧市体操連盟健康体操部 体操指導員 門内 弘子 氏 佐藤 真由美 氏 (場所 パークアリーナ小牧 サブアリーナ) ・レクリエーション	60人
グループ学習	随時	各グループの活動テーマにあわせて 学習会を実施した。	9～40人

(11) 保健連絡員養成講座

ア 目 的

活動開始にあたり、地区における保健連絡員の役割を理解する。

イ 対 象

新規保健連絡員及び過去の養成講座未受講者、受講希望者

ウ スタッフ

保健連絡員、保健師、公認心理師 他

エ 実施内容・参加者数

回	月 日	内 容	参加者数
1	4月10日（水） 4月12日（金） 4月15日（月） 4月19日（金）	講話 「保健連絡員について」	65人
2	6月26日（水） 6月28日（金）	コミュニケーションに関する講座 【初級編】 「心がよろこぶコミュニケーション」 講師：特定非営利活動法人 ゲートキーパーTONARINO GKT理事 保健師・公認心理師 児玉裕子氏	69人
3	9月4日（水）	コミュニケーションに関する講座 【ステップアップ編】 「心に寄り添うコミュニケーション」 講師：特定非営利活動法人 ゲートキーパーTONARINO GKT理事 保健師・公認心理師 児玉裕子氏	39人
4	随時	乳がん検診 ブレスト・アウェアネス ミニ講座	43人※
5	随時	大腸がん検診	36人※

（※養成講座として申込みし、受診した者）

(12) 保健連絡員役員会

小牧南地区、小牧地区、巾下地区、味岡地区、東部地区、北里地区のそれぞれのグループから選出された役員9名にて運営。役員は、役員会を実施するほか、各地区のグループの意見を保健連絡員活動に反映することや保健連絡員の会議や学習会の企画を行う。

月 日	時	内 容
4月9日（火）	午前10時～11時00分	・令和5、6年度役員挨拶・紹介 ・今年度の保健連絡員活動について
5月13日（月）	午前10時～11時30分	・総会及び第1回学習会について ・第2回学習会（健康づくりウォーキング）について
7月9日（火）	午前10時～11時30分	・第2回学習会（健康づくりウォーキング）について ・今年度の活動について
9月11日（水）	午前10時～11時40分	・今年度の活動について（歩歩よせてについて）
11月13日（水）	午前10時～11時40分	・今年度の活動について（活動のまとめについて）
1月8日（水）	午前10時～11時30分	・活動報告について ・来年度の活動について（赤ちゃん訪問について）
3月10日（月）	午前10時～11時30分	・歩歩よせてについて ・今後の保健連絡員活動について ・今年度の活動のまとめについて

2 小牧市食生活改善協議会

家族の健康を考える食生活講座（ヘルスマイト養成講座）を修了したもの、又はこれと同等の講習会を修了したもので、下記の目的により、平成11年3月19日に小牧市食生活改善協議会が設立された。

(1) 目 的

本協議会は、超高齢化社会を迎えるにあたり、小牧市民憲章により、歴史と伝統のある健やかな町の発展をめざして、若い世代から丈夫な体づくりをし、自分らしい豊かな生涯を送るため、食生活改善協議会員として、毎日の食事の中から食べ方・作り方等の地域での実践活動を推進し、また、会員相互の連絡を密にすることで、健康で生きがいのある明るい町づくりをすることを目的とする。

(2) 会員数 13名（令和7年4月1日）

(3) 会議等

月 日	事 業	内 容	活動人数	参加者数
4 月 22 日	総会	前年度の活動報告等	全員	—
5 月 7 日他	役員会	事業計画、反省等 年 10 回	6 人	—

(4) 小牧市事業への参加

月 日	事 業	内 容	活動人数	参加者数
	小牧市広報掲載 「ヘルスマイトおすすめレシピ」	広報こまき 5、7、9、11、1、3 月号に掲載（年 6 回）	全員	—
6 月 27 日	食育推進審議会	栄養・食生活部会（1 回）	1 人	—
10 月 24 日他	自分・家族の健康を考える食生活講座（ヘルスマイト養成講座）	6 回 （10/24、11/21、1/9、2/6、 2/20、3/6）	12 人	16 人
10 月 27 日	市民まつり福祉展	野菜の手ばかり栄養法 飲み物の糖分比べ	6 人	—
11 月 16 日他	いきいきこまき	2 回（11/16、11/17） 野菜の手ばかり栄養法 飲み物の糖分比べ	8 人	—
12 月 5 日	小牧市社会福祉大会	小牧市社会福祉協議会会長表彰 授与式	1 人	—
12 月 8 日	東部地区健康フェスティバル	野菜の手ばかり栄養法 減塩の工夫	8 人	—

(5) 地域活動

月 日	事 業	内 容	活動人数	参加者数
7月24日他	親子の食育推進普及事業	2回（7/24、7/26）	14人	26人
8月6日	おやこの食育教室	料理を始めるきっかけとなることを目的とした講話と調理実習	6人	12人
1月23日	シニアカフェ （低栄養予防教室）	楽しく食べて低栄養を予防することを目的とした講話と調理実習	7人	12人

(6) 愛知県食生活改善推進協議会事業への参加

月 日	内 容	活動人数
4月18日他	常任理事会・理事会 計11回	1人
5月17日	総会	3人
6月4日	いいともあいち運動推進協議会	1人
7月25日	愛知県健康づくり推進協議会健康増進部会	1人
9月20日	食生活改善推進員指導者養成研修会	4人
11月26日	地区組織育成・強化推進会議	3人
1月16日他	食生活改善推進員リーダー 北陸・東海・近畿ブロック研修会	1人

(7) 他機関・団体主催事業への参加

月 日	内 容 (参加者数)	活動人数
	小牧豊山くらしのニュース掲載「健康レシピ！」 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 2月号に掲載（年9回）	全員
5月1日	家庭科調理実習サポート（光ヶ丘小学校）（55人）	6人
5月23日他	家庭科調理実習サポート（桃ヶ丘小学校）（67人） 2回（5/23、5/24）	8人
5月24日	社会福祉協議会主催 ボランティア勉強会 あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 部長 平川仁尚氏による「幸せ（ウェルビーイング）とは？」	2人
8月20日	社会福祉協議会主催 ボランティア勉強会 小牧市健康生きがい推進課 小川真波氏・田中千月氏による 「alko（アルコ）を活用して、もっと健康になろう！」	2人
11月1日	ふれあいサロン フレイル予防料理教室（25人）	1人
11月15日	ももの会（高齢者との調理実習）（16人）	1人
11月24日	味岡児童館 地産地消料理 鬼饅頭作り（16人）	1人
2月27日	社会福祉協議会主催 ボランティア勉強会 更年期トータルケアインストラクター・マツエクササイズ インストラクター Rika氏による「ココロとカラダのリフレッシュ体操」	1人
3月2日	味岡児童館 伝承料理 おこしもの作り（12人）	1人

(8) 各グループ学習会

●栄養士対応健康教育（ヘルスメイト育成） 実施なし

●水曜グループ テーマ：「朝たん＋野菜1皿70g」 合計7回

月 日	学 習 内 容	場 所	参加者
5月15日	朝たんぱく質＋野菜一皿	ふれあいセンター	11人
6月19日	「おやこの食育教室」試作	東部市民センター	10人
7月17日	夏野菜を使ったレシピ	北里市民センター	9人
9月18日	夏バテした身体を回復させるやさしいランチ	ふれあいセンター	12人
10月16日	高野豆腐を使った料理	ふれあいセンター	10人
11月20日	定例会	ふれあいセンター	10人
12月19日	栄養と彩りビュッフェ	ふれあいセンター	10人

●木曜グループ テーマ：「しっかり食べて健康寿命を延ばそ～！！」 合計9回

月 日	学 習 内 容	場 所	参加者
5月9日	「おやこの食育教室」試作	ふれあいセンター	10人
6月13日	「おやこの食育教室」試作（2回目）	まなび創造館	10人
7月11日	「おやこの食育教室」試作（3回目）	北里市民センター	9人
9月12日	定例会	ふれあいセンター	9人
10月10日	秋をあじわう	ふれあいセンター	9人
11月14日	フレイル予防 たんぱく質を多くとる	ふれあいセンター	10人
12月12日	正月料理と「シニアカフェ」試作	ふれあいセンター	9人
2月13日	広報レシピ・くらしのニュース掲載レシピ	ふれあいセンター	7人
3月27日	お花見を兼ねて親睦と体力づくり	小牧山史跡公園	8人

3 牧連体操クラブ

(1) 目 的

子どもから高齢者の方まで誰でもでき、簡単に親しみやすく健康に役立つ体操「牧連体操ズンドコ」を広く地域に広め、自分たちの健康、ひいては地域の健康につなげていく。

(2) 会 員 13人

(3) 活動方法

- ・原則として毎月第2水曜日、第4木曜日を定例練習日とし、会員の技術向上の場とすること、また体操を学びたい方への場の提供を目的として実施
- ・講師派遣依頼に応じる
- ・体操を広めるための活動（PRや媒体づくり等）を考え実践していく

(4) 活動状況

ア 定例練習会参加状況（練習会20回実施）

（人）

月	ボランティア	参加者
4月	8	10
5月	10	23
6月	13	21
7月	14	12
8月	3	4
9月	14	16
10月	14	18
11月	15	29
12月	7	19
1月	13	29
2月	16	30
3月	17	33
計（延べ）	144	244

イ 地域での活動状況

- ・小牧市民まつりへの参加
- ・地域団体（いきいきサロン、老人クラブ、地域協議会など） 5回
- ・保健連絡員の集まり 5回
- ・小牧市YouTube「健康チャンネル」にて配信
- ・広報こまき11月号「えーもんみつけ！」に掲載

ウ 打ち合わせ実施状況

- ・総会1回、定例練習会と併せて実施

4 ^{がくいく} 楽育相談

(1) 経 緯

子どもの成長発達に関する支援が必要な親に対してのアプローチ方法を学ぶため、発達障がいの子どもの持つ母親（2名）を講師として招いて、平成23年度に保健センターで勉強会を実施した。

勉強会では、健診や相談などで保健師等から子どもの発達に関して支援が必要であることを告げられたときの気持ちや心配であるにも関わらず今は指摘されたくない気持ち等が出された。同時に「これまでの経験から後輩の保護者の方に役に立ちたい」との発言があり、平成26年3月「発達障がいを持つ子どもの親が行う子育てサロン」として子育てに悩む保護者を対象とした^{がくいく}楽育相談の開催に至った。

名称：「^{がくいく}楽育相談」

楽＝楽しく 育＝育児を進めていく ことが出来るようお願いをこめて命名

(2) 目 的

育てにくい子どもの保護者や子育てに自信のない保護者に対し、相談支援者が自分の経験を生かし気持ちの共有、日常生活や就園、就学に向けての情報交換をすることで、孤独感や困難感が軽減され、気軽に相談ができ前向きに子育て出来るよう支援する。

(3) 支援内容

- ・日常生活での困難感や子育てについての不安の傾聴
- ・日常生活での対応についての助言
- ・就園、就学についての不安の傾聴と助言
- ・保護者の頑張りを認め、前向きに子育てできるよう支援

(4) 実施回数

通年、毎月1回予約なしでの開催であったが、令和6年度は、会員の都合により日程をあらかじめ設定せず、予約制で実施。

(5) 会 員

発達障がいを持つ子どもの保護者2名

(6) 相談者数

令和6年度は相談者なし

第10 救 急 医 療 活 動

第10 救 急 医 療 活 動

1 救急医療活動

(1) 救急医療情報システム

休日や夜間などかかりつけの医者がいない時でも、素早く、適切な治療が受けられる医療機関を24時間いつでも症状に応じて案内している。

(電話：(0568)81-1133)

(2) 救急医療情報センター利用状況

(人)

	市民	医療機関	消防署	警察署	計
令和5年度	1,611	2	1	0	1,614
令和6年度	1,441	2	1	1	1,445

(3) 小牧市休日急病診療所

小牧市では休日における急病患者に適正な医療を提供し、市民の生命と健康維持に寄与するため、小牧市休日急病診療所を設置している。

- ・開設 昭和53年4月1日
- ・場所 小牧市常普請一丁目318番地(平成16年4月1日に移転)
- ・電話 (0568)75-2070
- ・診療科目 内科、小児科、外科、歯科
- ・診療日 日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日並びに12月31日、1月2日及び1月3日
- ・診療時間 午前9時～正午、午後1時～午後5時(内科、小児科、外科)
午前9時～正午(歯科)

令和6年度小牧市休日急病診療所利用者数

(人)

区別 月	診療 日数	科目別							男女別		地区別		時間別		救急車利用数					二次転送別				
		内科	小児科	外科	歯科	計	平均	再診	男	女	市内	市外	午前	午後	内科	小児科	外科	歯科	計	内科	小児科	外科	歯科	計
4月	5	71	79	29	6	185	37.0	0	98	87	151	34	109	76	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
5月	7	148	105	48	11	312	44.6	7	151	161	254	58	184	128	0	0	0	0	0	5	1	1	0	7
6月	5	72	72	13	7	164	32.8	2	80	84	139	25	101	63	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5
7月	5	153	76	18	4	251	50.2	1	126	125	213	38	154	97	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
8月	5	129	38	22	5	194	38.8	0	109	85	150	44	121	73	0	0	0	0	0	2	0	4	0	6
9月	7	115	73	36	10	234	33.4	1	121	113	196	38	146	88	0	0	0	0	0	2	2	2	0	6
10月	5	63	59	28	5	155	31.0	0	82	73	134	21	88	67	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4
11月	6	72	78	36	9	195	32.5	2	108	87	160	35	136	59	0	0	0	0	0	0	3	2	0	5
12月	6	495	212	29	18	754	125.7	0	390	364	628	126	435	319	0	0	0	0	0	5	0	3	0	8
1月	8	643	277	30	28	978	122.3	20	513	465	762	216	644	334	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
2月	6	131	62	25	7	225	37.5	2	118	107	197	28	133	92	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2
3月	6	103	44	24	4	175	29.2	0	83	92	142	33	104	71	0	0	0	0	0	4	1	2	0	7
計	71	2,195	1,175	338	114	3,822		35	1,979	1,843	3,126	696	2,355	1,467	1	0	0	0	1	31	11	20	0	62
比率(%)		57.5	30.7	8.8	3.0	100			51.8	48.2	81.8	18.2	61.6	38.4										
1日当たり 人数		30.9	16.5	4.8	1.6	53.8			27.9	26.0	44.0	9.8	33.2	20.7										

第11 その他

第11 その他

1 各種協議会等開催状況

(1)小牧市健康づくり推進審議会(所管：健康生きがい推進課)

区 分	月 日	議 題
第 1 回	令和 6 年 5 月 15 日	(1)小牧市健康づくり推進プランについて (2)令和 6 年度実施事業について (3)その他
第 2 回	令和 6 年 11 月 20 日	(1)歯と口腔の健康づくり専門部会の設置について (2)糖尿病に関する周知啓発等取組について (3)その他
第 3 回	令和 7 年 2 月 19 日	(1)糖尿病対策専門部会の設置について (2)女性の健康づくりに関する取組について (3)歯と口腔の健康づくり専門部会の報告について (4)ヘルスラボ・こまきについて (5)その他

(2)小牧市予防接種協議会

区 分	月 日	議 題
第 1 回	令和 6 年 7 月 24 日	・新型コロナウイルスワクチン接種後健康被害給付申請者について
第 2 回	令和 6 年 10 月 16 日	・令和 5 年度実績について ・令和 6 年度予防接種について ・新型コロナウイルスワクチン接種後健康被害給付申請者について

(3)小牧市休日急病診療所運営協議会

区 分	月 日	議 題
第 1 回	令和 6 年 10 月 18 日	・令和 5 年度小牧市休日急病診療所事業報告について ・令和 6 年度小牧市休日急病診療所の現状について ・診療体制の見直しについて

(4) 小牧市母子保健推進協議会

区 分	月 日	内 容
第 1 回	令和 6 年 6 月 28 日	報告 (1) 5 歳児健診について (2) 生と性のカリキュラム令和 5 年度実績について (3) 小牧市健康づくり推進プランについて
第 2 回	令和 6 年 9 月 27 日	報告 (1) 発達障がいをもつ子どもとその親への支援のあり方部会 令和 5 年度実績報告 (2) 令和 5 年度赤ちゃん訪問事業実績報告 (3) 5 歳児健診の実施に向けて 意見交換 (1) 小牧市の親子支援のあり方について
第 3 回	令和 6 年 11 月 29 日	報告 (1) 令和 5 年度乳幼児健康診査実績報告及び未受診者実績報告 (2) 令和 6 年度生と性のカリキュラム「性に関するアンケート」結果報告
第 4 回	令和 7 年 2 月 28 日	意見交換 (1) 思春期から青年期の性に関する支援について 情報提供 (1) 小中高生の自殺予防の取組について (2) 5 歳児健康診査について (3) 赤ちゃん訪問について

2 不妊治療等助成事業

(1) 目 的

妊娠を望んでいる方々の経済的負担を軽減するために、不妊検査、不妊治療及び人工授精に要する費用を助成する。

(2) 対 象

次のいずれにも該当する方

- ・ 双方、またはいずれか一方が申請日において小牧市内に住民登録をしている方
- ・ 婚姻届を出されているご夫婦、または事実婚関係にある男女
- ・ 医療保険加入者、または被扶養者、若しくは生活保護法に規定する医療扶助、または中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に規定する医療支援給付対象者
- ・ 市税(市県民税、固定資産税及び国民健康保険税)を滞納していない方
- ・ 産科、婦人科、産婦人科、泌尿器科または皮膚泌尿器科を標榜する医療機関において、不妊症と診断され、不妊症検査・治療等を受けられた方

(3) 補助金を受けることができる医療行為

- ・ 不妊検査
- ・ 不妊治療(特定不妊治療を除く)
- ・ 人工授精

(4) 補助期間及び補助金額

- ・ 1年度につき1回5万円までを上限として、治療を受けられている医療機関で医師が認めた治療の自己負担分
- ・ 診療日の属する月から継続する2年間(24か月)

(5) 助成組数

80組

(6) 補助金申請時に妊娠が成立していた対象者

17組

3 不育症治療等助成事業

(1) 目 的

医療機関において不育症の診断を受けた方々の経済的負担を軽減するために、不育症検査及び不育症治療に要する費用(保険適用外分のみ)を助成する。

(2) 対 象

次のいずれにも該当する方

- ・ 双方、またはいずれか一方が申請日において小牧市内に住民登録をしている方
- ・ 婚姻届を出されているご夫婦、または事実婚関係にある男女
- ・ 医療保険加入者、または被扶養者、若しくは生活保護法に規定する医療扶助、または中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に規定する医療支援給付対象者
- ・ 市税(市県民税、固定資産税及び国民健康保険税)を滞納していない方
- ・ 産科、婦人科、産婦人科を標榜する医療機関において、不育症と診断され、不育症検査・治療等を受けられた方

(3) 補助金を受けることができる医療行為

- ・ 不育症検査
- ・ 不育症治療

(4) 補助回数及び補助金額

- ・ 1回の治療につき15万円を上限として、治療を受けられた医療機関で医師が認めた治療の自己負担分(保険適用外)
- ・ 治療開始から治療終了までを1回の申請とし、5回まで

(5) 助成組数

0組

4 小牧市自殺対策計画の推進

(1) 目 的

自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題である。誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す上で、家庭、地域、学校、職場等、様々な場で、「いつもと違う」様子に気づき、必要に応じて専門機関等へつなぐことが重要であり、早期の段階で困っている人に気づく身近な支援者を増やし、みんなで生きることを支える地域づくりを進める。

(2) 対 象

一般市民

(3) 実施内容

ア 会議

区 分	月 日	議 題
小牧市自殺対策推進協議会	令和6年10月7日 令和6年11月25日 令和7年2月17日	・自殺の現状、自殺対策計画の取り組みについて
小牧市うつ・自殺対策相談窓口ネットワーク会議	令和7年3月5日	・睡眠のしくみとところに関する講座

イ 取り組み

- ・ゲートキーパー養成講座開催

ゲートキーパー養成講座	対象：職員	令和6年8月29日(59名)
	対象：保健連絡員（初級編）	令和6年6月26日(65名) 令和6年6月28日(24名)
	対象：保健連絡員（ステップアップ編）	令和6年9月4日AM(39名)
	対象：一般市民	令和7年2月9日(113名)

- ・ゲートキーパーについて周知、啓発(区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、職域関係者等)
- ・自殺再企図防止講座の開催(専門職および相談窓口対応職員対象)
- ・「自殺予防週間(9月)」及び「自殺対策強化月間(3月)」に合わせた普及啓発(ポスターの掲示、啓発物品の設置、図書館との連携によるデジタルサイネージの活用や関連図書コーナーの設置等)
- ・こころの相談窓口パンフレットの作成及び配布
- ・広報、市のホームページ等で「こころの健康」及び相談先について周知

5 骨髄提供者等助成事業

(1) 目 的

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞(以下「骨髄等」という。)を提供した方や提供した方が勤務する事業所に対し助成金を交付することで、提供に要する経済的負担を軽減する。また、骨髄等の移植の推進及び骨髄バンクへのドナー登録者数の増加を図る。

(2) 対 象

次に該当するもの

- ア 骨髄等の提供日において小牧市内に住所を有し、かつ居住をし、公益財団法人日本骨髄バンクを通じて骨髄等を提供した方
- イ 骨髄等を提供した方が、骨髄等の提供のために要した通院又は入院した日数を通じて勤務している国内の事業所(個人事業主、官公庁、独立行政法人、地方独立行政法人及び国立大学法人を除く)

(3) 助成の対象となる行為

- ア 骨髄等の提供のための健康診断や自己血貯血に係る通院
 - イ 骨髄等の採取にかかる通院や入院
- ※ただし、骨髄等の提供が完了した日から1年以内の申請による

(4) 助成金額と期間

1回の骨髄等の提供につき、通算7日が上限

骨髄等を提供した方	(1) 通院又は入院1日につき2万円 (2) 20万円(市独自の助成金)
事業所	通院又は入院1日につき1万円

(5) 助成者数

1名

6 小牧市がん患者医療用補整具購入費助成金

(1) 目 的

医療用補整具の購入に係る費用の一部を助成することにより、がん患者の方の心理的負担及び経済的負担の軽減を図り、治療・就労・社会参加等との両立の支援と療養生活の質の向上を図る。

(2) 対 象

次に該当する方

ア 医療用補整具を購入した翌日から助成金の交付の申請をする日までの間、本市の住民基本台帳に記録されている方

イ がんと診断され、がんの治療を受けた者又は現に受けている方

ウ がん治療に起因する脱毛又はがんの外科的治療等による乳房の変形に対応するための医療用補整具を購入した方

(3) 助成の対象となる経費

医療用補整具の購入に係る費用

ア ウィッグ(全頭用・部分用)

※ウィッグと同時申請の場合のみ、頭皮保護用ネットを含む

イ 乳房補整具(補整下着、補整パッド又は人工乳房)

※乳房補整具と同時申請の場合のみ、それらを固定する下着を含む

(4) 助成金額と期間

購入費用の2分の1(上限はウィッグ・乳房補整具ともに各2万円)

※1,000円未満は切り捨て

※助成回数は1人につき各1回限り

(5) 助成件数

ア 医療用ウィッグ 69件※

イ 乳房補整具 29件※

※内7件は両種類申請

7 小牧市若年がん患者在宅療養助成金

(1) 目 的

若年のがん患者に対し、在宅サービスの利用等に係る費用の一部を助成することにより、若年のがん患者の経済的負担を軽減し、安心して住み慣れた自宅での生活ができるよう支援する。

(2) 対 象

次のいずれにも該当する方又は市長が特に必要と認める方

- ア 在宅サービスの利用等の時点及び申請の日において本市の住民基本台帳に記録されている方
- イ 在宅サービスの利用等の時点において、40歳未満の方
- ウ がん患者（医師に一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断された方に限る。）
- エ 在宅生活の支援及び介護が必要な方
- オ 本市の市税の滞納がない方
- カ 福祉用具の借用及び福祉用具の購入に係る費用の助成については、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第19条の2第1項の規定による小児慢性特定疾病医療費の支給を受けていない方
- キ 他の公的な制度又は保険による同種の助成又は給付を受けていない方

(3) 助成の対象となる経費

- ア 在宅サービスの利用費用
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護、その他若年のがん患者が自宅で生活するために必要と認められるサービスの利用費用
- イ 福祉用具の借用費用
手すり・スロープ（工事を伴わないもの）、歩行器、歩行補助つえ、車いす、車いす付属品、特殊寝台、特殊寝台付属品、床ずれ防止用具、体位変換器、移動用リフト（つり具の部分を除く。）、自動排せつ処理装置、その他介護保険で認められるものの借用費用
- ウ 福祉用具の購入費用
腰掛便座、自動排せつ処理装置の交換可能部品、入浴補助用具、簡易浴槽、移動用リフトのつり具の部分、排せつ予測支援機器、その他介護保険で認められるものの購入費用

(4) 助成金額

1か月ごと、対象経費の合計のうち9割（上限54,000円）

※1,000円未満は切り捨て

(5) 申請・請求期限

助成対象のサービス等を利用した年度内

(6) 助成件数

0件